

第 2 期 十 勝 定 住 自 立 圏 共 生 ビ ジ ャ ン



北 海 道 帯 広 市

平成 2 8 年 3 月 策 定

目 次

第1章 定住自立圏共生ビジョンの策定にあたって・・・・・・・・・1

- 1 定住自立圏の概要とこれまでの取組・・・・・・・・・1
- 2 定住自立圏の名称及び構成市町村・・・・・・・・・2
- 3 定住自立圏共生ビジョンの目的・・・・・・・・・2
- 4 定住自立圏共生ビジョンの期間・・・・・・・・・2
- 5 定住自立圏の成果目標・・・・・・・・・2

第2章 圏域の概況・・・・・・・・・3

- 1 十勝の概況・・・・・・・・・3
- 2 人口・・・・・・・・・10
- 3 生活機能分野・・・・・・・・・13
- 4 結びつきやネットワーク分野・・・・・・・・・30
- 5 圏域マネジメント分野・・・・・・・・・33

第3章 定住自立圏の形成により目指す圏域の将来像・・・・・・・・・35

第4章 協定に基づき推進する具体的取組・・・・・・・・・36

- 1 取組項目一覧・・・・・・・・・36
- 2 生活機能の強化に係る政策分野・・・・・・・・・37
- 3 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野・・・・・・・・・55
- 4 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野・・・・・・・・・59

附属資料

- 1 共生ビジョン策定にあたっての意見
～共生ビジョン懇談会、パブリックコメント～・・・・・・・・・62
- 2 十勝定住自立圏共生ビジョン懇談会設置要綱・・・・・・・・・70
- 3 十勝定住自立圏共生ビジョン懇談会委員名簿・・・・・・・・・71
- 4 共生ビジョン事業費一覧・・・・・・・・・72

第1章 定住自立圏共生ビジョンの策定にあたって

1 定住自立圏の概要とこれまでの取組

定住自立圏構想は、圏域の中心的な役割を担う中心市と近隣町村が、それぞれの魅力を活かしながら、相互に役割分担し、連携・協力することにより、圏域全体で必要な生活機能を確保し、地方圏への人口定住を促進する自治体間連携の取り組みです。

帯広市は、平成21年11月から、十勝管内18町村とともに定住自立圏構想の調査・研究を進め、十勝全体での連携を目指すことを全市町村で確認したことから、平成22年12月15日、圏域における中心的な役割を担う意思を表明する「中心市宣言」を行いました。

平成23年2月には、十勝圏における定住自立圏構想の推進組織を設置し、具体的な連携協議を進め、同年6月に、定住自立圏の形成に関する協定書を各市町村の議会へ提案し、その議決を経て、平成23年7月7日に帯広市と18町村との間で1対1の協定を締結し、定住自立圏を形成しました。

平成23年9月には「十勝定住自立圏共生ビジョン」を策定し、これに基づき、19項目にわたる取り組みを進めてきました。この間、毎年度、各分野の関係者等で構成する「十勝定住自立圏共生ビジョン懇談会」において取組状況を検証し、「十勝バイオマス産業都市構想」の策定・推進や、行政区域を越えた有害鳥獣の捕獲、民間企業・団体等との広域的な防災協定の締結など、新たな取り組みを追加した改訂版を策定・公表してきたところです。

また、国の定住自立圏構想推進要綱の一部改正に伴い、平成26年度から「市町村長意見交換会」を開催し、第2期共生ビジョンの策定に向けた協議などを行ってきています。



十勝定住自立圏形成協定 調印式の様子

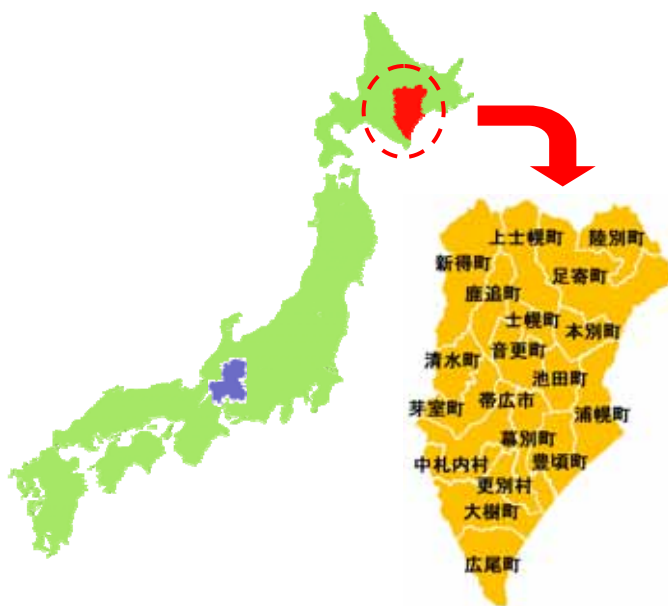
2 定住自立圏の名称及び構成市町村

(1) 定住自立圏の名称

十勝定住自立圏

(2) 定住自立圏の構成市町村

帯広市	音更町	士幌町
上士幌町	鹿追町	新得町
清水町	芽室町	中札内村
更別村	大樹町	広尾町
幕別町	池田町	豊頃町
本別町	足寄町	陸別町
浦幌町		



3 定住自立圏共生ビジョンの目的

本共生ビジョンは、定住自立圏構想推進要綱（平成 20 年 12 月 26 日総行応第 39 号総務事務次官通知）第 6 の規定により、圏域の将来像や、定住自立圏形成協定に基づき関係市町村が連携して推進する具体的な取り組み内容を明らかにするものです。

4 定住自立圏共生ビジョンの期間

本共生ビジョンの計画期間は、平成 28 年度から平成 31 年度までの 4 年間とし、毎年度、所要の見直しを行います。

5 定住自立圏の成果目標

本共生ビジョンの効果的な推進を図るため、平成 31 年度の成果目標を次のとおり定めるとともに、毎年度、進捗状況を把握し、取り組みの検証を行うものとします。

- 十勝管内の観光入込み客数 1,020 万人
- 十勝管内バス乗客数 462 万人

第2章 圏域の概況

1 十勝の概況

十勝は、北海道の南東部、北緯 42 度 09 分～43 度 38 分、東経 142 度 40 分～144 度 02 分に位置しています。総面積は、10,831.62k m²で、全道面積の 13%を占めており、全道 14 の総合振興局・振興局の中で一番広く、都道府県単位で比較すると、第 7 位の岐阜県とほぼ同じ面積を有しています。

周囲を大雪山系、日高山脈、太平洋などに囲まれ、内陸部の平野には扇状地や段丘が広がっています。十勝平野の中央部には大雪山を水源とする十勝川が流れています。

気候は、太平洋側を除き大陸性気候であることが特徴です。夏は、海岸部では海霧が立ちこめ、日中の気温があまり上がりませんが、内陸部では比較的高温が続きます。冬は、大陸性寒冷高気圧により低温が続きますが、日高山脈で雪雲が遮られることから降雪量は少なく、晴天が続きます。

産業は、農業、林業、漁業などの第 1 次産業が盛んです。特に農業は、年 2,000 時間を超える日照時間や恵まれた土地資源を活かし、近代技術の導入や土地基盤の整備を進めながら発展しており、農畜産物に係る農協取扱高は 3,233 億円(平成 27 年)にのぼり、カロリーベースでの食料自給率が 1,249%を誇る我が国を代表する食料生産基地となっています。

十勝の総人口は、345,760 人(住民基本台帳：平成 27 年 9 月 30 日現在)で、全道人口(5,382,426 人)の 6.4%を占めています。帯広市が 167,979 人と管内人口の 48.6%、さらに周辺の音更町、芽室町、幕別町の 3 町を合わせた帯広圏では 259,771 人と管内人口の 75.1%を占め、その割合は増加傾向にあります。1 km²あたりの人口密度は 31.9 人となっており、全道の 64.5 人と比べ低くなっています。

【十勝 19 市町村の概況】

出典：人口は住民基本台帳（H27.9.30 現在、日本人のみ）

面積は平成 26 年全国都道府県市区町村別面積調（H26.10.1 現在）



●人口 167,979 人

●面積 619.34 km²

■特産品・グルメ

○ばれいしょ・ながいも・だいこん ○スイーツ ○豚丼
○ハム・ソーセージ

■観光名所

○ばんえい競馬 ○とかちむら ○北の屋台
○愛国・幸福駅 ○八千代牧場
○紫竹ガーデン ○真鍋庭園 ○緑ヶ丘公園
○明治北海道十勝オーバル（屋内スピードスケート場）



世界で唯一！
「ばんえい競馬」

帯広市は、高速道路や鉄道網、とかち帯広空港を通じた十勝の玄関口となっており、産業経済、教育、福祉、行政などの都市機能が集積した東北道の拠点都市です。

広大な大地や豊富な農畜産物など、地域の強みを活かしながら、「フードバレーとかち」を旗印に、「人と環境にやさしい 活力ある 田園都市 おびひろ」を目指したまちづくりを進めています。

また、帯広競馬場では、迫力ある「ばんえい競馬」のほか、観光交流施設「とかちむら」で十勝の物産やグルメ、スイーツなどが楽しめます。



音更町

●人口 45,410 人

●面積 466.02 km²

人口4万5千人を超え、町村の中では全道一の人口を有する活気に満ちたまちです。

国内有数の生産高を誇る小麦・大豆・小豆・てん菜・馬鈴しょなど、数々の農産物を産み出す豊かな大地と、北海道遺産にも選定された世界でも珍しい「モール（植物性）温泉」が湧き出す十勝川温泉があります。

また、国道 241 号線沿いには大型ショッピングゾーンが形成され、町内外から多くの買物客が訪れています。

さらに、道東自動車道音更帯広インターチェンジ周辺に工業団地を造成し、企業誘致を進めるなど、豊かな自然環境と都市の魅力を活かした「住みよいまち」、「住み続けたいまち」を目指し、協働のまちづくりに取り組んでいます。

■特産品・グルメ

○音更大袖振大豆 ○人参 ○ブロッコリー
○煮豆缶 ○チーズ・バター ○すずらん和牛
○なたね油 ○十勝川モール温泉豚
○十勝川モール温泉顔パック・入浴剤・美容ジェル

■観光名所

○十勝が丘公園（花時計ハック）○十勝100%パーク
○家畜改良センター十勝牧場展望台・白樺並木



十勝川白鳥まつり
彩凜華（二月～三月）



士幌町

●人口 6,300 人

●面積 259.19 km²

士幌町は、十勝平野の北部、雄大な東大雪の麓に位置し、面積の6割を農用地として高度利用しながらジャガイモ、てん菜、小麦、豆類、生乳、肉用牛を生産する農業が盛んな町で、生産された農畜産物の加工施設も多く農業を主体に関連産業が発達しています。しほろ牛肉やチーズ・ヨーグルトはじめとする乳製品等の特産品も豊富で、毎年10月に開催する「収穫祭」では、新鮮な農産物や特産品が販売され、多くの来場者で賑わっています。また、十勝平野を一望できる標高600mの「士幌高原ヌブカの里」、美肌の湯といわれるモール温泉の「道の駅 しほろ温泉」等の観光施設のほか、広大な大地にまっすぐに整列した防風林などの農村風景が美しく広がっています。

町の将来を見据え、地域の特性や資源を生かした真に豊かな農村づくりを目指し、住民との協働のまちづくりを進めています。

■特産品・グルメ

○ミニトマト ○しほろ牛肉
○じゃがいも加工品（ポテトチップス、コロック、片栗粉など）
○乳製品〈チーズ、ヨーグルト、アイスクリームなど〉

■観光名所

○士幌高原ヌブカの里
○道の駅ピア21 しほろ○道の駅しほろ温泉



士幌高原ヌブカの里



上士幌町

●人口 4,846 人

●面積 696.00 km²

上士幌町は、十勝地方の北部、日本一広い国立公園である大雪山国立公園の東山麓に位置し、町内の約77%が森林地帯であり自然豊かなまちです。産業は、畑作、酪農などの農業や林業などの第一次産業が盛んで、源泉かけ流し温泉であるぬかびら源泉郷、日本一の広さを誇るナイトハイ高原牧場、北海道遺産旧国鉄士幌線コンクリートアーチ橋梁群などの観光資源も豊富です。

上士幌町は、移住定住・二地域居住・農林商工連携を推進し、ふるさと納税をはじめとした「都市と農村の交流と対流」のまちづくりに力を入れています。

■特産品・グルメ

○十勝ナイトハイ和牛 ○十勝ハーブ牛
○鹿肉 ○ハチミツ ○ミルクジャム ○ジェラート
○豆缶 ○十勝石工芸品

■観光名所

○ナイトハイ高原牧場 ○三国峠
○糠平湖 ○ぬかびら源泉郷
○旧国鉄士幌線コンクリートアーチ橋梁群



ナイトハイ高原牧場



鹿追町

●人口 5,538 人
●面積 404.70 km²

大雪山国立公園唯一の自然湖“然別湖”を擁し、夏は“白蛇姫まつり”・冬は結氷した湖上で“しかりべつ湖コタン”が開かれます。アウトドア体験や農業体験など滞在型観光を推進、また、「花と芝生のまちづくり」により年間80万人を超える観光客を町じゅうの花が出迎えます。教育では小中高一貫教育として「地球コミュニケーション」(英語)・「新地球学」(環境)に取り組み、鹿追高校1年生全員を対象に姉妹都市カナダ・ストニィブレイン町へ派遣しています。また、国内最大級のバイオガスプラントを有し、環境に配慮した地域循環型農業を推進しています。

■特産品・グルメ

○鹿追そば ○鹿追焼き(陶芸品) ○チーズ
○アイスクリーム ○豚肉 ○オショロコマ

■観光名所

○然別湖 ○然別峡 ○神田日勝記念美術館
○福原記念美術館
○鹿追町ライディングパーク



しかりべつ湖コタン



新得町

●人口 6,255 人
●面積 1,063.83 km²

北海道のど真ん中！美しく雄大な東大雪の山々と日高山脈に抱かれた自然豊かなまちです。6つのダムと7つの水力発電所があり、道東に電力を供給する電源地域の特徴も有しています。

道東と道央を結ぶ鉄道の要衝でもあるほか、農業を中心に林業やサホロリゾートを中心とした観光業が主要産業です。四季折々の風景が見られ、自然の中で育まれた旬の食材、ラフティングやカヌー、乗馬、エコトロッコなどのアウトドア体験も堪能でき、また、ファームインや農業・酪農体験、そば打ち体験など農山村の良さも味わえるまちです。

■特産品・グルメ

○新得そば ○新得地鶏 ○エゾ鹿肉
○サホロ焼酎 ○十勝漬 ○ナチュラルチーズ
○原木しいたけ

■観光名所

○狩勝峠 ○トムラウシ温泉 ○旧狩勝線跡
○クラブ・メッド ○サホロリゾート
○ベアマウンテン



十勝川ラフティング



清水町

●人口 9,818 人
●面積 402.25 km²

北海道横断自動車道の道東の玄関口、十勝の西部に位置し、日高山脈に抱かれた豊かな大地と清らかな水の恵みを受け、小麦・豆类・てん菜や生乳などの生産が盛んな町です。日本甜菜製糖(株)(バイオ・紙筒工場)、プリマハム(株)北海道工場、ホクレン清水製糖工場など、それらを加工する工場も多く、農産加工の町でもあります。地元産の牛肉・鶏卵を使った新・ご当地グルメ「十勝清水牛玉ステーキ丼」が好評で、新・ご当地グルメグランプリ北海道において3連覇を達成し殿堂入りを果たしました。

昭和12年頃から地域に広がったアイスホッケーや、30年にわたって続けられた「第九」の町民合唱など、文化・スポーツ活動が盛んなまちです。

■特産品・グルメ

○十勝清水牛玉ステーキ丼 ○グリーンめん
○第九のまちしみず(クッキー) ○豚丼名人
○大平原ハーモニーエッグ ○飲むヨーグルト
○牛とろフレーク ○十勝清水ようかん
○十勝熟成黒にんにく

■観光名所

○十勝清水四景+1(清水公園、日勝峠第1展望台、円山展望台、美蔓パノラマパーク、十勝千年の森)



十勝平野を一望できる「円山展望台」



芽室町

●人口 18,992 人

●面積 513.76 km²

「日本の食料基地」と言われる十勝平野の中央に位置しており、肥沃な大地と気候条件に恵まれた農業を基幹産業とし、農畜産・林業関連企業を中心とした約 230 社を有する東工業団地の躍進や、東芽室地区などの宅地開発による人口増加により、さらなる発展をとげています。

芽室町は、「町民と行政の協働によるまちづくり」を掲げ、氷灯夜やイリスフェスタに代表される各種イベントや、町内産の農産物を活用した新しいグルメの創造など、町民の主体的な地域活動が原動力となって進められています。

2009 年に『開町 110 周年』を迎え、さらなる飛躍の「芽室 2 世紀」にするため、第 4 期総合計画の将来像である「みどりの中で 子どもにやさしく 思いやりと 活力に満ちた 協働のまち」実現に向けたまちづくりが進められています。

■特産品・グルメ

- スイートコーン ○じゃがいも
- ビートオリゴ糖 ○ニジマス加工品
- 十勝芽室コーン炒飯

■観光名所

- 新嵐山スカイパーク
- 芽室公園



新嵐山展望台



中札内村

●人口 3,971 人

●面積 292.58 km²

日高山脈中央部を源とする清流・札内川流域に広がる村です。その清流を集め豪快に流れ落ちる「ピョウタンの滝」がある札内川園地は、滝周辺の豊富なマイナスイオンを浴びながら自然豊かな園内を散策することができます。

このほか、柏林に囲まれる「中札内美術村」には相原求一朗美術館や小泉淳作美術館などがあり、一日中芸術に親しむことができるほか、坂本直行記念館などの芸術館がある「六花の森」では、季節折々の花を楽しむことができます。また「道の駅なかさつない」は、レストランや屋外物産販売所において、新鮮な地元食材の提供を行っており、観光客の憩いの場となっています。

また、夏に開催される「花フェスタ」では様々な庭が一般開放され、見事なオープンガーデンが楽しめます。

■特産品・グルメ

- そのままえだ豆 ○中札内田舎どり
- カマンベールチーズ ○思いやり生乳

■観光名所

- 札内川園地ピョウタンの滝 ○六花の森
- 中札内美術村 ○花畑牧場
- 中札内農村休暇村フェリエンドルフ



相原求一朗美術館



更別村

●人口 3,277 人

●面積 176.90 km²

雄大な日高山脈が一望でき、緑の大地と十勝晴れの澄んだ青空がよく似合う広大な十勝平野の真ん中にある村です。

基幹産業は、機械化が進んだ国内最大規模の大型農業。7 月にはこの特色を活かし「国際トラクターBAMBA」（トラクターが 1.5 t～3 t のソリを引き速さを競う）という迫力溢れる日本唯一のイベントを開催しています。

また 54 ホールの公認パークゴルフ場「プラムカントリー」、オートキャンプ場「さらべつカントリーパーク」、管内最大級の大型遊具を備える農村公園などの施設や、冬には幻想的な「霧氷」が出現する美しいポイントがあり、全国から多くのカメラマンが訪れています。

■特産品・グルメ

- つぶつぶでんぶん ○ポテトチップス
- さらべつさんうどん ○金時甘納豆

■観光名所

- さらべつカントリーパーク（オートキャンプ場）
- どんぐり公園プラムカントリー
- 農村公園大型遊具 ○十勝スピードウェイ
- 道の駅さらべつ「観光と物産の館ピポパ」



霧氷



大樹町

●人口 5,736 人
●面積 815.68 km²

清流日本一に過去9度選ばれ、砂金掘りが楽しめることから宝の川と称される「歴舟川」が町内を流れています。町の東側太平洋沿岸には”海が見えるヨードの温泉～「晩成温泉」があり、その周辺では夏は原生花園が広がり、冬はワカサギ釣りが楽しめます。カムイコタン公園周辺にはオートキャンプ場が整備されており、坂下仙境をはじめ景勝地が広がっています。

また、美成に整備されている「大樹町多目的航空公園」では航空宇宙関連実験が数多く行われており、「宇宙への玄関 大樹町」を目指しています。

■特産品・グルメ

○ナチュラルチーズ ○ホエー豚
○大樹納豆 ○じゅんさい
○秋鮭 ○ししゃも ○毛がに

■観光名所

○カムイコタン ○ホロカヤントー周辺
○晩成温泉 ○萌和山森林公園
○コスモスガーデン ○晩成社史跡



航空公園



広尾町

●人口 7,320 人
●面積 596.54 km²

豊かな自然環境に囲まれた十勝最南端のまち広尾町は、漁獲量日本一を誇る「シシャモ」を筆頭に種類豊富な漁業資源に恵まれ、1年を通して新鮮な魚介を味わうことができます。ノルウェー・オスロ市から認定された「サンタランド」のまちとしても有名で、サンタメール事業など様々な活動を行っています。シンボルゾーンの「サンタの山」には、イルミネーションが点灯される10月からクリスマスにかけて大勢の観光客が訪れます。

また、十勝の海の玄関口である重要港湾「十勝港」は、「農業を支える港・アグリポート」として、これからも重要な役割を担っていきます。

■特産品・グルメ

○シシャモ ○毛がに ○鮭
○イクラ ○昆布

■観光名所

○サンタの山（大丸山森林公園）〈つつじ〉
○サンタの家 ○フンベの滝（黄金道路）
○シーサイドパーク広尾 〈オパ ナイルリカ〉
○十勝神社（本通公園）〈桜〉



アグリポート
「十勝港」



幕別町

●人口 27,390 人
●面積 477.64 km²

パークゴルフの発祥の地として知られる幕別町は、平成18年2月6日に忠類村と合併し、ナウマン象の化石骨が発掘された地という魅力を加え、新たな一步を踏み出しました。十勝平野の中央部に位置し、その肥沃な土壌と気候に恵まれた自然環境の中、基幹産業でもある農業を中心に、今後も各産業がバランスよく発展する可能性と魅力に溢れるまちでもあります。

将来にわたり美しく豊かな、心の通うまちを目指すとともに住民と行政の協働によるまちづくりを実践し、「まくべつの躍進」に向けて取り組んでいます。

■特産品・グルメ

○十勝美豆（とかちビーンズ、大豆缶詰）
○十勝大福 ○黒豆きなこ ○食用ゆり根
○和稔じょ ○インカのめざめ ○焼酎

■観光名所

○忠類ナウマン象記念館 ○シーニックカフェ
○ピラ・リ（明野ヶ丘公園） ○丸山展望台
○道の駅（忠類） ○新田牧場 ○十勝ヒルズ
○千代田新水路魚道観察室（ととろ〜ど）





池田町

●人口 7,135 人
●面積 371.79 km²

ブドウ栽培からこだわる「十勝ワイン」。ワインを中心とした町づくりを行う池田町は「音・味・香るまちづくり」を展開する魅力あふれるまちです。小高い丘に建つワイン城では、優しく、分かりやすく、ワインの知識を提供するため「五感に訴える観光」をテーマに、ガイドツアーや試飲セミナーなどを行っており、十勝ワインを「体感」することができます。

また、ワイン城の敷地内には「DCTgarden IKEDA」があります。ドリームズ・カム・トゥルーの吉田美和さんが「ふるさとに貢献したい」という思いを込めた施設で、コンサート衣装や資料、シアタースペースなどが設けられています。

■特産品・グルメ

○十勝ワイン ○十勝ブランデー
○いきがい焼き ○いけだ牛

■観光名所

○ワイン城 ○まきばの家
○DCTgarden IKEDA
○清見ヶ丘公園 ○千代田えん堤

ワイン城と
地下熟成室



豊頃町

●人口 3,323 人
●面積 536.71 km²

十勝川の最下流に位置する十勝発祥の地。二宮尊徳の孫の尊親が伝えた報徳のおしえを受け継ぐまちです。

まちの総合計画では、報徳のおしえ「至誠・勤労・分度・推譲」の四綱領を実践し、人と自然が調和した安らぎと温もりのあるまちづくりを進めています。また、産業では「十勝だいこん」「大津産秋鮭」をはじめ、収益性の高い魅力ある農林水産業を目指しています。

まちのシンボル樹齢 140 年の「はるにれ」は、2 本の木が仲睦まじく支えあった美しい姿が魅力で、年間を通し観光に訪れる方が多い人気のスポットです。

また、秋には「産業まつり」が開催され、海と大地の実りを大いに堪能できます。

■特産品・グルメ

○大津産秋鮭 ○わかさぎの佃煮
○十勝だいこん ○なたね油「エコリーナ」

■観光名所

○はるにれの木（十勝川河川敷）
○長節湖 ○湧洞湖
○茂岩山自然公園キャンプ場
○茂岩山パークゴルフ場



はるにれの木



本別町

●人口 7,547 人
●面積 391.91 km²

十勝の東北部に位置し、利別川が街の中心を緩やかに流れる本別町は、十勝特有の大陸性気候で、夏と冬の寒暖差が大きく、一年を通じて降水量が比較的少ないのが特徴です。

この肥沃な大地と、恵まれた気候の中で育まれた特産品の豆は、良質・安全・安心な食材として出荷され、豆腐、みそ、しょうゆ、納豆などの加工品や健康食品としても注目されている黒豆は、「キレイマメ」のブランド名で全国に発信しています。

また、北海道横断自動車道の帯広・釧路・北見を結ぶジャンクションとなることから、高速道路を利活用したまちづくりの振興が期待されます。

■特産品・グルメ

○キレイマメ（豆製品ブランド） ○生豆
○豆加工品 ○スイーツ ○砂糖 ○乳製品

■観光名所

○義経の里 本別公園・幽仙峡
○愛のかけ橋（ライトアップ） ○ひまわり迷路
○本別大坂（国道274号）から望む夜景
○道の駅「ステラ★ほんべつ」



本別公園



足寄町

●人口 7,238 人
●面積 1,408.04 km²

足寄町は十勝の東北部に位置し、1,408.04k m²の広い面積を有しています。この広大な大地では、東京ドーム約 270 個分の面積を持つ大規模草地育成牧場や、独特の湖面の色彩が訪れた人を魅了するオンネトー、高さ 2～3m にもなる螺湾ブキなど、豊かな自然が育まれています。

また、平成 20 年には開町 100 年という節目を迎えました。先人から継承した緑豊かな大地という貴重な財産を後世に継承しながら、町民全てが心穏やかな毎日を過ごせるよう、人と自然にやさしい地域社会を考えて様々な事業が推進され、活力ある町の基盤が整えられています。子どもも大人も、そしてお年寄りも、全ての人が「この町に住んでいてよかった」「この町に生まれてよかった」と思える、ふれあいのあるまちづくりが進められています。

■特産品・グルメ

○螺湾（らわん）ブキ ○ナチュラルチーズ
○馬肉 ○豆類 ○木質ベレット

■観光名所

○オンネトー ○雌阿寒岳
○足寄動物化石博物館
○あしよる銀河ホール21（道の駅）



オンネトー



陸別町

●人口 2,536 人
●面積 608.90 km²

陸別町は豊かな自然に恵まれた林業と酪農の街です。また、「寒さ」「星」をテーマとしたまちづくりに力を入れております。

日本最大級の公開型望遠鏡を備えた「銀河の森天文台」では、星やオーロラなどに関した特色あるイベントが年間通して開催されており、多くの天文ファンの注目を集めています。

また、平成 18 年に廃線となったふるさと銀河線を体験鉄道公園として復活させた「ふるさと銀河線りくべつ鉄道」は、鉄道ファンだけでなく家族で楽しめる施設として注目を集めています。

■特産品・グルメ

○山菜（山ぶき、うど、ぎょうじゃにんにく他）

■観光名所

○ふるさと銀河線りくべつ鉄道
○銀河の森天文台
○銀河の森コテージ村 ○かぶとの里



ふるさと銀河線りくべつ鉄道



浦幌町

●人口 5,149 人
●面積 729.85 km²

十勝管内の最東端にあり、帯広市と釧路市のほぼ中間に位置しています。面積は、729.85 km²と広大な面積を有し、その 74.2%が森林という雄大な自然と、海産資源豊富な太平洋に面した町です。

雄大に広がる太平洋の海、豊かな山々、十勝らしい畑作風景など、北海道をイメージする雄大な自然、そのすべてが浦幌町にはあります。

道内トップクラスの強アルカリ性（pH10.0）の泉質を持つ「うらほろ留真温泉」は、美肌によい良質な温泉として評判です。

■特産品・グルメ

○ギョウジャニンニクドリンク
○ギョウジャニンニク入りボークソーセージ
○十勝のワルッコ（山わさびの醤油漬）
○鮭とばスティック ○ラーチ・テーブル

■観光名所

○うらほろ森林公園 ○昆布刈石展望台
○豊北原生花園 ○道の駅「うらほろ」
○うらほろ留真温泉



うらほろ留真温泉

2 人口

(1) 人口の推移

平成22年10月1日時点の十勝の総人口は348,597人で、平成12年の357,858人と比べ2.6%（9,261人）減少しています。平成2年以降の推移をみると、帯広市に隣接する町村の人口は増加もしくは横ばいとなっているものの、それ以外の多くの市町村の人口は減少傾向にあります。

■十勝の総人口の推移

		平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	(参考) 平成27年	(参考) 面積 (H26.10.1)
	音更町	33,977 -	37,528 10.5%	39,201 4.5%	42,452 8.3%	45,085 6.2%	45,410	466.02
	士幌町	7,149 -	7,010 △ 1.9%	6,839 △ 2.4%	6,755 △ 1.2%	6,416 △ 5.0%	6,300	259.19
	上士幌町	6,380 -	5,936 △ 7.0%	5,634 △ 5.1%	5,229 △ 7.2%	5,080 △ 2.8%	4,846	696.00
	鹿追町	6,307 -	6,089 △ 3.5%	5,910 △ 2.9%	5,876 △ 0.6%	5,702 △ 3.0%	5,538	404.70
	新得町	8,412 -	7,822 △ 7.0%	7,657 △ 2.1%	7,243 △ 5.4%	6,653 △ 8.1%	6,255	1,063.83
	清水町	12,033 -	11,325 △ 5.9%	10,988 △ 3.0%	10,464 △ 4.8%	9,961 △ 4.8%	9,818	402.25
	芽室町	16,577 -	16,604 0.2%	17,586 5.9%	18,300 4.1%	18,905 3.3%	18,992	513.76
	中札内村	4,277 -	4,319 1.0%	4,116 △ 4.7%	3,983 △ 3.2%	4,006 0.6%	3,971	292.58
	更別村	3,433 -	3,350 △ 2.4%	3,291 △ 1.8%	3,326 1.1%	3,391 2.0%	3,277	176.90
	大樹町	7,483 -	7,075 △ 5.5%	6,711 △ 5.1%	6,407 △ 4.5%	5,977 △ 6.7%	5,736	815.68
	広尾町	10,346 -	9,593 △ 7.3%	8,975 △ 6.4%	8,325 △ 7.2%	7,881 △ 5.3%	7,320	596.54
	幕別町 (旧忠類村を含む)	23,408 -	24,240 3.6%	26,080 7.6%	26,868 3.0%	26,547 △ 1.2%	27,390	477.64
	池田町	9,809 -	9,093 △ 7.3%	8,710 △ 4.2%	8,193 △ 5.9%	7,527 △ 8.1%	7,135	371.79
	豊頃町	5,050 -	4,519 △ 10.5%	4,164 △ 7.9%	3,732 △ 10.4%	3,394 △ 9.1%	3,323	536.71
	本別町	11,484 -	10,336 △ 10.0%	10,021 △ 3.0%	9,072 △ 9.5%	8,275 △ 8.8%	7,547	391.91
	足寄町	10,289 -	9,522 △ 7.5%	8,871 △ 6.8%	8,317 △ 6.2%	7,630 △ 8.3%	7,238	1,408.04
	陸別町	3,902 -	3,429 △ 12.1%	3,228 △ 5.9%	2,956 △ 8.4%	2,650 △ 10.4%	2,536	608.90
	浦幌町	8,395 -	7,621 △ 9.2%	6,846 △ 10.2%	6,068 △ 11.4%	5,460 △ 10.0%	5,149	729.85
	帯広市	167,384 -	171,715 2.6%	173,030 0.8%	170,580 △ 1.4%	168,057 △ 1.5%	167,979	619.34
	十 勝	356,095 -	357,126 0.3%	357,858 0.2%	354,146 △ 1.0%	348,597 △ 1.6%	345,760	10,831.62
	北海道	5,643,647 -	5,692,321 0.9%	5,683,062 △ 0.2%	5,627,737 △ 1.0%	5,506,419 △ 2.2%	5,382,426	83,424.22

出典：人口は総務省「国勢調査」（各年10月1日現在）

平成27年の数値は「住民基本台帳」（9月30日現在）

平成27年の北海道の数値は住民基本台帳ネットワークシステム上の平成27年9月30日現在の入力状況

面積は国土地理院「市区町村別面積調」（平成26年10月1日現在）

上士幌町及び鹿追町の面積は然別湖の面積を含んでいるため「市区町村別面積調」の数値と異なる

注）下段は対前期増減率、平成27年の数値は日本人人口のみ

(2) 年齢3区分別人口の推移

十勝の年齢3区分別人口構成比は、平成2年以降、年少人口（0～14歳）及び生産年齢人口（15～64歳）が一貫して減少しているのに対し、老年人口（65歳～）は増加を続け、平成22年10月1日時点で、年少人口13.3%（46,243人）、生産年齢人口61.8%（215,327人）、老年人口25.0%（86,971人）となっており、全道と同様に、十勝においても高齢化が急速に進行しています。

■年少人口（0～14歳）・生産年齢人口（15～64歳）・老年人口（65歳～）の推移

(単位:人)

		国勢調査(各年10月1日)				
		平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年
十勝	年少人口	69,041 19.4%	61,326 17.2%	55,248 15.5%	50,277 14.2%	46,243 13.3%
	生産年齢人口	243,667 68.5%	241,670 67.7%	236,294 66.1%	225,814 63.8%	215,327 61.8%
	老年人口	43,247 12.1%	54,097 15.1%	66,040 18.5%	78,005 22.0%	86,971 25.0%
北海道	年少人口	1,034,251 18.4%	898,673 15.8%	792,352 14.0%	719,057 12.8%	657,312 12.0%
	生産年齢人口	3,924,717 69.7%	3,942,868 69.3%	3,832,902 67.8%	3,696,064 65.8%	3,482,169 63.3%
	老年人口	674,881 12.0%	844,927 14.9%	1,031,552 18.2%	1,205,692 21.4%	1,358,068 24.7%

出典：総務省「国勢調査」（各年10月1日現在 年齢不詳人口を除く）

注）下段は総人口に占める割合

(3) 人口動態の推移

自然動態は、少子高齢化を背景に、死亡数が出生数を上回る状況が続いており、平成26年度の自然増減数（出生数－死亡数）は1,204人減となっています。

社会動態は、平成22年度に社会増減数（転入数－転出数）が772人増とプラスの状況にありましたが、それ以降は、転出数が転入数を上回る転出超過の状況が続いており、平成26年度は826人減となっています。

■自然増減数及び社会増減数の推移

(単位:人)

	自然動態			社会動態			増減数
	出生数	死亡数	自然増減数	転入数	転出数	社会増減数	
平成22年度	2,797	3,465	△ 668	15,289	14,517	772	104
平成23年度	2,805	3,517	△ 712	14,846	15,605	△ 759	△ 1,471
平成24年度	2,710	3,617	△ 907	14,653	15,213	△ 560	△ 1,467
平成25年	2,681	3,656	△ 975	14,563	15,205	△ 642	△ 1,617
平成26年	2,521	3,725	△ 1,204	14,274	15,100	△ 826	△ 2,030
合 計	13,514	17,980	△ 4,466	73,625	75,640	△ 2,015	△ 6,481
平 均	2,703	3,596	△ 893	14,725	15,128	△ 403	△ 1,296

出典：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」

(平成22年度から24年度は4月1日から翌年3月31日まで、平成25年以降は1月1日から12月31日の人口動態)

注) 自然増減数＝出生数－死亡数 社会増減数＝転入数－転出数 増減数＝自然増減数＋社会増減数

平成24年度以降の数値は日本人人口のみ

(4) 他圏域との比較

北海道の振興局別人口を見ると、石狩を除き、全て人口減少の状況にあります。このうち、十勝は、人口減少の割合が最も低い圏域となっています。

■北海道振興局別人口の推移

(単位:人)

	国勢調査 (各年10月1日)				
	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年
石 狩	2,024,041	2,154,646	2,242,564	2,310,015	2,342,338
	-	6.5%	4.1%	3.0%	1.4%
渡 島	483,183	474,096	461,677	449,435	427,807
	-	△ 1.9%	△ 2.6%	△ 2.7%	△ 4.8%
檜 山	62,359	57,642	54,830	46,996	42,058
	-	△ 7.6%	△ 4.9%	△ 14.3%	△ 10.5%
後 志	287,580	274,893	262,811	250,066	232,940
	-	△ 4.4%	△ 4.4%	△ 4.8%	△ 6.8%
空 知	420,006	404,808	386,657	365,594	336,254
	-	△ 3.6%	△ 4.5%	△ 5.4%	△ 8.0%
上 川	561,595	553,812	547,704	535,480	520,365
	-	△ 1.4%	△ 1.1%	△ 2.2%	△ 2.8%
留 萌	76,262	70,403	65,891	61,494	53,105
	-	△ 7.7%	△ 6.4%	△ 6.7%	△ 13.6%
宗 谷	92,778	86,378	80,767	75,668	73,447
	-	△ 6.9%	△ 6.5%	△ 6.3%	△ 2.9%
網走(オホーツク)	353,528	346,546	338,481	324,849	310,009
	-	△ 2.0%	△ 2.3%	△ 4.0%	△ 4.6%
胆 振	445,024	445,024	434,655	426,639	416,289
	-	0.0%	△ 2.3%	△ 1.8%	△ 2.4%
日 高	93,592	89,937	86,020	81,407	75,321
	-	△ 3.9%	△ 4.4%	△ 5.4%	△ 7.5%
十 勝	356,095	357,126	357,858	354,146	348,597
	-	0.3%	0.2%	△ 1.0%	△ 1.6%
釧 路	295,380	287,643	276,654	261,891	247,320
	-	△ 2.6%	△ 3.8%	△ 5.3%	△ 5.6%
根 室	92,224	89,367	86,493	84,057	80,569
	-	△ 3.1%	△ 3.2%	△ 2.8%	△ 4.1%
北 海 道	5,643,647	5,692,321	5,683,062	5,627,737	5,506,419
	-	0.9%	△ 0.2%	△ 1.0%	△ 2.2%

出典：総務省「国勢調査」(各年10月1日)

注) 下段は対前期増減率

平成17年に檜山管内熊石町が渡島管内八雲町と合併

平成22年に幌延町が留萌支庁から宗谷総合振興局へ、幌加内町が空知支庁から上川総合振興局へ移管

3 生活機能分野

(1) 医療

帯広市及び近隣3町（音更町・芽室町・幕別町）の人口は十勝全体の約75%を占め、医療機関数についても十勝の約7割、医療従事者数については十勝の約8割がこの地域に集中しています。一方、全国的に医療従事者が不足している状況において、町村部の医師・看護師不足は深刻で、特に、小児科、産婦人科医の確保は困難な状態となっています。

また、休日・夜間における軽症患者の増加や、住民の大病院・専門医志向の高まりにより、初期救急の患者が二次・三次救急医療機関を利用している状況にあり、これらの医療機関の負担が増大しています。

十勝定住自立圏においては、救命救急センターへの運営費助成により、センターの維持・充実が図られたほか、救急医療に関する普及・啓発を通じて、救命救急センターの軽症患者利用割合が低下し、症状に応じた適切な医療機関の利用が進みつつあります。

一方、周産期医療や小児医療、精神医療などの体制の維持、充実が課題となっており、重症度、緊急度に応じた医療が提供されるよう、初期から三次救急医療に至る体系的な医療提供体制を確保するとともに、引き続き、医療機関の適切な利用に対する啓発活動を行うことが必要となっています。

■住民10万人あたりの医師数・看護師数・病床数

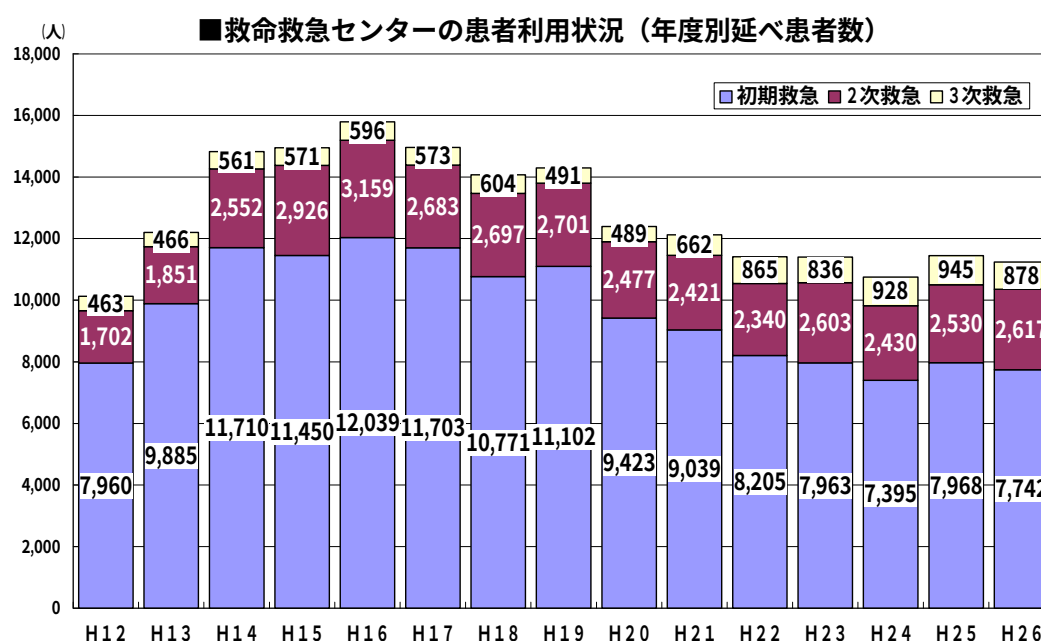
	医師数（人）		正看護師数（人）		准看護師数（人）		病床数（床）	
	実数	人口10万対	実数	人口10万対	実数	人口10万対	実数	人口10万対
十勝	603	174.4	2,808	811.9	722	208.8	5,272	1,531.5
北海道	12,853	235.4	54,555	1,002.5	20,286	372.8	104,600	1,926.0

出典：平成25年北海道保健統計年報（医師、病床数）

平成25年版十勝地域保健情報年報（正看護師数及び准看護師数）

注）医師数、正看護師数及び准看護師数は平成24年12月31日現在

病床数は平成25年10月1日現在



出典：帯広厚生病院調べ

(2) 福祉（障害福祉・児童福祉・高齢者福祉）

障害者福祉については、障害者基本法の改正や障害者総合支援法の施行により、障害のある人が地域において自立した生活を営むことができる仕組みづくりや、就労や余暇活動などの社会参加を支援する様々な施策が推進されています。

十勝定住自立圏においては、これまで、各市町村の地域活動支援センターについて、施設の広域利用により、生活圏の拡大や地域社会との交流に貢献してきました。

今後は、地域活動支援センターのさらなる広域利用促進のため、各市町村の施設に関するより詳細なわかりやすい情報提供が必要となっています。

児童福祉については、出生数の減少などを背景に、十勝においても人口減少・少子高齢化の一層の進行が予測される中、核家族化の進行や長引く経済不況に加え、道路交通網や情報ネットワークの整備などによる日常生活圏の拡大に伴い、保護者の子育て支援に対するニーズが多様化してきています。

十勝定住自立圏においては、これまで、通勤等に伴う保護者のニーズに応えるため、市町村を超えた保育所の広域入所などを進めてきました。また、各市町村においては、仕事と家庭の両立支援に向けた保育所や幼稚園、放課後児童クラブなどの設置運営や、育児不安の解消などを目的とした地域子育て支援センターの整備を進めてきたほか、平成27年4月に施行された子ども・子育て支援新制度を踏まえ、圏域内の保育所・幼稚園等に係る広域調整の機能強化を図っています。

今後とも様々なニーズに対応するため、広域的な視点も持ちながら、保育所や地域子育て支援センターの利用促進を図るなど、地域全体で子育てを支援していく必要があります。

高齢者福祉については、高齢化の進展に伴い、高齢者単身世帯や高齢者の夫婦のみ世帯、認知症高齢者が増加し、徘徊する高齢者も増加傾向にあります。各市町村では高齢者の見守りとして、配食（給食）や緊急通報のほか、独自の徘徊見守りシステムを持ち対応を進めていますが、高齢者の行動範囲は広く、市町村を越えて保護されるケースも見られます。

また、高齢者が、介護が必要になっても、できる限り住み慣れた市町村や生活環境の中で、居宅や施設サービスをはじめとする様々な介護サービスを利用しながら、日常生活を続けられるよう、介護に携わる人材確保が圏域共通の課題となっています。

今後は、高齢者の生活支援体制の構築に向けて、新たな視点を持ち続けながら、既存の仕組みの活用や充実等、安定した福祉サービスの提供に取り組んでいく必要があります。

■地域活動支援センター・保育所・地域子育て支援センターの設置箇所数等

		地域活動支援センター		身体・知的 障害者手 帳 交付状況	保育所			地域子育て支援センター	
		施設数	定員		施設数 (うちへき地保育所)	定員	入所児童数	施設数	利用者数
	音更町	1	15	2,658	16 (7)	1,103	1,023	3	35,683
	士幌町	0	0	489	5 (3)	255	148	1	4,163
	上士幌町	0	0	446	1	90	79	1	3,332
	鹿追町	0	0	330	5 (4)	290	163	1	4,773
	新得町	1	15	734	3 (1)	190	103	1	6,672
	清水町	1	10	861	4 (1)	330	237	1	5,701
	芽室町	1	10	1,036	7 (5)	510	408	1	9,595
	中札内村	0	0	257	2 (1)	170	119	1	2,569
	更別村	0	0	186	1	60	56	1	500
	大樹町	1	20	385	3	170	180	1	5,476
	広尾町	1	15	569	3	210	119	1	5,312
	幕別町	1	10	1,518	11 (6)	700	522	3	9,424
	池田町	1	10	532	1	120	99	1	2,413
	豊頃町	0	0	275	2 (1)	90	59	1	1,206
	本別町	0	0	640	4 (2)	280	146	1	2,566
	足寄町	1	15	504	4 (3)	185	138	1	3,220
	陸別町	0	0	211	1 (1)	90	61	1	2,579
	浦幌町	0	0	412	2 (1)	125	88	1	3,340
	帯広市	9	95	9,319	32 (6)	2,925	2,840	6	67,430
	十勝	18	215	21,362	107 (42)	7,893	6,588	28	175,954

出典：帯広市調べ

注）地域子育て支援センターは平成26年度延べ利用者数、その他は平成27年4月1日現在

保育所は認定こども園の保育（2号・3号認定）を含む

■高齢者の状況

	人口	65歳以上の 高齢者数	高齢化率 (%)	要介護 認定者数	認知症高齢者 (日常生活自立度Ⅱ以上)
音更町	45,356	11,513	25.4	1,988	1,280
士幌町	6,414	1,820	28.4	348	219
上士幌町	4,958	1,656	33.4	265	130
鹿追町	5,605	1,493	26.6	220	146
新得町	6,305	2,231	35.4	499	253
清水町	9,938	3,241	32.6	641	293
芽室町	19,088	4,994	26.2	957	566
中札内村	4,074	1,025	25.2	181	126
更別村	3,335	894	26.8	149	96
大樹町	5,886	1,868	31.7	387	296
広尾町	7,512	2,441	32.5	414	243
幕別町	27,714	7,614	27.5	1,463	1,018
池田町	7,299	2,780	38.1	503	338
豊頃町	3,340	1,233	36.9	224	156
本別町	7,809	2,811	36.0	483	324
足寄町	7,442	2,669	35.9	498	291
陸別町	2,574	956	37.1	170	144
浦幌町	5,305	1,935	36.5	390	248
帯広市	168,734	42,104	25.0	8,093	4,966
十勝	348,688	95,278	27.3	17,873	11,133

出典：帯広市調べ（平成26年4月末現在）

(3) 教育

十勝には、公民館をはじめ、図書館や博物館、生涯学習センターなど、130 の社会教育施設や、民間を含め 451 の社会体育施設が設置されています。

これらの施設では、これまで、それぞれの地域特性を活かし、住民が生涯にわたってゆとりやうるおいを実感して生活できるよう、様々な取り組みが進められてきました。

しかしながら、近年、生涯学習に対する住民のニーズが多様化・高度化する中、それぞれの自治体で実施されている取り組みだけでは、こうしたニーズに十分な対応をすることが難しくなってきました。

また、図書館など、すでに多くの市町村に設置されている施設や、明治北海道十勝オーバルや銀河の森天文台など、十勝にしか所しない特徴的な施設もある中、これらの施設の活用やサービスの均等化などが課題となっていました。

このため、十勝定住自立圏においては、管内の生涯学習施設がハード・ソフトの両面にわたって広域的な連携を強化し、地域性豊かな生涯学習の構築に向けた取り組みを進めてきました。これまでの取り組みによって、管内の社会教育施設情報の集約と発信が進み、管内住民の催事等への参加の機会を拡大してきたほか、合同研修会による図書館職員のスキル向上を図ってきていますが、効果を一層高めていくには、継続的に取り組んでいく必要があります。

さらに、スポーツの分野においては、十勝の地域特性をはじめ、競技施設の立地状況や環境等の優位性を背景に、各市町村で競技団体等と連携し、大会等の誘致が進められていますが、個々の市町村では競技施設や宿泊施設等の収容能力などに限りがあり、より規模の大きな大会等を誘致する上で、広域的な取り組みが必要になっています。

■社会教育施設設置状況一覧（民間施設を除く）

市町村名	公民館	図書館	博物館	生涯学習センター	青少年教育施設	女性・婦人会館	その他	合計
音更町	4	2					1	7
士幌町	14	1						15
上士幌町		1	1	1	1			4
鹿追町	12	1	2		1			16
新得町	1	1						2
清水町	2	1	2		2		1	8
芽室町	1	1	1		2		1	6
中札内村	2		2					4
更別村							1	1
大樹町		1		1			1	3
広尾町	2	1	2		2		3	10
幕別町	4	3	2	1	4		2	16
池田町	1	1						2
豊頃町		1		1			1	3
本別町	4	1	1		2		1	9
足寄町	6						2	8
陸別町	1		1					2
浦幌町	4	1	1					6
帯広市	1	1	4		1		1	8
合計	59	18	19	4	15	0	15	130

出典：「社会教育調査」（平成 27 年 10 月）に基づき各市町村で集計

■社会体育関連施設設置状況一覧（民間施設を含む）

	体育館	陸上競技場	野球場	ソフトボール場	テニスコート	パークゴルフ場	ゴルフ場	ゴルフ練習場	武道場等	プール	ゲートボール屋内	スケートリンク	スキー場	キャンプ場	その他	合計
音更町	3	1	3	1	4	11	2	1	1	1	2	2			7	39
士幌町	1	1	2	1		4			1	1	1	1		2		15
上士幌町	1		2	1	1	4	1	2	1	1	1	1	1	2		19
鹿追町	1	1	1	2	1	5			1	2	3	1	1	3		22
新得町	2		1		3	4	1		1	1	3	1	2	4	3	26
清水町	2		1			4	2	1	1	2	1	1			5	20
芽室町	1		2	1	2	5	1			1	1	5	1	1	3	24
中札内村	2		1	1	2	3			2	2	1			1	3	18
更別村	2		1	1	1	2			1	1		1		1	1	12
大樹町	1		1	1	1	1		1	1	1	1	1		1		11
広尾町	4	1	1	1	1	5		1		3	1	1	1	1		21
幕別町	3	1	4	2	5	14	2	2	2	6	2	2	2	1		48
池田町	1		1	1	1	3		1		1	1	1			4	15
豊頃町	1		1	1	1	1				1	1	1		2	3	13
本別町	1	1	3		2	6		1	1	1	4	3	1	1	4	29
足寄町	1	1	1		1	7			1	1	6	1	1	2	2	25
陸別町			1	2	1	1				1	1	1	1		1	10
浦幌町	1		1			4		1	1	1	3	1		1	2	16
帯広市	3	1	7	1	9	25	1	2	3	1	1	4			10	68
合計	31	8	35	17	36	109	10	13	18	29	34	29	11	23	48	451

出典：「社会教育調査」（平成27年10月）に基づき各市町村で集計

（４）産業振興

① 農業

十勝は、約26万haの耕地を有し、年2,000時間を超える日照時間、良質な水資源に恵まれ、品種改良や肥培管理技術の向上、土地基盤の整備を進め、我が国を代表する食料生産基地として、大規模で生産性の高い畑作・酪農が展開されています。

十勝における1戸あたりの平均耕地面積は38.3haで、全国平均の約17倍に達し、EUの農業国であるフランスやドイツと並ぶ水準にあります。

また、販売農家総数5,978戸のうち専業農家数は4,479戸（約75%）で、家族経営を主とした専業経営の割合が非常に高く、生産性の高い畑作・酪農主体の土地利用型農業が営まれています。

十勝農業は、恵まれた環境の中で、カロリーベースでの食料自給率が1,249%の食料生産地帯として、3,233億円の農畜産物を生産し、食品加工・農業機械などの関連産業が集積するなど、地域経済を支える基幹産業として重要な役割を担っています。

しかし、十勝の農業を取り巻く環境は、経済のグローバル化が進む中で、経営所得安定対策（旧戸別所得補償制度）の導入や環太平洋パートナーシップ協定が大筋合意に達するなど大きく変化しており、今後、地域で連携しながら、生産基盤の整備、生産技術の向上、経営の効率化などを図っていく必要があります。

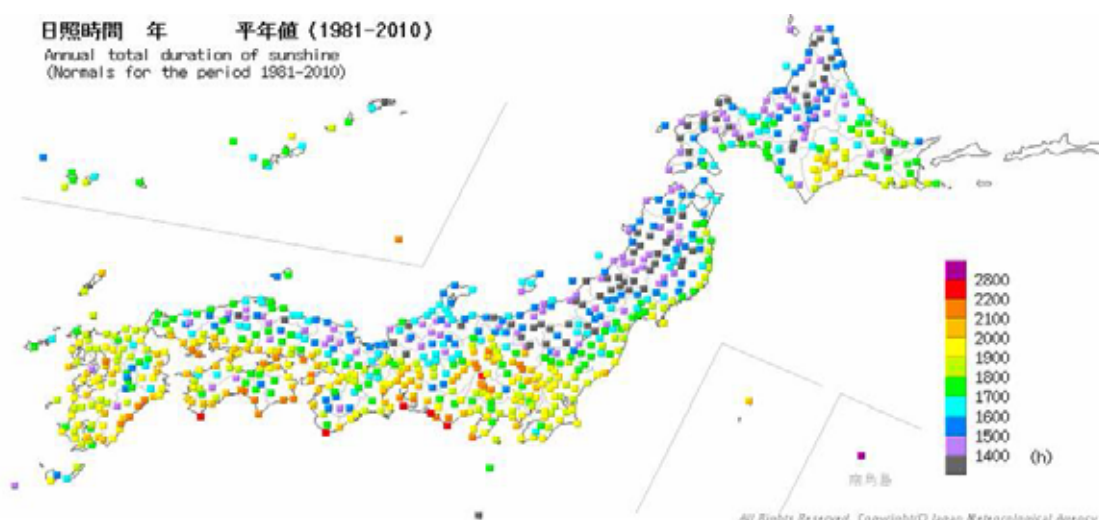
これまでの取り組みにおいては、防疫資材の管内備蓄状況や資材の貸借について調査等を行ったほか、新規就農者等の管内農業者を対象とした研修会を開催するなど、農業振興に関する広域的な取り組みや地域の担い手の育成を実施してきました。

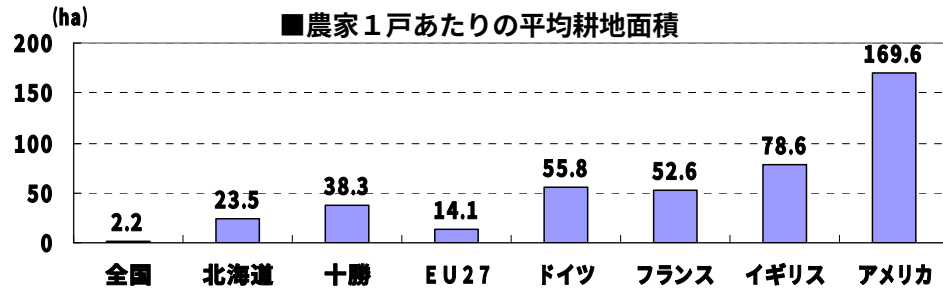
また、フードバレーとかちの取り組みとして、民間企業と協力し、人工衛星を活用した農業情報サービスの実証試験等を十勝全域で展開するなど、農林漁業を成長産業にするための取り組みを広域で実施したほか、平成25年度には管内19市町村が「バイオマス産業都市」に選定され、十勝に豊富に有する家畜糞尿等の資源を活用するバイオガスプラントの設置などを進めました。

一方、後継者問題や労働力不足などにより、農家戸数は、この10年間で約2割減少しており、担い手の育成支援や新規就農の促進、効率的農業経営を目指した法人化や、労働力不足への対応と機械コスト低減のためのコントラクター（農作業受委託）事業など、地域農業の担い手確保・育成に向けた取り組みを進めていく必要があります。

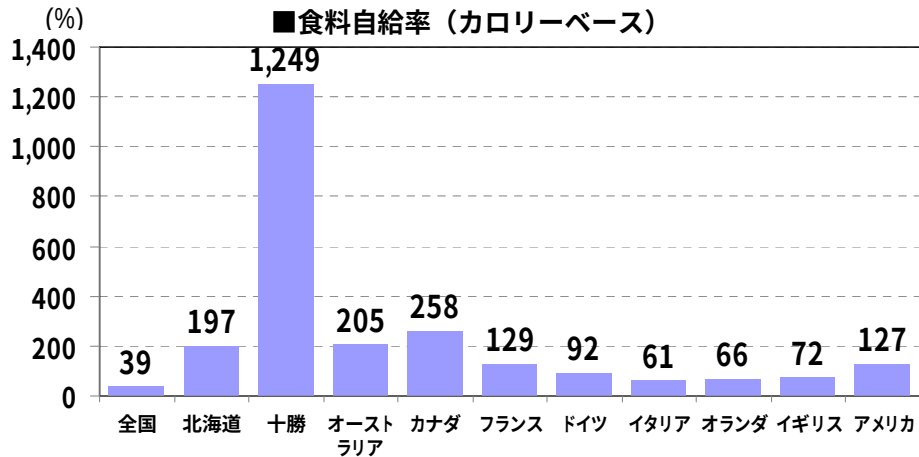
さらに、鳥インフルエンザや口蹄疫などの疫病、エゾシカなどの野生鳥獣の食害についても、その影響が広範囲に及ぶことから、地域が連携しながら対策を進めていく必要があります。

■日照時間年平均値（1981-2010）



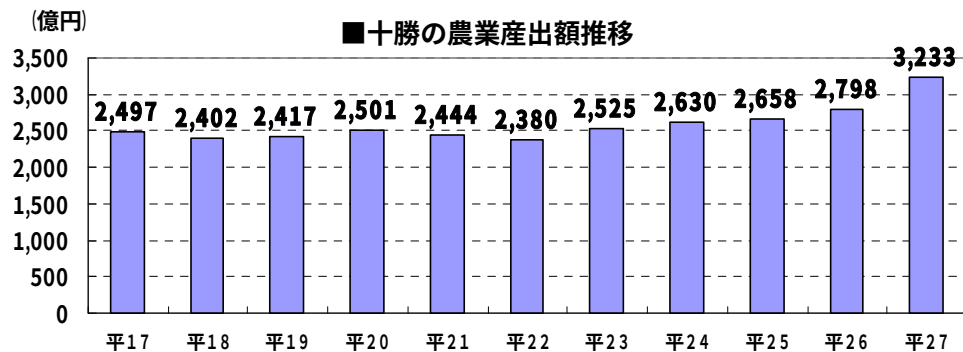


出典：農林水産統計（農林水産省）、2010 農林業センサス（農林水産省）、2010 USDA/NASS 資料、EU 農業センサス 2010



出典：農林水産省ホームページ、フードバレーとかち推進協議会

注）全国は平成 26 年、北海道は平成 25 年、十勝は平成 27 年、他は平成 23 年の数値



出典：農林水産統計（農林水産省）

平成 19 年以降は十勝地区農業協同組合長会、十勝農業協同組合連合会、十勝総合振興局調べによる農協取扱高

■農家戸数の推移

(単位: 戸、%)

		総数	専業農家	兼業農家			規模別農家			
				総数	第1種	第2種	5ha未満	5～10	10～20	20ha以上
平成12年	十勝	7,472	5,087	2,385	2,062	323	607	439	1,139	5,287
	全道	62,611	29,051	33,560	23,652	9,908	19,938	12,872	12,764	17,037
	対全道比	11.93	17.51	7.11	8.72	3.26	3.04	3.41	8.92	31.03
平成17年	十勝	6,596	4,811	1,785	1,608	177	421	305	835	5,035
	全道	51,990	27,120	24,870	18,496	6,374	14,690	9,436	10,882	16,982
	対全道比	12.69	17.74	7.18	8.69	2.78	2.87	3.23	7.67	29.65
平成22年	十勝	5,978	4,479	1,499	1,215	284	321	177	642	4,838
	全道	44,050	26,693	17,357	11,963	5,394	11,378	6,527	9,249	16,896
	対全道比	13.57	16.78	8.64	10.16	5.27	2.82	2.71	6.94	28.63

出典：農林業センサス・農林水産統計

注）農家数は販売農家数で記入

■年度別エゾシカ捕獲数及び被害額

(単位:頭、百万円)

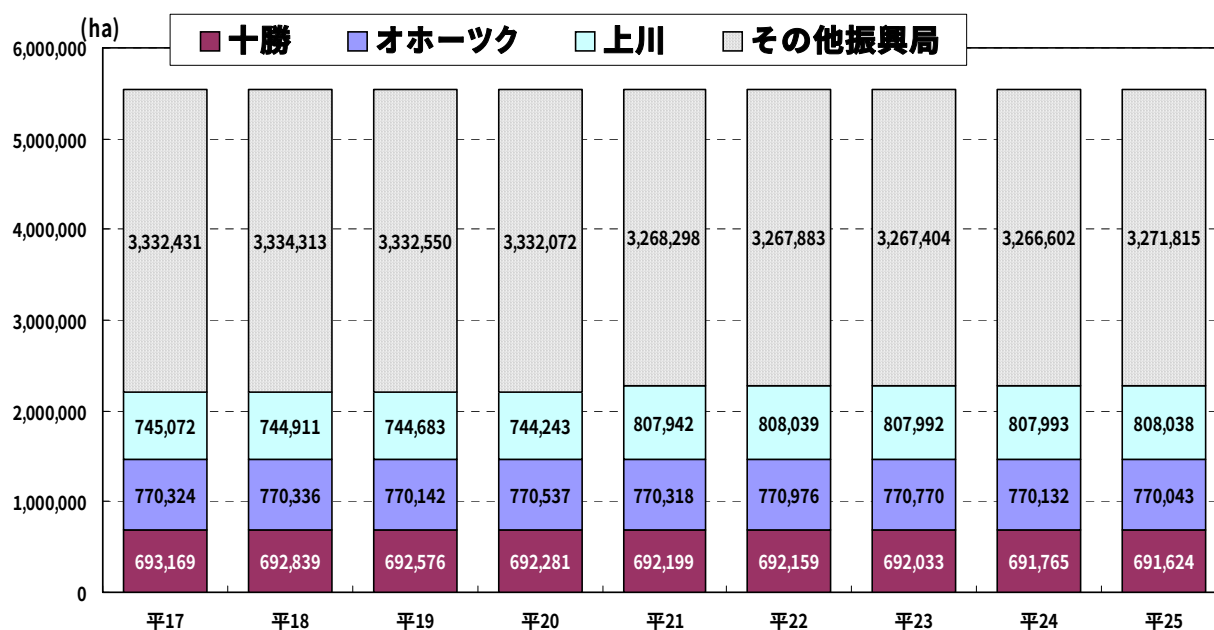
			平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
捕獲数	狩猟	十勝	7,378	7,963	9,320	8,920	9,250	11,787	5,703
		全道	42,113	49,581	59,774	55,280	68,247	69,271	45,795
		対全道比	17.5%	16.1%	15.6%	16.1%	13.6%	17.0%	12.5%
	許可捕獲	十勝	4,554	3,823	5,226	6,190	7,967	7,731	9,310
		全道	30,843	33,391	37,582	53,840	69,385	75,143	86,444
		対全道比	14.8%	11.4%	13.9%	11.5%	11.5%	10.3%	10.8%
	合計	十勝	11,932	11,786	14,546	15,110	17,217	19,518	15,013
		全道	72,956	82,972	97,356	109,120	137,632	144,414	132,239
		対全道比	16.4%	14.2%	14.9%	13.8%	12.5%	13.5%	11.4%
農林業被害額		十勝	444	555	562	801	864	937	704
		全道	3,244	4,045	5,082	5,944	6,409	6,304	5,563
		対全道比	13.7%	13.7%	11.1%	13.5%	13.5%	14.9%	12.7%

出典：十勝総合振興局環境生活課調べ

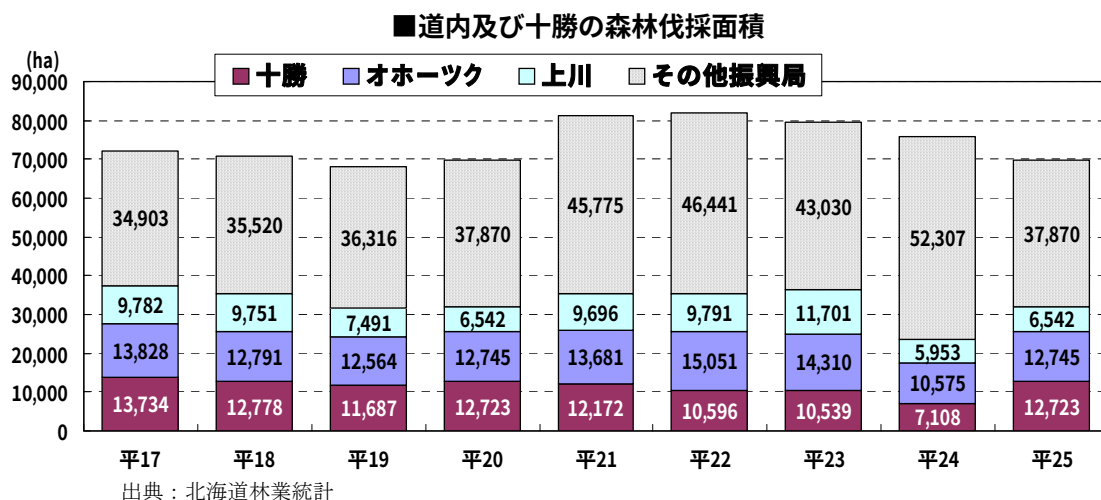
② 林業

十勝の森林面積は691,624haで、その内訳は国有林415,555haと、民有林（道有林、市町村有林、私有林等）276,068haとなっています。この面積は十勝の総面積の約64%を占め、上川圏、オホーツク圏に次ぐ広さになっています。平成25年の伐採面積は12,723haであり、882千m³の木材が産出されています。

■道内及び十勝の森林面積

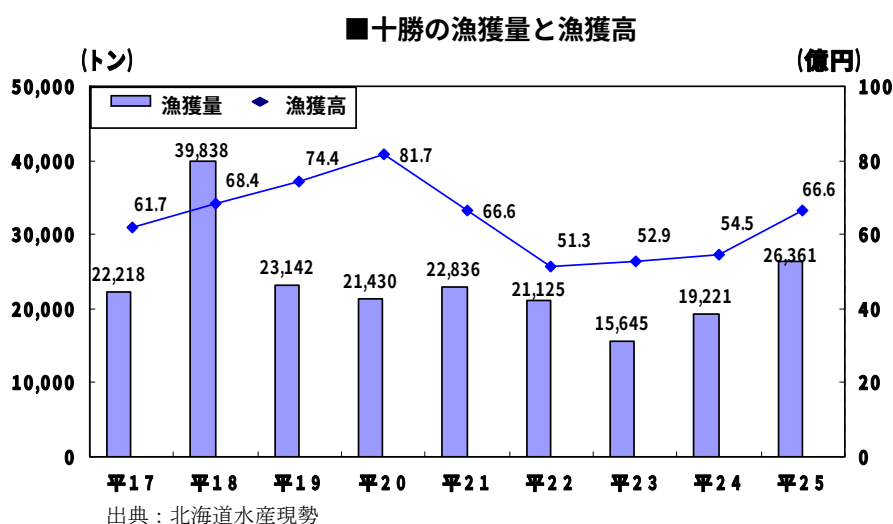


出典：北海道林業統計



③ 水産業

十勝には、重要港湾である十勝港をはじめ、沿岸部に5つの漁港（音調津、大樹、旭浜、大津、厚内）があり、平成25年の総漁獲量は26,361トンで、漁獲高は約67億円となっています。このうち魚種別漁獲高では、さけが約32億円と全体の約半分を占めています。



④ 工業

十勝の製造品出荷額等は4,240億円で、全道14の総合振興局・振興局のうち3番目に位置しています。食料品製造業は2,892億円で製造品出荷額等の68.2%を占めており、北海道の30.2%と比較して高い割合となっています。

十勝の付加価値率（製造品出荷額等に占める付加価値額の比率）は製造業全体で29.7%と全道平均24.2%を上回っていますが、食料品製造業の付加価値率は26.1%と全道平均27.0%、全国平均34.7%と比べ低くなっています。

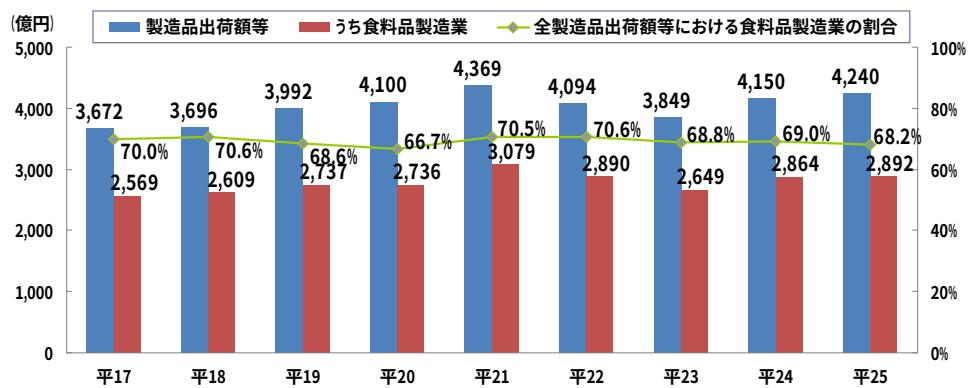
これまでの取り組みにおいては、農商工・産学官連携事業の推進や地域製品のPR事業により、十勝産原料を活用した商品開発や十勝ブランドの確立に向けた取り組みを進めてきました。また、フードバレーとかちの推進として、地域の農産物を活用し、付加価値の高い商品をつくるため、大手食品製造メーカーとフードバレーとかち推進協議会が包括連

携協定を結び、十勝産農産物を原料とする機能性素材の抽出や、地域産業と連携した新たな商品開発を進めています。

今後とも、引き続き、十勝の豊富な農畜産物等の原材料を地元で加工し、さらなるブランド化を図るなど、付加価値を向上する取り組みを促進する必要があります。

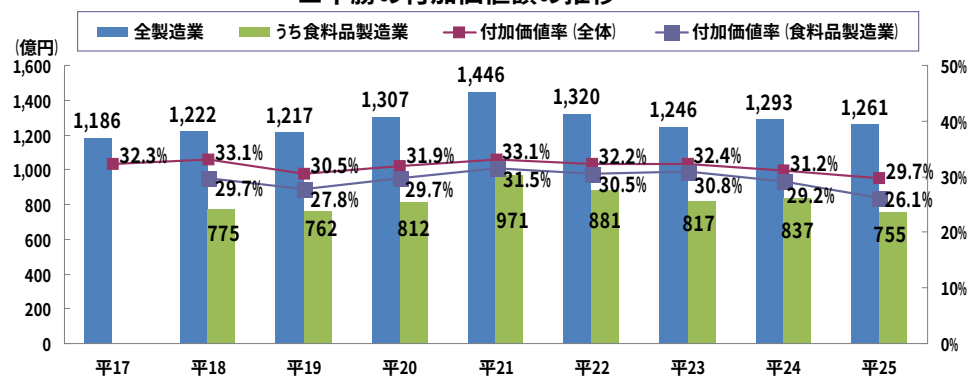
企業誘致については、圏域に2つあった協議会を統合し、オール十勝の体制によりフェアへの出展やセミナーの開催などに取り組んできましたが、今後も、新たな雇用創出や地域産業の活性化を図るため、地域特性等を活かした企業立地を促進する必要があります。

■十勝の製造品出荷額等



出典：工業統計、経済センサス

■十勝の付加価値額の推移



出典：工業統計、経済センサス（平成17年の業種別付加価値額は未公表）

■地域別（振興局管内別）企業立地件数の推移

	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年
道央	32	44	37	24	18	6	16	32	47	41
石狩	13	14	14	11	8	1	7	9	19	19
後志	10	11	7	6	0	1	1	2	3	2
胆振	3	9	10	3	1	1	4	13	18	16
日高	0	0	1	0	0	0	0	1	2	0
空知	6	10	5	4	9	3	4	7	5	4
道東	12	8	21	3	10	7	5	39	51	35
十勝	5	1	8	1	4	3	3	20	18	12
釧路	4	3	9	0	5	2	1	6	14	8
根室	0	2	1	0	1	0	0	1	0	1
オホーツク	3	2	3	2	0	2	1	12	19	14
道北	8	3	2	4	6	5	5	4	9	6
上川	8	2	1	4	6	5	5	4	9	6
留萌	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
宗谷	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
道南	5	7	5	4	1	2	1	0	2	5
渡島	5	4	5	4	1	2	1	0	1	4
檜山	0	3	0	0	0	0	0	0	1	1
合計	57	62	65	35	35	20	27	75	109	87

出典：「北海道の工場立地動向調査」（北海道経済産業局）

⑤ 商業

近年の厳しい経済状況や消費の低迷等により、十勝の卸・小売業の事業者数及び従業者数は、ともに減少傾向で推移しており、平成 26 年の事業所数は 3,054 か所、従業者数は 23,826 人となっています。

また、卸・小売業の年間商品販売額は平成 26 年で 9,166 億円であり、十勝の商品販売額が北海道に占める割合は、これまでと比較して低下しています。

■卸・小売業の事業所数（法人＋個人）

(単位:か所)

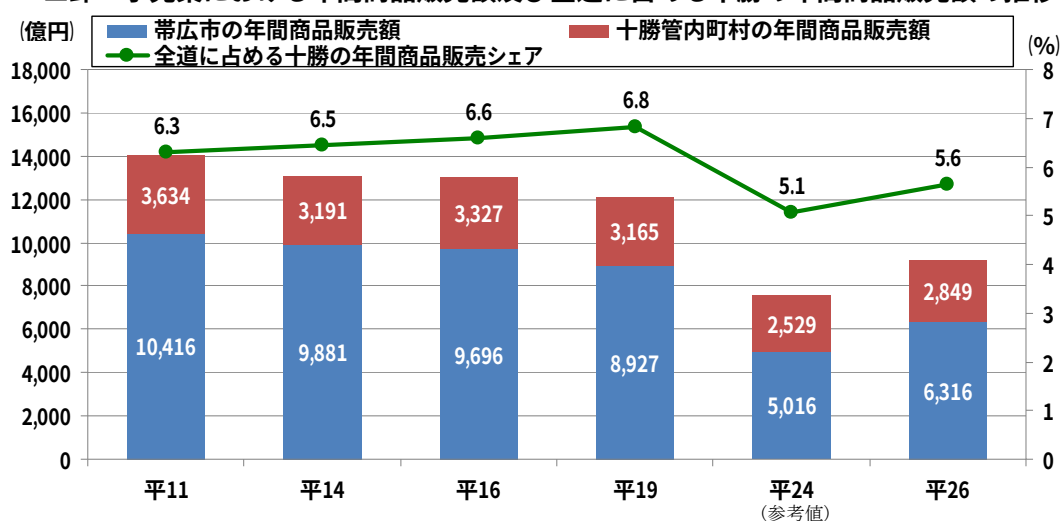
	全 国	北海道	十 勝
平 11	1,832,734	71,980	5,008
平 14	1,679,606	66,506	4,677
平 16	1,613,318	64,471	4,497
平 19	1,472,658	58,236	4,041
平 24 (参考値)	1,049,870	42,813	2,962
平 26	1,039,079	42,769	3,054

■卸・小売業の従業者数（法人＋個人）

(単位:人)

	全 国	北海道	十 勝
平 11	12,524,768	547,802	33,957
平 14	11,974,766	516,518	33,673
平 16	11,565,953	502,536	31,064
平 19	11,105,669	463,793	29,608
平 24 (参考値)	8,308,863	343,808	21,782
平 26	8,569,694	358,174	23,826

■卸・小売業における年間商品販売額及び全道に占める十勝の年間商品販売額の推移



出典：商業統計（～平成 19 年）、経済センサス（平成 24 年）、商業統計（平成 26 年）

注）経済センサスは商業統計と集計方法が異なり、単純比較ができないことから、参考値とした。

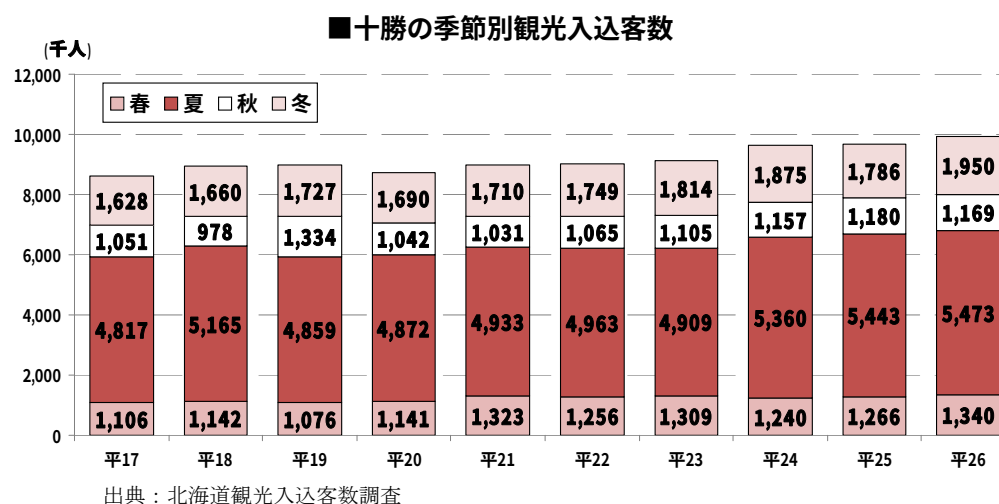
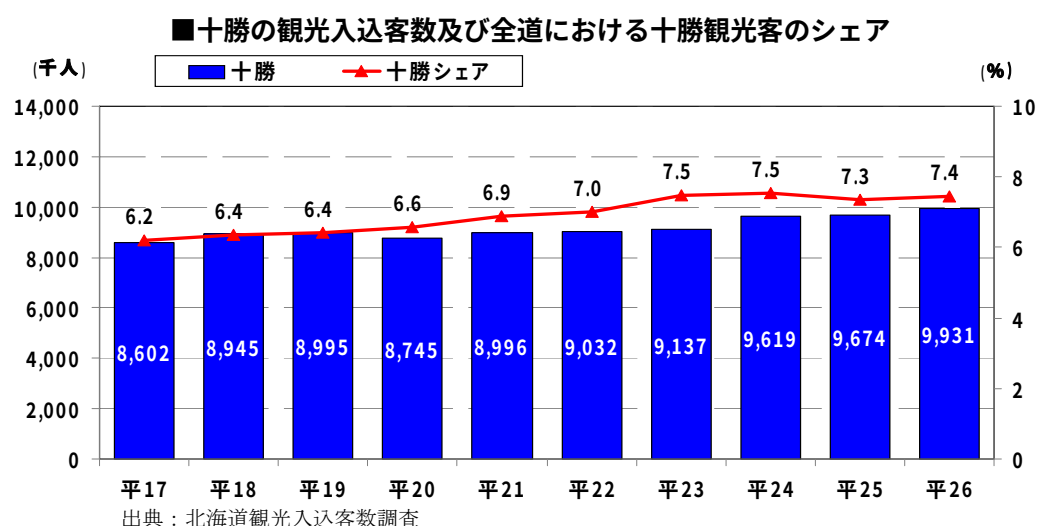
⑥ 観光

十勝の観光入込客数は、これまで各市町村が連携して、オール十勝による観光プロモーションや各種イベントなどを実施してきたことにより、増加傾向にあります。全道に占める十勝の割合はほぼ横ばいの7%台となっています。

平成26年度の十勝の観光入込客数は、9,931千人で道内6圏域中4番目となっており、観光入込客数に占める道外客の割合は24.7%、宿泊客の割合は17.0%となるなど、道外からの観光客や滞在型の観光客が少ない状況となっています。

これまでの取り組みにおいては、観光関連団体と連携し、観光セミナーの開催や各地域イベントでのPRなどのほか、「さっぽろオータムフェスト」や「国際農業機械展 in 帯広」などの大規模イベントへの出展、人気漫画を活用した「とちかちフード&コンテンツツーリズム」の実施など、食を活かした観光振興に圏域を挙げて取り組んできたところです。

今後とも、オール十勝による観光プロモーションや各種イベントなどを効率的・効果的に実施するほか、観光情報を集約し、一体的に情報発信を行うことにより、観光客が周遊しやすい環境づくりを進め、地域が一体となって、観光客の多様なニーズに対応した魅力ある観光振興を図る必要があります。



⑦ 道路

広大な面積を有する十勝は自動車交通への依存度が高く、道路網は圏域内外の物的・人的交流に重要な役割を果たしています。

高速自動車国道である北海道横断自動車道は、平成23年秋に道央圏と全線が結ばれ、道央から十勝までの新たな高速道路ネットワークが完成したほか、平成27年3月には白糠まで開通となり、今後は釧路管内へのアクセス向上も期待されています。

また、一般国道自動車専用道路である帯広・広尾自動車道は、帯広～忠類大樹間が開通し、とちち帯広空港や広尾方面とのアクセスが向上しています。

今後は、道央圏に加え、釧路・オホーツク圏とのネットワーク強化に向けた道路網の一層の整備や、十勝港とのアクセス強化が望まれています。

■高規格幹線道路の整備状況



※整備計画区間（直轄）：新直轄方式（平成15年導入）

- ・新会社による整備・管理が難しいと見込まれる高速自動車国道の路線・区間の整備を国が直轄で行う区間。
- ・事業費は、国、地方公共団体が負担し、通行料は無料。

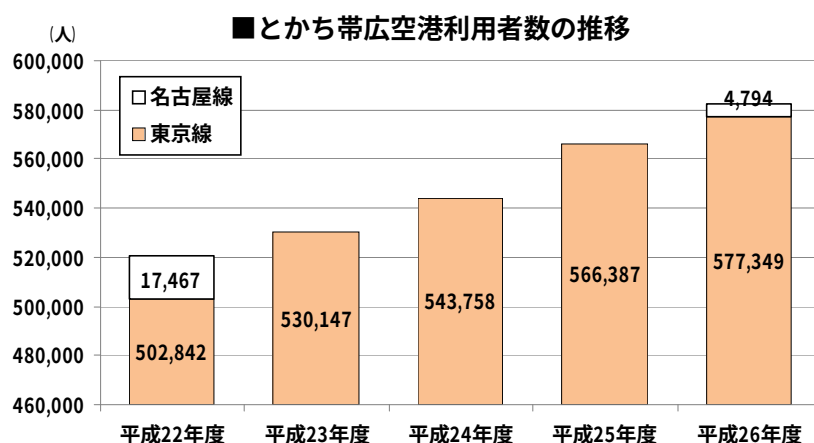
⑧ 空港

圏域唯一の空港である「とちち帯広空港」は、昭和 56 年に道内 4 番目のジェット化空港として開港しました。

国内線は、東京線が 1 日 7 往復運航し、十勝・帯広の空の玄関口として、地域の経済活動を支え、また、平成 26 年から 8 月 1 か月間の季節運航で再開した名古屋線は、中京圏から多くの観光客を運び入れるなど、地域の活性化に貢献しています。

また、平成 12 年から台湾を中心に国際チャーター便が就航していますが、近年は、その便数や旅客数が減少しています。

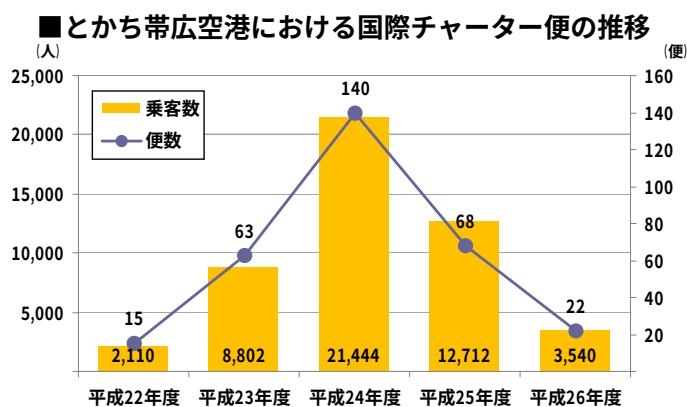
今後は、東京線における提供座席数の増加や貨物コンテナ搭載が可能となる中型機の通年運航化、名古屋線の運航期間延長などのほか、施設拡充に向けた取り組みを進めることにより、路線の充実など空港機能を強化し、空港利用を促進することが求められています。



出典：帯広市空港事務所調べ

注) 東京線 (1 日 4 往復) は平成 23 年 3 月 27 日から 1 日 7 往復
 名古屋 (小牧) 線 (1 日 1 往復) は平成 22 年 10 月 31 日から運休
 名古屋 (中部) 線 (8 月のみ、週 4 往復) は平成 26 年から運航

■路線図



出典：帯広市空港事務所調べ



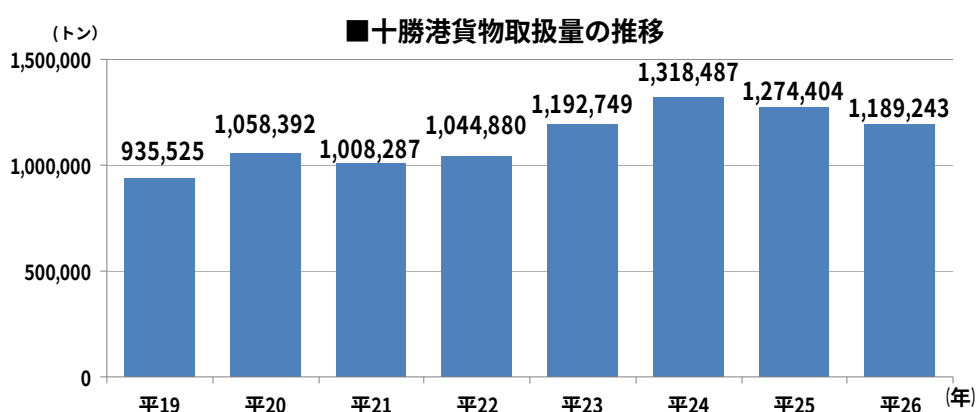
とちち帯広空港

⑨ 港湾

国より重要港湾の指定を受けている十勝港は、道内の港の中で最も首都圏に近いという地理的好条件にあります。

取り扱い貨物量の約7割が農業関連品で、移出は小麦・馬鈴しょなどの農作物、移入は化学肥料・飼料・製糖工場用石炭などの農業生産資材が大半を占めています。

道東で唯一となる水深13mの岸壁の整備や道内最大級の配合飼料コンビナートの設置など、十勝港の利便性が向上しており、今後、圏域の農畜産物や農業資材などの物流拠点として、さらなる利用が期待されています。



出典：広尾町「町政要覧資料編」

⑩ 航空宇宙産業

十勝は、地理的条件や気象条件など、航空宇宙関連の実験・研究拠点として優れた立地条件を有しています。こうした地域の優位性を活かし、十勝圏に航空宇宙産業基地を建設することを目的として、昭和61年に管内全市町村と関係団体が連携して「十勝圏航空宇宙産業基地構想研究会」を設立し、宇宙産業の現状や将来の見通しの調査研究、地域住民などへの啓発活動を展開してきました。

また、大樹町の多目的航空公園や、陸別町のりくべつ宇宙地球科学館（銀河の森天文台）では、様々な研究機関や民間企業、大学などによる実験や観測が行われているほか、大樹町ではロケット開発を手がけるベンチャー企業が活動しています。

平成28年2月には、活動の充実や体制等の強化を図るため、研究会を「とちかち航空宇宙産業基地誘致期成会」へと組織改編しました。

今後、航空宇宙産業基地構想の目的を達成し、十勝の長期的な発展につなげていくためには、オール十勝での取り組みのさらなる推進を図り、地域を挙げて気運の醸成を図っていく必要があります。



大樹町多目的航空公園

(5) 環境

地球温暖化防止は、世界共通の課題として、国際的な連携のもとに対策が進められています。我が国においても、温室効果ガス排出量の削減目標達成に向けて様々な温暖化対策が行われています。

大規模な畑作や酪農地帯を有し、多くの森林資源に恵まれている十勝は、降雪量が比較的少なく、寒冷な気候であり、バイオマスが豊富に賦存するとともに、国内有数の日照時間の長い地域です。これらの地域特性や資源を最大限に活かし、バイオマスや太陽光などの再生可能エネルギー利用や、省エネルギー化などを進め、低炭素社会の構築に向け地域が主体となり取り組むことが求められています。

これまで、各市町村において、環境意識の啓発に関する事業を行い圏域住民の環境意識を向上するとともに、圏域内での情報の共有化を図ってきました。また、公共施設や一般住宅等への太陽光発電システムの導入、木質バイオマスボイラーの導入や道路照明灯等への省エネ機器の導入などにより、温室効果ガスの削減を進めています。

一方で、家庭部門の二酸化炭素排出量の削減が課題となっており、温暖化防止に向けた啓発などに継続的に取り組む必要があります。また、環境保全に向けた取り組みを圏域外へ情報発信し、環境にやさしい地域としての魅力をアピールしていくことが必要です。

■十勝のバイオマス賦存量及び利用状況(2012年度集計)

バイオマス	賦存量(トン/年)	用途	利用量(トン/年)	利用率(%)
木質系	247,951	燃料化、製紙原料、敷料	148,939	60.1
農業残渣	733,447	堆肥化、飼料化	437,877	59.7
家畜排せつ物	5,952,264	堆肥化、液肥化、燃料化	5,483,160	92.1
食品廃棄物	100,163	堆肥化、飼料化、燃料化	56,214	56.1
汚泥類	20,386	堆肥化	10,158	49.8
紙類	14,148	再生利用	13,280	93.9
食物系廃油	2,002	燃料化	263	13.1
合計	7,070,361		6,149,891	87.0

出典：十勝バイオマス産業都市構想

注) 利用率は炭素換算

(6) 防災

日本は、世界でも有数の地震多発国であり、平成23年3月に発生した東日本大震災をはじめ、これまで数多くの震災に見舞われています。また、近年は、地球温暖化の影響により、台風や集中豪雨などによる災害も増えてきています。

十勝においても、過去3度にわたって発生した十勝沖地震によって大きな被害を受けており、今後は、こうした災害に迅速かつ的確に対応するための対策の基本となる地域防災計画の見直しや関係機関との連携強化をはじめ、災害発生当初における生活の維持、情報伝達手段の確保、初期段階において重要となる自主防災体制の構築など、被害を最小限に抑え、住民の生命や財産を守るために必要な体制の整備が求められています。

これまでににおいては、圏域内の災害備蓄品の充実・確保や、非常時における職員の相互派遣体制の充実、避難所の耐震化の推進などに取り組み、圏域内の災害体制の充実を図ってきました。

一方で、災害時における民間企業やボランティア団体等との広域的な連携が課題となっており、広域的な協定の締結や、活動の推進に引き続き取り組むことが必要となっています。

■十勝における地震の発生状況

地震名称	発生年月日	規模 (M)	被害状況
十勝沖地震	昭和 27 年 3 月 4 日 (1952 年)	不明 (8.2)	・ 死者 28 人 不明者 5 人 ・ 負傷者 287 人 ・ 全壊戸数 906 戸 ・ 半壊戸数 1,324 戸
十勝沖地震	昭和 43 年 5 月 16 日 (1968 年)	震度 5 (7.9)	・ 死者 2 人 ・ 負傷者 133 人 ・ 全壊戸数 27 戸 ・ 半壊戸数 81 戸
十勝沖地震	平成 15 年 9 月 26 日 (2003 年)	震度 5 強 (8.0)	・ 死者 1 人 不明者 1 人 ・ 負傷者 847 人 ・ 全壊戸数 116 戸 ・ 半壊戸数 368 戸
東北地方太平洋沖地震	平成 23 年 3 月 11 日 (2011 年)	震度 4 (帯広) (9.0)	・ 建物被害数 29 戸 ・ 漁船被害数 165 隻

出典：北海道地域防災計画等



平成 15 年十勝沖地震（豊頃町）



平成 15 年十勝沖地震（豊頃町）



平成 23 年東北地方太平洋沖地震（広尾町）



平成 23 年東北地方太平洋沖地震（広尾町）

4 結びつきやネットワーク分野

(1) 地域公共交通

鉄道や路線バスなどの公共交通は、高齢者や学生など交通弱者の生活の足として欠かせないものですが、自家用乗用車の普及などにより、利用者は減少傾向にあります。

鉄道は、J R 北海道が十勝圏と道央圏・釧路圏を結び、平成 26 年度における J R 帯広駅の乗車人員は約 70 万人と、対平成 11 年度で約 37% 減（約 41 万人減）となっています。

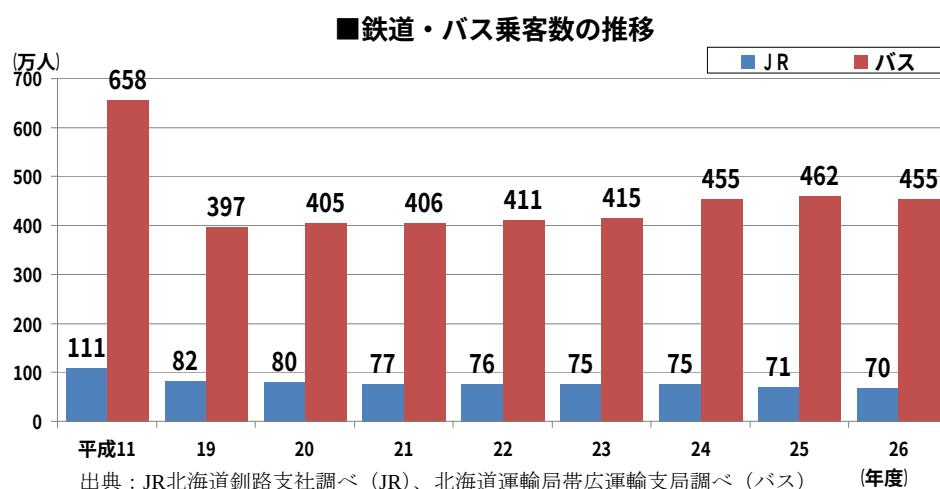
路線バスは、J R 帯広駅を中心に放射状に路線網が形成されていますが、平成 26 年度における圏域内のバス利用者数は約 455 万人で、対平成 11 年度比で約 31% 減（約 203 万人減）となっています。

これまでの取り組みにおいては、バス交通の維持・確保に関する計画の策定や、バスの利用実態を把握するための乗降調査などを行ったほか、一部町村においてコミュニティバスの運行を開始するなど、生活交通路線の維持・確保に取り組んできました。

公共交通は、通勤・通学や通院、買い物など、住民の移動を支えるインフラであり、今後とも路線を維持していくことが重要です。このため、まちづくりの様々な分野と連携を図りながら、公共交通機関の利用促進に向けて取り組む必要があります。

■鉄道・バス（幹線）の路線図





（２）地産地消

各市町村においては、道の駅や農産物直売所、朝市・夕市などを通じて、地場産品の販売を行っており、これまでも管内直売所マップの配布やホームページへの掲載など、地場産品に興味のある消費者に情報提供を行ってきました。

また、ロゴマーク等を活用して地場産品をわかりやすく表示する取り組みが各団体により進んでいます。帯広商工会議所がオール十勝の取り組みとして、「My とかち推進会議」を設置し、「バイとかち運動」に取り組んでいるほか、平成26年度より、JA ネットワーク十勝ブランド戦略推進協議会が「Made in 十勝」のロゴマークを作成し、十勝管内 JA 共通のロゴマークで商品にわかりやすく十勝産を表示する取り組みなどを展開しています。

さらに、フードバレーとかち推進協議会においても、平成25年度から管内スーパーの協力をいただき、フードバレーとかちロゴマークを活用した十勝産食材への POP 表示を実施しています。平成26年度には、商品や飲食店メニューへの活用など、加工品においてもわかりやすい十勝産活用の表示を進めました。

今後は、こうした取り組みをはじめ、地産地消を推進することにより、消費者と生産者の交流や消費の拡大につなげることが求められています。



フードバレーとかちロゴマークを活用した
スーパーでの十勝産食材PR



My とかち推進会議ロゴマーク

(3) 移住・交流

活力ある地域づくりを推進していくためには、地域の豊かな資源や優位性など十勝の魅力を積極的に発信し、交流人口の拡大や移住促進につなげていくことが必要です。

十勝では、十勝圏複合事務組合や各市町村において、関係機関との連携を図りながら、移住、観光など地域情報の提供をはじめ、相談体制の整備や、首都圏などで開催されるイベントでのPRなどを行ってきており、パンフレットの配付数や移住体験事業の利用者は増加しています。

圏域全体の人口が減少を続ける中、国内外から十勝への人の流れを創出するためには、これまで以上に移住希望者などに「十勝」へと目を向けてもらうよう、圏域の情報を発信する機会を充実することが必要です。

また、未婚化・晩婚化が進行する中、結婚し家庭を持ちたいと望む方々の出会いの場づくりが求められています。

十勝においては、各市町村や民間事業者などが、農業青年などを対象に交流機会を提供しています。今後、こうした動きを効果的にネットワーク化し、結婚を応援する管内の気運を高めることで、若者の希望をかなえられる地域づくりを進めることが必要です。



十勝圏複合事務組合作成の移住ガイド



北海道暮らしフェアの様子

5 圏域マネジメント分野

(1) 人材育成

地域主権型社会の進展や少子高齢化の進行をはじめとする社会・経済情勢の急速な変化に伴い、行政が担う範囲は拡大し、質的にも複雑・多様化しています。

こうした時代背景の中で、多様な地域資源を活用した圏域のさらなる発展を図るためには、自治体職員の企画・政策立案能力の向上や職員同士の交流関係を深めることが必要です。

これまでの取り組みにおいては、職員研修の合同実施により、より少ない経費で研修機会の拡大が図られたほか、他自治体職員と合同で研修を受講することで、職員同士が切磋琢磨し、良い刺激を受け合える環境がつくられました。

一方、研修受講後の自主研修の促進に向けた取り組みが課題であり、自主研修支援のための情報の提供が求められています。

また、圏域内人事交流により、人的ネットワークの構築が図られてきており、今後とも、自治体を越えた職員間の交流を深めていくことが求められています。

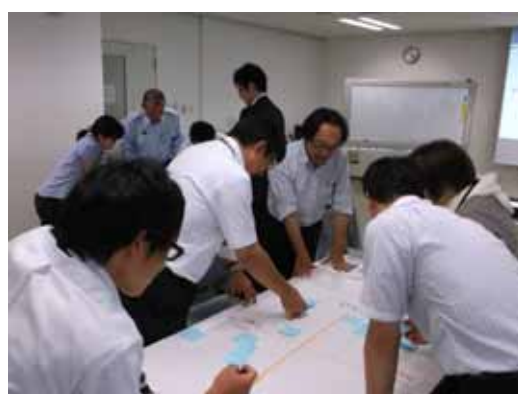
■ 十勝圏における合同研修の取り組み

年 度 研修区分	平成24年度				平成25年度				平成26年度			
	研修 本数	参加人数			研修 本数	参加人数			研修 本数	参加人数		
		町村	帯広市	合計		町村	帯広市	合計		町村	帯広市	合計
基本研修	5	266	155	421	7	336	221	557	8	350	267	617
特別研修	12	170	182	352	12	185	187	372	13	192	176	368
セミナー等	2	51	304	355	1	19	192	211	1	9	167	176
合計	19	487	641	1,128	20	540	600	1,140	22	551	610	1,161

出典：帯広市調べ



【基本研修】初級(2年次)職員研修



【特別研修】「成果のあがる会議術」

(2) データ分析

圏域の特性を踏まえた政策を立案し、効果的・効率的に推進していくには、客観的なデータを収集し、さまざまな角度から分析することにより、地域課題の的確な把握や取り組みの評価・改善を継続的に行う必要があります。

現在、各市町村において、各種統計データや国が提供する「地域経済分析システム」の活用を進めているほか、大学や金融機関等が、地域の産業経済等について幅広く調査・研究を行っています。今後、こうした関係機関等のノウハウや知見を結びつけ、圏域の人口動向や産業経済等について分析を行い、新たな広域連携の検討などに活かしていくことが求められます。



地域経済分析システム（RESAS）

第3章 定住自立圏の形成により目指す圏域の将来像

我が国を取り巻く社会経済環境は、人口減少社会の到来、少子高齢化の進行、経済のグローバル化、温暖化をはじめとする地球環境問題への意識など大きく変化しています。さらに、核家族化の進展やライフスタイルの変化など、住民の価値観が多様化する中、これまで地域を支えてきたコミュニティ機能の低下が懸念されています。また、地域の自主性や自立性を高めるための改革や、人口減少を克服し、地方創生を図るための取り組みが国において進められており、これからの自治体は、地域の様々な課題解決に向けて、自らの意思と責任で、住民と行政の協働により、地域の特色を活かした活力あるまちづくりを進めていくことが求められています。

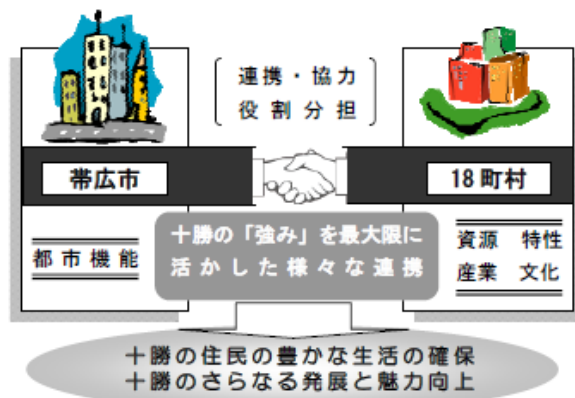
こうした中、複雑多様化する課題に対応しながら、十勝が持続的に発展していくため、帯広市と十勝 18 町村は、それぞれ 1 対 1 で協定を締結し、十勝定住自立圏を形成しました。平成 27 年度までの第 1 期においては、食や農業を核とした「フードバレーとかち」などに取り組み、農業生産の拡大や域外からの事業参入などを図ってきた結果、圏域の活力が向上し、人口も比較的堅調に推移してきました。また、管内の連携気運がさらに高まり、所管面積で全国最大となる消防広域化の実現や、全市町村による高度専門医療の充実支援などにもつながりました。

今後とも、この協定のもと、中心市である帯広市は、圏域全体の暮らしを視野に入れて必要な都市機能の整備を進め、各町村は、それぞれが有する資源や特性、産業、文化などの保持・向上を図るなど、19 市町村が役割を分担しながら相互に連携し、しごとの創出や交流人口の拡大、安心して暮らせる生活基盤の強化などに、圏域を挙げて取り組んでいく必要があります。

十勝は、北を大雪山系、西を日高山脈、東を白糠丘陵と三方を山に囲まれ、南は太平洋に面し、内陸部には十勝川水系などの清流や広大で肥沃な十勝平野が広がり、四季折々の美しい風景と美味しい水や空気に恵まれています。この多様で豊かな自然環境を基盤として農林水産業が発展し、特に農業は、関連産業などの集積により、日本最大の食料基地としてゆるぎない地位を確立しています。

また、この地域には、開拓以来、先人から受け継がれてきた不屈のフロンティア精神と社会的経済的に深い結びつきのもとに一体的に発展してきた歴史があります。

この十勝の「強み」を最大限に活かし、19 市町村が農畜産物の高付加価値化や自然エネルギーの活用、観光の広域化、人口減少社会への対応などを進めることで、十勝のさらなる発展と魅力の向上を図るとともに、保健・医療、福祉、教育、地域公共交通など様々な分野で連携することにより、子どもからお年寄りまで、安全で安心して豊かに暮らせる社会を築きあげ、誰もが住みたい、住み続けたいと思える十勝を目指します。



第4章 協定に基づき推進する具体的取組

1 取組項目一覧

分野	分 類	取 組 項 目
1 生活機能の強化に係る政策分野		
	1．医療	(1) 救急医療体制等の確保
		(2) 地域医療体制の充実
	2．福祉	(1) 地域活動支援センターの広域利用の促進
		(2) 保育所の広域入所の充実
		(3) 高齢者の生活支援体制の構築
	3．教育	(1) 図書館の広域利用の促進
		(2) 生涯学習の推進
		(3) スポーツ大会等の誘致
	4．産業振興	(1) 農商工・産学官連携及び地域ブランドづくりの推進
		(2) フードバレーとかちの推進
		(3) 企業誘致の推進
		(4) 中小企業勤労者の福祉向上
		(5) 広域観光の推進
		(6) 農業振興と担い手の育成
		(7) 鳥獣害防止対策の推進
(8) 航空宇宙産業基地構想の推進		
5．環境	(1) 地球温暖化防止に向けた低炭素社会の構築	
6．防災	(1) 地域防災体制の構築	
2 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野		
	1．地域公共交通	(1) 地域公共交通の維持確保と利用促進
	2．地産地消の推進	(1) 地産地消の推進
	3．移住・交流の促進	(1) 移住・交流の促進
		(2) 結婚を希望する若者の支援
3 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野		
	1．人材育成	(1) 職員研修及び圏域内人事交流
	2．データ分析	(1) 圏域レベルのデータ集積・活用

2 生活機能の強化に係る政策分野

(1) 医療

① 救急医療体制等の確保

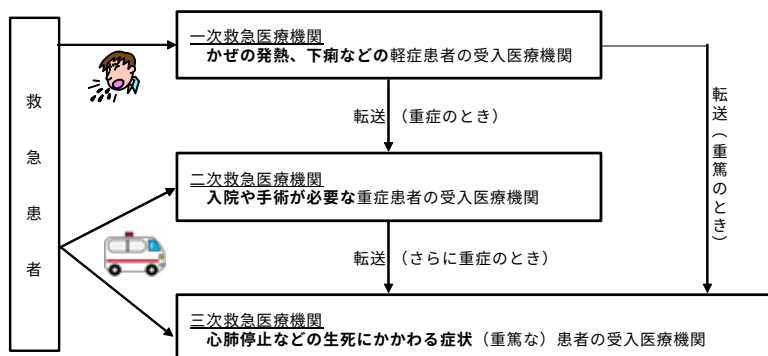
【形成協定の内容】

圏域の救急医療体制等を確保するため、圏域唯一の三次救急医療機関である救命救急センター等の維持・充実を図るとともに、患者の症状に応じた適切な医療機関の利用の啓発に努めます。

【具体的な取組】

関係市町村		全市町村				
取 組 概 要		●救命救急センター等の維持・充実 重症救急患者や複数の診療科領域にわたる重篤な救急患者に対する救急医療を提供する救命救急センター等の維持・充実に必要な協力や支援を行います。				
		●救急医療に関する普及・啓発 患者の症状に応じた適切な医療機関の利用や応急措置の方法などについて、住民への啓発を行います。				
取 組 効 果		○圏域唯一の三次救急医療機関である救命救急センター等の安定的な運営により、重症患者などに対する医療体制が確保されます。 ○適切な救急医療機関の利用により、圏域内の二次・三次救急医療機関の負担軽減が図られます。				
役割 分 担	帯 広 市	・救命救急センター等に対して、必要な協力及び支援を行います。 ・適切な救急医療機関の利用について、住民への啓発を行います。				
	関 係 町 村	・救命救急センター等に対して、必要な協力及び支援を行います。 ・適切な救急医療機関の利用について、住民への啓発を行います。				
事業費見込 (単位：千円)		H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	合 計
		300,000	300,000	300,000	300,000	1,200,000

○救急医療体制の流れ
救急医療体制は、患者さんの症状などにより次のような流れになっています。



② 地域医療体制の充実

【形成協定の内容】

圏域の地域医療体制の充実を図るため、圏域内における医療従事者の確保に努めるとともに、圏域が抱える地域医療の課題解決に向けた検討を進めます。

【具体的な取組】

関係市町村		全市町村				
取組概要		●帯広高等看護学院の広域運営 圏域内における看護師を確保するため、帯広高等看護学院の広域連携による運営を継続するとともに、必要な協力を行います。				
		●地域医療の課題解決に向けた検討 医師や看護師不足など圏域が抱える地域医療の課題解決に向けた検討を進めるため、検討会議を開催するとともに、関係機関・病院と連携し、協議を行いながら、医師・看護師確保対策等を進めます。また、2次救急医療体制について情報共有を行うとともに、制度の在り方について更なる検討を進めます。				
取組効果		○自治体の広域連携による看護師の養成により、圏域内に必要な看護師の確保につながります。 ○圏域が抱える様々な地域医療課題に対して、地域一丸となって取り組むことにより、課題の解決が促進されます。				
役割分担	帯広市	・帯広高等看護学院に対する運営費の負担や必要な協力を行います。 ・検討会議を主催し、地域医療の課題解決に向け、関係町村と連携して検討を進めます。				
	関係町村	・帯広高等看護学院に対する運営費の負担や必要な協力を行います。 ・地域医療の課題解決に向け、帯広市と連携して検討を進めます。				
事業費見込 (単位：千円)		H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	合 計
		96,461	96,461	96,461	96,461	385,844



帯広高等看護学院の戴帽式の様子



帯広高等看護学院の実習の様子

(2) 福祉

① 地域活動支援センターの広域利用の促進

【形成協定の内容】

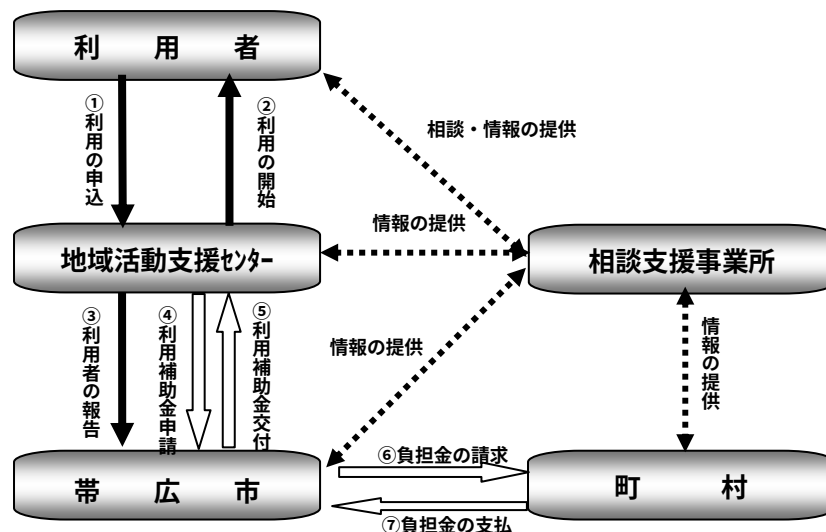
障害者の自立と社会参加の促進を図るため、地域活動支援センターの広域利用を進めます。

【具体的な取組】

関係市町村		全市町村				
取組概要		●地域活動支援センターの広域利用 各市町村に設置されている様々な特色を持つ地域活動支援センターの情報を提供し、施設の広域的な利用を促進します。				
取組効果		○施設の広域利用により、障害者等に多様な活動の場（創作的活動、生産活動等）を提供することが可能になるとともに、生活圏の拡大や地域社会とのさらなる交流が促進されます。				
役割分担	帯広市	・地域活動支援センターの広域利用に関する情報提供を行うとともに、広域利用に関する助言や調整等を行います。				
	関係町村	・地域活動支援センターの広域利用に関する情報提供を行います。				
事業費見込 (単位：千円)		H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	合計
		18,841	18,841	18,841	18,841	75,364

地域活動支援センター利用の流れ

○町村の障害者が帯広市の地域活動支援センターを利用する場合



※ 帯広市の障害者が町村の地域活動支援センターを利用する場合は、「帯広市」と「町村」が逆になります。

② 保育所の広域入所の充実

【形成協定の内容】

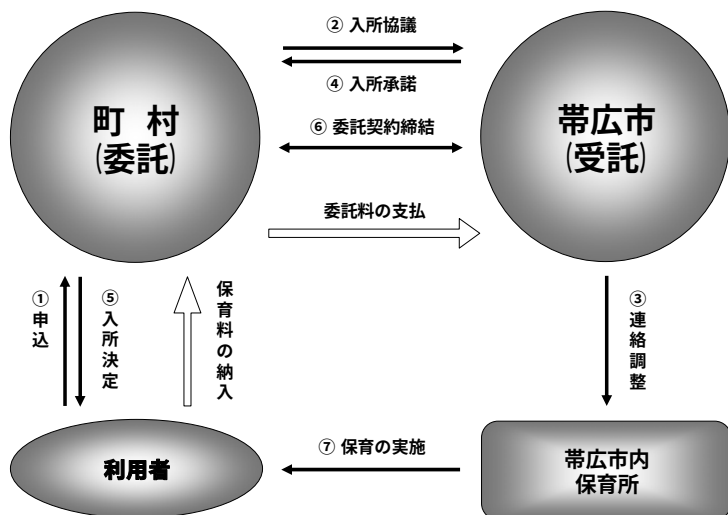
日常生活圏の拡大や住民ニーズの多様化に対応した保育所の広域入所など圏域の子育て支援の取り組みを進めます。

【具体的な取組】

関係市町村		全市町村				
取組概要		●保育所の広域入所の充実 市町村相互の広域入所に関する連携に努めるとともに、子育て支援センターなどによる子育て支援の取り組みを進めます。				
取組効果		○日常生活圏の拡大や多様化する住民ニーズに対応することにより、子育てに対する不安の解消や育児と仕事の両立が図られます。				
役割分担	帯広市	・関係町村との協議により、要保育児童の相互受入を行います。				
	関係町村	・帯広市と協議により、要保育児童の相互受入を行います。				
事業費見込 (単位：千円)		H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	合計
		5,581	5,581	5,581	5,581	22,324

広域入所の手続の流れ

○町村の児童が帯広市の保育所に入所する場合



※他町村に帯広市の児童の入所を依頼する場合は、委託と受託が逆になります。

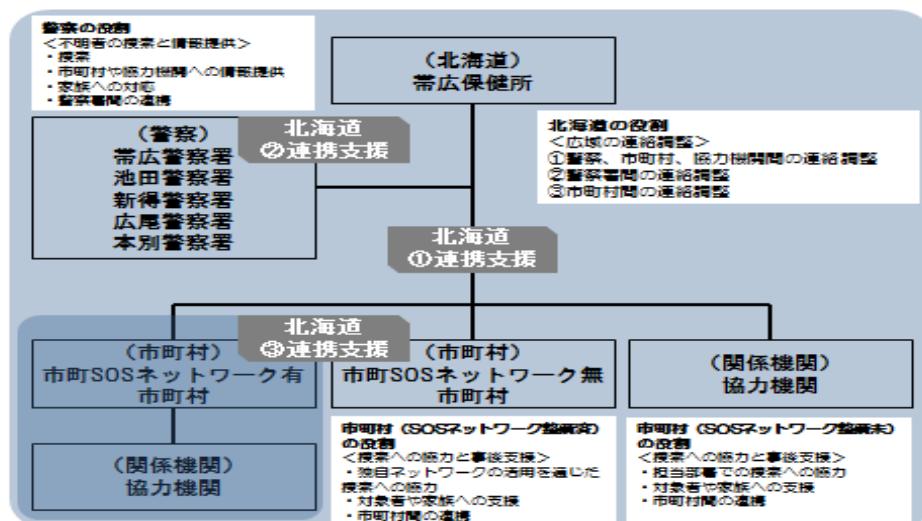
③ 高齢者の生活支援体制の構築

【形成協定の内容】

高齢者の徘徊などについて、広域での情報共有や対応体制の構築を図るとともに、圏域が抱える介護士不足等の課題解決に向けた取り組みを進めます。

【具体的な取組】

関係市町村		全市町村				
取組概要		●高齢者の見守り事業の充実 既存のネットワークシステムを活用するなど、徘徊時における高齢者等への支援の広域化を進め、十勝広域をネットワークする見守りシステムの構築を進めます。				
		●圏域が抱える介護士不足等の課題に向けた検討 圏域内の介護士不足等の課題解決に向け、検討を行うなど、介護士確保対策などの取り組みを進めます。				
取組効果		○圏域内での高齢者の見守り体制の充実、強化につながります。 ○圏域内の介護士不足等の課題の解決が促進されます。				
役割分担	帯広市	・独自のネットワークの活用を通じた捜索や圏域町村との連携により、対象者や家族への支援を行います。 ・圏域が抱える介護士不足等の課題解決に向け、関係町村と協議し、連携して取り組みを進めます。				
	関係町村	・独自のネットワークの活用を通じた捜索や圏域市町村との連携により、対象者や家族への支援を行います。 ・圏域が抱える介護士不足等の課題解決に向け、関係市町村と協議し、連携して取り組みを進めます。				
事業費見込 (単位：千円)		H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	合 計
		未定	未定	未定	未定	未定



広域SOSネットワークシステムのイメージ

(3) 教育

① 図書館の広域利用の促進

【形成協定の内容】

図書館の広域利用を促進するため、図書館相互の連携を強化します。

【具体的な取組】

関係市町村		全市町村				
取組概要		●図書館の相互連携の強化 圏域の郷土資料や行事情報などの図書館情報を集約して住民に提供するほか、統一キャンペーンなどを行います。				
		●合同研修会等の開催 合同研修会を開催するなど、図書館職員の交流や能力向上の取り組みを促進します。				
取組効果		○住民が情報を取得する機会や選択肢が増えることにより、利用者の利便性が向上します。 ○圏域の図書館全体のサービス向上が図られます。				
役割分担	帯広市	・図書館の連携強化に関する総合的な調整を行います。 ・圏域の図書館情報を住民に提供します。				
	関係町	・帯広市と連携して、図書館の連携強化に取り組みます。 ・圏域の図書館情報を住民に提供します。				
事業費見込 (単位：千円)		H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	合 計
		618	618	622	871	2,729



広域キャンペーンの実施



サービス向上のための職員研修会の開催

② 生涯学習の推進

【形成協定の内容】

圏域住民の生涯学習を推進するため、生涯学習施設の利用を促進します。

【具体的な取組】

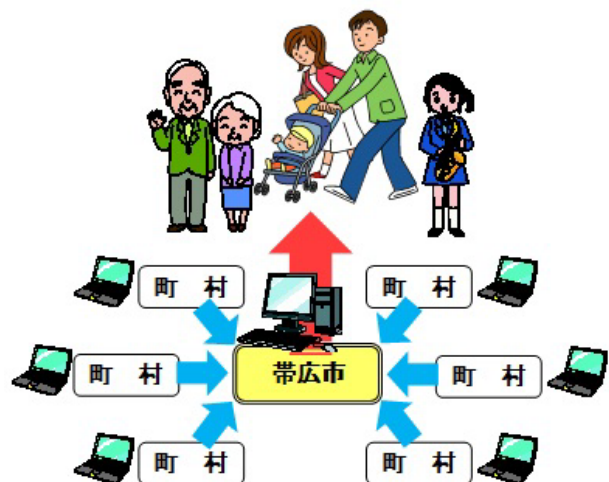
関係市町村		全市町村				
取組概要		●総合的な施設情報の提供 生涯学習施設の利用案内や催事、講演会等の総合的な情報を共有し、ホームページなどを通じて住民に提供します。				
		●圏域住民を対象とした事業の実施 圏域住民を対象としたスポーツや文化活動などの教室、講座等を開催します。				
取組効果		○住民が生涯学習施設の情報を取得する機会や催事等へ参加する機会が拡大されます。 ○圏域の生涯学習施設の利用が促進されます。				
役割 分担	帯広市	・圏域の生涯学習施設の情報を住民に提供します。 ・圏域住民を対象にした教室、講座等の開催や情報提供について、関係町村と連携して取り組みます。				
	関係町村	・圏域の生涯学習施設の情報を関係町村の住民に提供します。 ・圏域住民を対象にした教室、講座等の開催や情報提供について、帯広市と連携して取り組みます。				
事業費見込 (単位：千円)		H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	合 計
		83,422	86,022	87,714	89,022	346,180



特徴的な施設の広域利用
(陸別町の銀河の森天文台)



圏域住民を対象にした講座の開催



総合的な施設情報の提供イメージ

③ スポーツ大会等の誘致

【形成協定の内容】

スポーツ大会等を誘致するため、管内におけるスポーツ施設の利用調整や宿泊環境についての連携体制を強化するほか、大規模な大会等に対応できる施設・設備環境を充実します。

【具体的な取組】

関係市町村		全市町村				
取組概要		●スポーツ大会等の誘致 競技施設・宿泊施設等の調整など、大会等の誘致に関する管内連携体制を強化します。また、大規模な大会等を受け入れるための施設・設備環境を充実します。				
取組効果		○全国・全道規模のスポーツ大会等の受入環境が充実し、スポーツを通じた交流人口の増加が期待されます。				
役割	帯広市	・関係町村及び競技団体等と連携し、大会等の開催情報の収集・共有や誘致活動を行います。 ・大会等の開催に必要な競技施設・宿泊施設等に関する管内調整を行います。 ・大規模な大会等に対応できる施設・設備環境を充実します。				
	関係町村	・帯広市及び競技団体等と連携し、大会等の開催情報の提供や誘致活動に協力します。 ・帯広市が行う競技施設・宿泊施設等に関する管内調整に協力します。 ・大規模な大会等に対応できる施設・設備環境を充実します。				
事業費見込 (単位：千円)		H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	合 計
		128, 269	164, 664	370, 488	14, 164	677, 585



フードバレーとまちマラソン大会



日本クラブユースサッカー選手権（U-15）大会



帯韓バスケットボール交流大会

(4) 産業振興

① 農商工・産学官連携及び地域ブランドづくりの推進

【形成協定の内容】

公益財団法人とかち財団や関係機関と連携して、農商工・産学官連携事業を推進するとともに、十勝圏域における地域ブランド（十勝ブランド）確立のため、PR事業などの取り組みを進めます。

【具体的な取組】

関係市町村		全市町村				
取組概要		●農商工・産学官連携の推進 公益財団法人とかち財団や関係機関と連携して、十勝に優位性がある農畜産物などの地域資源を活用した農商工・産学官連携事業（新商品・新技術開発、人材育成事業、異業種交流事業など）を推進します。				
		●十勝ブランドの確立 十勝圏域における地域ブランド（十勝ブランド）の確立に向けて、PR事業などの取り組みを行います。				
取組効果		○オール十勝が関与するととかち財団との連携をより強化した「地域ブランドづくり」を行うことにより、農畜産物などの付加価値の向上が図られます。 ○市町村毎に特色のある一次産品等を「十勝」の統一名で連携することにより、訴求力がより高まることが期待されます。				
役割分担	帯広市	・とかち財団など関係機関との連絡調整を図るとともに、農商工・産学官連携事業を推進します。 ・地域ブランドの確立に向けた取り組みを関係町村と連携して行います。				
	関係町村	・とかち財団など関係機関と連携し、農商工・産学官連携事業を推進します。 ・地域ブランドの確立に向けた取り組みを帯広市と連携して行います。				
事業費見込 (単位：千円)		H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	合 計
		200, 268	203, 365	202, 819	202, 263	808, 715

※財団法人十勝圏振興機構は、平成25年4月から公益財団法人に移行し、名称がとかち財団に変更になりました。



「とかち財団」が担う役割



「安心」「安全」「美味しい」十勝産加工食品を認証する「十勝ブランド認証制度」

② フードバレーとかちの推進

【形成協定の内容】

農林水産業や食を柱とする地域産業政策「フードバレーとかち」を、圏域全体で推進します。

【具体的な取組】

関係市町村		全市町村				
取組概要		●「フードバレーとかち」の推進				
		1,249%の食料自給率や農業関連試験研究機関の集積など、十勝が開拓以来培ってきた地域特性を活かして、「農林水産業」や「食」を柱とした地域産業政策である「フードバレーとかち」をオール十勝で推進します。				
取組効果		○「フードバレーとかち」の推進により、十勝の特性を活かした産業振興をオール十勝で連携して進める環境が整い、地域産業の活性化に貢献します。				
役割分担	帯広市	・協議会を設置・運営するとともに、「フードバレーとかち」に関する取り組みを関係町村と連携して推進します。				
	関係町村	・協議会に参画するとともに、「フードバレーとかち」に関する取り組みを帯広市と連携して推進します。				
事業費見込 (単位：千円)		H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	合 計
		236,744	1,336,385	235,656	235,493	2,044,278



「フードバレーとかち」ロゴマーク



「フードバレーとかち」の展開方策

③ 企業誘致の推進

【形成協定の内容】

首都圏などの企業への発信力を高めるため、圏域が一体となった企業立地PRを行います。

【具体的な取組】

関係市町村		全市町村				
取組概要		●圏域が一体となった誘致活動の実施 圏域全域を対象としたパンフレットや連携事業などにより、首都圏などの企業に対する誘致活動を行います。				
取組効果		○農業や食に優位性のある「十勝」の圏域性をアピールすることにより、特に食関連企業などの誘致につながります。				
役割分担	帯広市	・情報の集約や連絡調整を行います。				
	関係町村	・情報の集約等に協力します。				
事業費見込 (単位：千円)		H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	合計
		2,400	2,400	2,400	2,400	9,600



十勝地域産業活性化協議会で「十勝」の魅力をアピール（2014年度企業誘致セミナー）



十勝地域産業活性化協議会のパンフレット

④ 中小企業勤労者の福祉向上

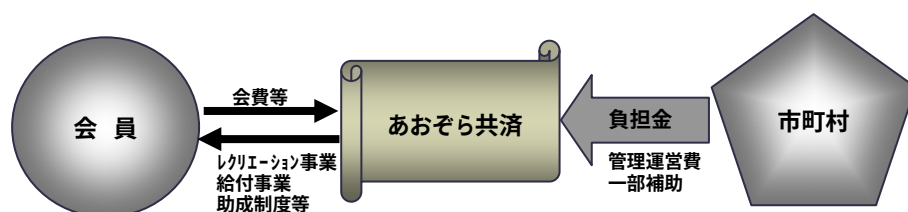
【形成協定の内容】

とかち勤労者共済センターが実施する福利厚生事業の実施に対する必要な支援を行うとともに、中小企業の加入促進に向けた取り組みを進めます。

【具体的な取組】

関係市町村		全市町村				
取組概要		●とかち勤労者共済センターへの支援と加入促進 中小企業者の福利厚生事業を行う「とかち勤労者共済センター」に対して、当該市町村の企業加入実態等に応じた必要な負担を行うとともに、中小企業の加入促進に向けた取り組みを進めます。				
取組効果		○地域の雇用の受け皿となっている中小企業における労働環境の改善により、雇用の定着が図られ、地域の経済振興が図られます。				
役割分担	帯広市	・関係市町村で構成する連絡協議会を主催するとともに、必要な費用負担を行います。 ・企業に対して加入を促進します。				
	関係町村	・連絡協議会に参加するとともに、必要な費用負担を行います。 ・企業に対して加入を促進します。				
事業費見込 (単位：千円)		H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	合 計
		54, 151	54, 248	54, 298	54, 348	217, 045

とかち勤労者共済センターの仕組み



⑤ 広域観光の推進

【形成協定の内容】

十勝観光連盟をはじめとする観光関連団体と連携してイベントなどを行うとともに、観光案内所やコンベンション施設、体験観光など広域観光に関する情報の共有や取り組みの充実を図ります。

【具体的な取組】

関係市町村		全市町村				
取組概要		●イベント等の実施 十勝観光連盟など観光関連団体と連携して、イベントや観光PRなどを行います。				
		●観光情報の発信 観光案内所やコンベンション施設、体験観光など広域観光に関する情報を集約して、十勝の観光情報を一体的に発信します。				
		●観光客が周遊しやすい環境の構築 観光案内所の充実を図るなど観光客が周遊しやすい環境づくりを進めます。				
取組効果		○広域観光の推進により、効率的な事業の実施や情報発信が可能となります。また、情報の共有により新たな観光資源の開発や周遊ルートの造成を推進することができます。				
役割分担	帯広市	・帯広観光コンベンション協会と十勝観光連盟の連携を強化します。 ・連携事業の企画や各種イベント情報などの集約や調整を行います。 ・観光客が周遊しやすい環境づくりを進めるとともに、周遊ルートの開発や圏域の観光情報を周知します。				
	関係町村	・十勝観光連盟の事業に参画します。 ・連携事業の提案や各種イベント情報の集約に協力します。 ・観光客が周遊しやすい環境づくりを進めるとともに、観光資源の開発や圏域の観光情報を周知します。				
事業費見込 (単位：千円)		H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	合計
		367,122	375,687	371,336	372,236	1,486,381



「十勝の魅力発信セミナー」の開催（東京都）



「さっぽろオータムフェスト」への出展

⑥ 農業振興と担い手の育成

【形成協定の内容】

営農技術の向上や防疫対策など農業振興に関する広域的な取り組みを進めるとともに、地域の担い手を育成するため、合同研修会などを開催します。

【具体的な取組】

関係市町村		全市町村				
取組概要		●農業振興に関する広域的な取り組みの実施 営農技術の向上、防疫対策など農畜産業の課題に関する情報を集約し、農業者への普及や啓発を行います。				
		●地域の担い手の確保・育成 十勝での就労希望者に向けて、合同企業説明会などの場において農業生産法人等の積極的な参加を促すほか、関係機関等と連携をはかりながら、農業就労希望者の情報提供・共有等を行うなど地域の実情に応じた支援等を行います。 また、地域の担い手を育成するため、圏域内の農業者による合同研修会を開催します。				
取組効果		○広域的な取り組みにより、農業者の技術向上などの機会の拡大や相互交流が促進され、農業の振興や担い手の育成が図られます。				
役割 分担	帯広市	・農業振興に関する情報を集約し、関係機関との連絡調整を図るとともに、農業者に対する普及、啓発を行います。 ・合同研修会の開催に関する総合調整を行います。				
	関係町村	・農業振興に関する情報を帯広市に提供するとともに、農業者に対する普及、啓発を行います。 ・合同研修会の開催に関して、帯広市と連携して取り組みます。				
事業費見込 (単位：千円)		H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	合 計
		213,954	211,277	214,177	193,216	832,624



小麦の収穫



牧場の風景

⑦ 鳥獣害防止対策の推進

【形成協定の内容】

被害情報や出没情報など、圏域内の鳥獣害防止対策に関する情報交換を行い、効率的・効果的な駆除を推進します。

【具体的な取組】

関係市町村		全市町村				
取組概要		●鳥獣の駆除 鳥獣被害や出没情報などをメールやファックスを活用し市町村や関係機関が共有できる仕組みを構築するとともに、共有情報を活用した駆除を行います。また、有害鳥獣の越境捕獲を可能とする承諾等の締結を進めます。				
		●捕獲個体の適切な処理の検討 エゾシカやヒグマなど捕獲個体の効率的な処理方法について、検討を行います。				
取組効果		○鳥獣被害や出没情報の共有化や処理方法の検討により、効率的・効果的な駆除が可能となります。				
役割分担	帯広市	・鳥獣害防止対策などに関する情報交換や検討を行い、関係町村と調整を図るとともに、対象鳥獣の駆除を行います。				
	関係町村	・鳥獣害防止対策などに関する情報交換や検討を行い、対象鳥獣の駆除を行います。				
事業費見込 (単位：千円)		H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	合 計
		128, 146	126, 161	126, 161	126, 161	506, 629



ヒグマによる農作物被害



エゾシカ

⑧ 航空宇宙産業基地構想の推進

【形成協定の内容】

航空宇宙産業基地に関する調査研究や啓発活動、関係機関との連絡調整などを進めます。

【具体的な取組】

関係市町村		全市町村				
取組概要		●十勝圏航空宇宙産業基地構想の推進 航空宇宙産業基地に関する調査研究や啓発活動、関係機関との連絡調整などを進めます。				
取組効果		○航空宇宙産業基地構想の実現に向けた地域の気運向上や取り組みの推進が図られ、十勝の長期的な発展に資するさまざまな動きへとつながることが期待されます。				
役割分担	帯広市	・とにかち航空宇宙産業基地誘致期成会の事務局として、関係町村・機関等と連携した取り組みを進めます。				
	関係町村	・構想の推進に向け、帯広市や関係機関等と連携した取り組みを進めます。				
事業費見込 (単位：千円)		H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	合計
		3,973	3,973	3,973	3,973	15,892



航空宇宙関連イベントでの啓発・普及活動の様子

(5) 環境

① 地球温暖化防止に向けた低炭素社会の構築

【形成協定の内容】

地球温暖化の原因である温室効果ガスの排出削減や吸収に寄与する地域の特色を活かした様々な取り組みを行い、圏域全体で地球温暖化対策を推進し、低炭素社会の構築を目指します。

【具体的な取組】

関係市町村		全市町村				
取組概要		●環境意識の啓発 住民の環境意識の向上や環境行動の実践につなげるため、講演会やパネル展の実施をはじめとした啓発事業を連携して行います。				
		●再生可能エネルギー利用促進・省エネルギー機器の導入促進 圏域内で再生可能エネルギー利用促進・省エネルギー機器導入に係る情報等を共有するほか、温暖化防止に向けた取り組みを圏域外へ情報発信します。また、各市町村の地域特性に合わせた再生可能エネルギーや省エネルギー機器の導入を促進します。				
取組効果		○圏域住民の環境問題に対する意識の向上と共有を図ることにより、ライフスタイルの転換など環境行動を促し、家庭部門からの二酸化炭素排出量の減少につなげます。 ○圏域外への情報発信により、快適な生活環境が保全されている十勝の魅力の向上に貢献します。また、地域特性に合わせた再生可能エネルギーの導入等を進めることにより、圏域における温室効果ガスの削減が図られます。				
役割分担	帯広市	・帯広市として啓発事業を実施するほか、関係町村との事業間連携を行います。 ・関係町村の取組状況等を取りまとめ、圏域内で共有するとともに、圏域外へ発信します。また、帯広市の地域特性に合わせた再生可能エネルギーの導入等を行います。				
	関係町村	・関係町村ごとに啓発事業を実施するほか、帯広市との事業間連携を行います。 ・関係町村における取組情報を帯広市へ提供します。また、関係町村の地域特性に合わせた再生可能エネルギー等の導入を行います。				
事業費見込 (単位：千円)		H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	合 計
		234, 833	343, 094	317, 129	290, 029	1, 185, 085



公共施設への太陽光パネルの設置



防犯灯の省エネ化

(6) 防災

① 地域防災体制の構築

【形成協定の内容】

圏域の防災力の向上を図るため、大規模災害発生時における相互応援体制を構築します。

【具体的な取組】

関係市町村		全市町村				
取組概要		●市町村の相互応援体制の整備 圏域内において、市町村単独では対応することのできない大規模災害が発生した場合に、相互応援協定に基づき、災害備蓄品や避難施設の提供、職員の派遣など相互応援を行います。				
		●防災体制の充実 災害に備え、各市町村における防災体制の充実を図ります。 ・連絡系統図の整備 ・災害備蓄品の整備・確保 ・災害・緊急時の広報・通信体制の充実 ・自主防災組織の育成や指導的役割を担う人材の育成 ・避難場所として指定されている施設の耐震化の推進 ・災害時の連携・支援活動の円滑な実施に向けた研究・検討 ・民間企業・団体等との広域的な防災協定の締結				
取組効果		○市町村単独では対応できない大規模災害に対して、相互の応援により、被害を最小限に食い止めることができるなど圏域全体の防災力の向上が図られます。				
役割分担	帯広市	・大規模災害時における相互応援体制を整備します。 ・防災体制の充実に努めます。				
	関係町村	・大規模災害時における相互応援体制を整備します。 ・防災体制の充実に努めます。				
事業費見込 (単位：千円)		H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	合 計
		350,916	99,337	93,869	93,319	637,441

《参考》 現在の締結協定

災害時等における北海道及び市町村相互の応援等に関する協定（平成 27 年 3 月 31 日締結）

～趣旨～

北海道と各市町村の長から協定の締結について委任を受けた北海道市長会長及び北海道町村会長は、災害時等における北海道及び市町村相互の応援、広域一次滞在等に関し、協定したものであり、道内において災害等が発生し、被災市町村のみでは十分な応急措置を実施できない場合において、災害対策基本法(昭和 36 年法律第 223 号)第 67 条第 1 項及び第 68 条の規定に基づく道及び市町村相互の応援等を円滑に遂行するために必要な事項を定めている。

3 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

(1) 地域公共交通

① 地域公共交通の維持確保と利用促進

【形成協定の内容】

圏域住民の移動手段の確保や利便性の向上を図るため、生活交通路線の維持確保と利用促進の取り組みを進めます。

【具体的な取組】

関係市町村		全市町村				
取組概要		●生活交通路線の維持確保と利用促進 バス交通の維持・確保を図るための協議・協力体制を継続し、乗降調査やアンケート調査などにより利用実態の把握や分析を行うとともに、モビリティ・マネジメント（※）の推進や観光資源の活用など利用促進策を検討し、必要な事業を実施します。				
取組効果		○生活交通路線の維持により、高齢者や学生など自動車を運転することのできない住民の通院や通学など生活に必要な交通手段が確保されます。 ○交通ネットワークの維持により、帯広市の病院、学校、商業施設など都市機能を広域的に利用することができます。				
役割分担	帯広市	・関係町村の住民の利用が多く見込まれる帯広市内の病院、高校などへの路線や市内バス路線網の利便性の向上を図ります。 ・バス路線の維持・確保を図るため、各町村と連携し、バスの利用実態の把握・分析やバス運行について協議を行います。 ・バス路線毎に実施する利用促進策を各町村と連携し推進するとともに、住民への利用促進の啓発活動などを行います。				
	関係町村	・バス路線の維持・確保を図るため、各市町村と連携し、バスの利用実態の把握・分析やバス運行について協議を行います。 ・バス路線毎に実施する利用促進策を各市町村と連携し推進するとともに、住民への利用促進の啓発活動などを行います。				
事業費見込 (単位：千円)		H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	合 計
		379, 879	360, 834	360, 836	360, 836	1, 462, 385

(※) 地域や都市を、「過度に自動車に頼る状態」から「公共交通や徒歩などを含めた多様な交通手段を適度に（＝かしこく）利用する状態」へと少しずつ変えていく一連の取り組み（国土交通省）



環境に優しいBDFバス



利用促進の取組事例（帯広市 環境問題教室）

(2) 地産地消の推進

① 地産地消の推進

【形成協定の内容】

消費者が圏域の地産地消情報を入手できる環境を整備するとともに、関係機関と連携した取り組みを展開し、地産地消を推進します。

【具体的な取組】

関係市町村		全市町村				
取組概要		●地産地消の推進 圏域の地産地消に関するイベントや生産者の情報を消費者に提供するとともに、イベントなどを連携して行います。				
取組効果		○消費者に地産地消に関する取り組みやイベント情報を発信することにより、消費者と生産者の交流促進や食の安全・安心、消費拡大につながり、地産地消の推進が図られます。				
役割分担	帯広市	・地産地消情報の集約や関係機関などとの総合調整を行うとともに、住民への情報提供を行います。 ・地産地消に関するイベントなどを関係町村と連携して取り組みます。				
	関係町村	・地産地消情報を帯広市に提供するとともに、圏域の地産地消情報を住民に提供します。 ・地産地消に関するイベントなどを帯広市と連携して取り組みます。				
事業費見込 (単位：千円)		H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	合 計
		51, 461	49, 252	49, 252	49, 252	199, 217



おはよう朝市

(3) 移住・交流の促進

① 移住・交流の促進

【形成協定の内容】

圏域の移住関連情報を一体的に発信し、移住・交流を促進します。

【具体的な取組】

関係市町村		全市町村				
取組概要		●移住関連情報の一体的な発信 帯広市や首都圏等の施設に圏域移住情報冊子等を設置するほか、首都圏等で開催される移住フェアや観光・物産に関するイベント等の機会を活用してPRを行うなど、移住希望者等が圏域の情報を入手する機会の拡大を図りながら、圏域の移住関連情報や観光・山村留学の取り組み等について一体的に発信します。				
		○圏域の魅力や移住関連情報を一体的に発信することにより、十勝を効果的にPRできるほか、移住希望者などが圏域の移住情報等を幅広く入手できるようになり、移住・交流の促進が期待できます。				
役割分担	帯広市	・帯広市東京事務所など帯広市の都市機能の活用や各種事業などを通して、圏域の移住関連情報等を一体的に発信します。				
	関係町村	・帯広市の都市機能の活用や各種事業などを通して、関係町村の移住関連情報等を発信します。				
事業費見込 (単位：千円)		H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	合 計
		188,333	187,297	186,785	187,295	749,710



帯広市東京事務所の
パンフレットコーナー



J R 帯広駅構内のとがち観光情報センター

② 結婚を希望する若者の支援

【形成協定の内容】

北海道が推進する結婚支援ネットワークの構築に参画・協力し、結婚を応援する気運の醸成や結婚支援事業の活性化を図り、結婚を希望する若者を支援します。

【具体的な取組】

関係市町村		全市町村				
取組概要		●結婚支援の推進 北海道と連携して結婚支援ネットワークを構築し、結婚を希望する若者の交流機会に関する情報提供などの取り組みを進めます。				
取組効果		○結婚を応援する気運の醸成や結婚支援事業の活性化が図られます。				
役割分担	帯広市	・結婚支援ネットワークに参画し、北海道とともに総合調整を行うほか、関連事業の実施等に協力します。				
	関係町村	・結婚支援ネットワークに参画し、関連事業の実施等に協力します。				
事業費見込 (単位：千円)		H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	合計
		19,165	18,705	12,705	12,705	63,280



農業青年との交流事業の様子

4 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

(1) 人材育成

① 職員研修及び圏域内人事交流

【形成協定の内容】

圏域内市町村職員の資質向上や人的ネットワークの構築を図るため、職員研修を合同で実施するとともに、圏域内人事交流を行います。

【具体的な取組】

関係市町村		全市町村				
取組概要		●職員研修の合同実施 圏域内の職員研修を帯広市と関係町村が合同で実施します。 ●圏域内人事交流 帯広市と関係町村間で人事交流を行います。				
取組効果		○圏域内の職員との合同研修や人事交流を通じて、職員の能力向上はもとより、人的ネットワークの構築や地域の連帯・連携が図られます。				
役割分担	帯広市	・職員研修の企画立案を担うほか、関係町村に対して研修への参加機会を提供します。 ・圏域内人事交流の実施に関して、関係町村との調整を行います。				
	関係町村	・職員研修に職員を参加させるとともに、費用の一部を負担します。 ・圏域内人事交流に関して、帯広市との調整を行います。				
事業費見込 (単位：千円)		H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	合 計
		20,843	20,843	20,843	20,843	83,372



職員研修の合同実施風景

(2) データ分析

① 圏域レベルのデータ集積・活用

【形成協定の内容】

定住自立圏の施策の効果的な推進を図るため、ビッグデータ等を活用し、さまざまな角度から十勝圏の現状分析を行います。

【具体的な取組】

関係市町村		全市町村				
取組概要		●地域経済分析システム等の活用 国が提供している「地域経済分析システム」等を活用し、十勝圏の人口や産業経済等について分析し、定住自立圏における取り組みの評価・検証や新たな広域連携の検討などに活かします。				
取組効果		○客観的なデータに基づく十勝圏の現状分析が進み、広域連携の効果的な進捗が図られます。				
役割分担	帯広市	・大学や関係機関等からなる実行委員会を組織し、事務局として分析を推進します。				
	関係町村	・必要なデータの提供や分析の一部を行うなど、実行委員会に協力します。				
事業費見込 (単位：千円)		H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	合計
		0	未定	未定	未定	未定



地域経済分析システム（RESAS）

附 属 資 料

- 1 共生ビジョン策定にあたっての意見
～共生ビジョン懇談会、パブリックコメント～**
- 2 十勝定住自立圏共生ビジョン懇談会設置要綱**
- 3 十勝定住自立圏共生ビジョン懇談会委員名簿**
- 4 共生ビジョン事業費一覧**

1 共生ビジョン策定にあたっての意見 ～共生ビジョン懇談会、パブリックコメント～

共生ビジョンの策定にあたり、十勝定住自立圏共生ビジョン懇談会やパブリックコメントを通じて、多くの貴重なご意見をいただきました。

ご意見につきましては、関係市町村で協議の上、「修正」「既記載」「参考」「その他」の4区分に考え方を整理しました。このうち、「参考」とした意見につきましては、今後の検討課題として関係市町村で検討を行い、定住自立圏の取組などに反映していきたいと考えております。

【共生ビジョン懇談会委員における主な意見】

共生ビジョン懇談会	第1回会議	平成27年 9月 3日（木）	
	第2回会議	平成27年10月26日（月）	
	第3回会議	平成28年 1月27日（水）	
意見の件数	32件		
意見の取り扱い	修正	案を修正するもの	0件
	既記載	既に案に盛り込んでいるもの	6件
	参考	今後の参考とするもの	7件
	その他	意見として伺ったもの	19件

【パブリックコメント意見】

案 件 名	第2期十勝定住自立圏共生ビジョン（原案）		
募 集 期 間	平成27年12月1日（火）～平成28年1月6日（水）		
意見の件数 （意見提出者数）	6件（3人）		
意見の取り扱い	修正	案を修正するもの	0件
	既記載	既に案に盛り込んでいるもの	2件
	参考	今後の参考とするもの	1件
	その他	意見として伺ったもの	3件
意見の受け取り	電子メール		0人
	郵送		3人
	ファクシミリ		0人
	直接持参		0人

【十勝定住自立圏共生ビジョン懇談会委員からの意見】

意見の概要	意見に対する考え方
1【全分野】 例えば、商品開発の知識や経験を有する専門的人材を域外から呼び込もうとすると、家族を含めた生活の保障が必要になる。今後の定住自立圏においては、分野を横断した取り組みを進めていただきたい。	【参考】 ご指摘のように、分野を横断した取り組みを進めることは重要であり、次期共生ビジョンの検討に当たっても、例えば再生可能エネルギーや地域公共交通、防災教育などについて、複数の作業部会にまたがり協議を行ってきました。次期共生ビジョンにおいても、分野横断的な取り組みを行っていくこととします。
2【全分野】 幅広い取組項目がある中で、成果目標は2つでよいのか。共生ビジョンの成果目標として、圏域の目標人口を設定することはできないか。	【その他】 成果目標は、「生活機能の強化に係る政策分野」と「結びつきやネットワークの強化に係る政策分野」から1つずつという考え方で整理を行いました。「生活機能」については、北海道の総合戦略で掲げられた管内観光入込客数の目標値と同じとしています。「結びつきやネットワーク」については、複数の指標を検討の結果、住民生活に直結している管内バス乗客数を採用したものです。なお、毎年度の進捗管理にあたっては、他の客観的データも活用していく考えです。 人口については、現在、各市町村で人口ビジョン・総合戦略の検討が進められていますが、短期の人口「目標」ではなく、2060年など長期的な視点からの人口「展望」という考え方が採用されるなど、中長期的な視点で考える必要があることから、共生ビジョンにおいて人口目標を設定するには至らなかったものです。
3【全分野】 観光入込客数が増加傾向にある中、成果目標として掲げた1,020万人は控えめではないか。	【その他】 本成果目標は、北海道の総合戦略で掲げられた目標値と平仄を合わせて設定したものです。この目標値を上回ることができるよう、取り組みを進めてまいります。
4【全分野】 人材育成も大切だが、十勝がいかに有利な地域であるかを客観的なデータで示すことが重要。例えば、十勝の食料自給率はダントツ。若い世代が夢を描けるよう、しっかりと伝えていくべき。	【参考】 今後の取り組みの参考とさせていただきます。
5【1-2 福祉、1-3 教育、1-4 産業振興】 ソーシャルファームと言われる公益的事業体が管内に広がってきている。これらの事業体によるチャレンジを支援するなど、精神医療、福祉、教育、雇用が統合したアイデアを打ち出すことは、共生ビジョンの価値観として重要であり、次期共生ビジョンに何らかの形で表現できないか。	【その他】 事業者（事業体）によるチャレンジについては、これまでも国や各自治体により革新的な取り組みやアイデア等の具体化に向けた各種支援等の制度が設けられており、有効に活用されている事例があります。 このなかで、ソーシャルファームのような事業体についても、必要に応じてこのような制度を活用するなどにより、ビジネスとして競争力のある商品やサービスの提供が可能と認識しています。
6【1-2 福祉、1-4 産業振興】 次期ビジョン骨子の各論に具体的な人口減少対策が少ないと感じる。絶対的な人口増を実現するには、出生率を上げる対策が必要。女性が子育てをしても安心して働ける環境や対策が必要である。（例：未満児保育の補助、1子・2子・3子の出産に対する補助など）	【既記載】 子育て支援については、各市町村において、保育所や幼稚園、児童保育センターの設置運営を通じた仕事と家庭の両立支援や、地域子育て支援センター等の活動による保護者の育児不安の解消などに取り組んでいます。定住自立圏としては、住民の生活圏が拡大し、行政区域を越えた保育所等の利用希望が生じていることを踏まえ、市町村が連携した取り組みとして、保育所の広域入所の受け入れに取り組んできたところです。今後とも、多様な保育ニーズに対応し、圏域全体で子どもを産み育てやすい環境の整備に継続して取り組む考えです。

意見の概要	意見に対する考え方
7 【1-2- (1) 地域活動支援センターの広域利用の促進】 地域活動支援センターの広域利用の促進について、広域利用に関する情報提供がさらに促進されるよう、広域利用が可能なことを伝えるパンフレットと合わせて、それぞれの地域活動支援センターの特色などかわかる管内の一覧表のようなものを作ってみたい。それを各市町村の福祉課や相談支援事業者に配布したら、もう少し情報が行き渡るのではないかな。	【参考】 現共生ビジョンに盛り込まれている取組みであり、市のホームページに施設一覧を掲載するなど、情報提供を行っているところです。今後は、いただいたご意見を参考に、各地域活動支援センターの特色などを伝える内容のパンフレットを整備し、関係機関、団体に配置するなど、広域利用の促進に向けて取り組むこととします。
8 【1-2- (1) 地域活動支援センターの広域利用の促進】 地域活動支援センターの広域利用の促進が共生ビジョンに位置づけられているが、他の障害者福祉施設についても広域利用を進めてはどうか。	【その他】 グループホームなどの他の障害者福祉施設については、障害者総合支援法に基づく北海道知事の事業所指定を受けており、現在においても広域利用が可能な状況にあります
9 【1-2- (3) 高齢者の生活支援体制の構築】 見守り体制の話が出たが、徘徊高齢者ばかりでなく、独居老人宅にも合わせて声をかける体制を作ってほしい。障害者もそれぞれ事情があって一人暮らしが増えてきた。地域に民生委員がいると言うが、独居宅の実情を把握しているのかどうか。	【その他】 一人暮らしの高齢者や障害者の見守りについては、民生委員による訪問や、老人クラブの友愛訪問などが行われているほか、緊急通報や配食等のサービスを提供しています。こうした見守り活動は、該当者にとって最も身近な各市町村において行われることが望ましく、定住自立圏の取り組みとしては、市町村の範囲を越えて徘徊する高齢者が多くなっていることに対応する取り組みを進めていく考えです。
10 【1-3 教育】 管内高等学校の選択肢が少なくなり、不公平感が生じつつある中で、本当に必要な教育の在り方について、定住自立圏としても検討する必要があるのではないかな。	【その他】 地元校の維持や間口を適正な規模で確保することは、地域の子ども・保護者の負担減少や、まちの賑わいを維持するうえでも重要なことと認識しています。北海道教育委員会が所掌するこうした課題に対しては、地元の総意となる声を適切に届けていくことがなによりも必要となることから、管内教育長の会合等での情報共有や、PTAをはじめとする関係団体と連携した要請等の活動に取り組んでいます。今後とも、こうした既存の枠組みにおいて、引き続き管内市町村が連携した取り組みを進めていくものです。
11 【1-4- (1) 農商工・産学官連携及び地域ブランドづくりの推進】 チーズを始め、多業種が連携して「十勝」の名前で世界に挑戦する動きが、積極的に進められている。こうした動きを、十勝が一丸となってバックアップする形をとっていただきたい。	【既記載】 十勝のブランドに関する取組は、既に公益財団法人とかち財団を事務局とした「十勝ブランド認証機構」が整備されていますが、「ブランド」には多様な側面があり、同財団以外にも、「十勝品質の会」など様々なブランド確立の活動が行われています。
12 【1-4- (1) 農商工・産学官連携及び地域ブランドづくりの推進】 地理的表示保護制度を活用し、「十勝」という名前を守る取り組みが進んできている。「十勝」の名前は、十勝以外の色々なところで使われており、今後、「十勝」の名前を管内全域で守る取り組みが必要と考える。	今後、多業種の連携による活発な十勝ブランドの確立や推進に向けて、民間事業者の取り組みを支えてまいります。

意見の概要	意見に対する考え方
13 【1-4- (1) 農商工・産学官連携及び地域ブランドづくりの推進、 (3) 企業誘致の推進、 (5) 広域観光の推進】 次期ビジョン骨子の各論に具体的な人口減少対策が少ないと感じる。産業振興分野のうち、地域ブランドづくり、企業誘致、観光の推進を具体的にしないと、新しい雇用の場がなく、人口が流出してしまう（高校・大学で優秀な人材ほど、十勝に残らないのが現実ではないか）	【既記載】 これまでの取り組みとして、十勝ブランドの確立や企業誘致活動、広域観光プロモーションなどの様々な取り組みを進めており、今後とも引き続き推進していく考えです。 加えて、次期共生ビジョンにおいては、十勝で働きたいと思う人への雇用の受け皿を作ることなどを視野に、十勝の産業を牽引するリーダー人材を育成し、地域に輩出することで、新たなしごとの創出につなげていく取り組みを予定しています。
14 【1-4- (1) 農商工・産学官連携及び地域ブランドづくりの推進】 東京オリンピック・パラリンピックに向け、十勝ブランドの活用がはかれるよう取り組んでいただきたい。	【参考】 世界の注目が集まる東京オリンピック・パラリンピックに向けて、ビジネスチャンスが広がるものと考えています。今後様々な機会を活かし、販路拡大などに取り組んでまいります。
15 【1-4- (2) フードバレーとかちの推進】 過日公表された食料自給率 1,249%には水産業が含まれていない。水産業を含めた食料自給率を共生ビジョンに掲載できないか。	【その他】 水産業については直近の数値がなく試算が難しいことから、過日公表した 1,249%を掲載することといたします。
16 【1-4- (5) 広域観光の推進】 十勝においても外国人観光客が増加してきたが、依然として「通過型」観光となっている。デザインの統一も含め、多言語による案内表示をぜひ進めていただきたい。	【その他】 多言語表記については、施設の外国人観光客の来場数や対応状況などにより異なるほか、施設の管理者も様々であることから、各自自治体・施設管理者の判断により対応するものと考えます。
17 【1-4- (5) 広域観光の推進】 広域観光の推進について、観光施設や公共交通機関での多言語表記について統一したものを作ったという意見が出ましたが同感です。外国に出掛け、自国語の表記を見つけるととても嬉しいという声も聴かれるので、間違っていない適切な表現での多言語表記を進めれば、外国人観光客の再訪は増えると思う。	
18 【1-4- (5) 広域観光の推進】 外国人観光客を呼び込む上で、外国語表記は重要である。統一した分かりやすい表記とするため、次期に向けて努力していただきたい。	
19 【1-4- (5) 広域観光の推進】 多言語表記について、トイレの使い方やゴミの捨て方など、できるところから進めてはどうか。	【その他】 トイレやゴミのマナー周知は重要と考えており、現在作成中のパンフレットなどを活用し、今後対応していく考えです。
20 【1-4- (5) 広域観光の推進】 十勝管内はまだ Wi-Fi が少ないと思う。外国人向けの観光マップなどがあればよいのではないかな。	【その他】 十勝観光マップの多言語化に取り組んでいるほか、各種 Wi-Fi 調査も実施しているところであり、こうした取り組みを通じて、今後も外国人対応に取り組んでいく考えです。
21 【1-4- (5) 広域観光の推進】 免許を持たない人が増え、特に冬季における観光の移動手段が重要となっており、2次交通の充実強化が必要である。	【その他】 観光客が周遊しやすい環境づくりとして、東北海道の広域周遊観光ルートの取り組みを進めており、その中で、冬季間の移動手段の拡充をはかっていく考えです。
22 【1-4- (6) 農業振興と担い手の育成】 管内農家は、広大な面積を家族で経営している状況。担い手育成には資金面などさまざまな課題があるが、遊休農地を出さないよう、しっかりと取り組んでほしい。	【参考】 取組項目「農業振興と担い手育成」など、今後も着実な取り組みを進めます。

意見の概要	意見に対する考え方
23 【1-4-（7）鳥獣害防止対策の推進】 鳥獣害防止対策の推進について、エゾシカの食肉としての活用については安定供給や処理場への搬入の問題から各自治体での個別の取り組みが現実的とあるが、解体処理や処理場への搬入方法など工夫すれば、安定した個体数の確保にはむしろ19市町村で取り組んだ方が効果があるのではないかと。加工法の検討も管内事業者のばらばらの取り組みではなく市町村の力を合わせ、あるいは産学共同で開発し、十勝ブランドの一商品として確立できればいいと思う。	【その他】 捕獲したエゾシカを一般消費者向けに食肉として活用する場合には、捕獲後に短時間で処理施設に搬入しなければならない、捕獲場所の近くに処理施設が必要で また、狩猟者には運搬や血抜きなど、食用にするための措置に対する負担が生じ、鳥獣害防止という本来目的の達成に支障が生じることが懸念されます。 こうした理由から、処理施設については、各自治体においてそれぞれ取り組むことが望ましいと考えておりますが、捕獲個体を食肉として有効活用する管内事業者が出てきていることから、地域資源を活かした食品の販路拡大などの取り組みについては、引き続き推進していく考えです。
24 【1-4 産業振興】 北海道新幹線の開業は、十勝にとってメリットよりもデメリットが大きいのではないかと。例えば、夜間に輸送するコンテナにどんな影響が出るかなど、よく調べて考えておかなければならないと思う。	【参考】 今後の取り組みの参考とさせていただきます。
25 【1-5-（1）地球温暖化防止に向けた低炭素社会の構築】 観光及び環境の分野に関係しているかと思うが、最近特に車からのゴミ捨てが目立っていると思う。堂々と道路の真ん中に買い物袋に入れたゴミが捨てられている事もあり本当に由々しき事態である。簡単な解決に繋がる特効薬はないかと思うが、警察・道路管理者・町村間での協力体制を構築しながらあらゆる場所でのモラル向上に向けた啓蒙活動・看板の設置・パトロールなど地道な活動の展開が必要ではないか。不法投棄は犯罪である。子供の頃からの教育も必要。	【参考】 環境美化に係る啓蒙活動をはじめとした各種啓発は、市町村民・企業等の協力による清掃ボランティア活動等をととして、これまでも各市町村で実施されています。今後とも圏域自治体が連携して環境関連イベントを開催するなど環境美化に係る啓蒙活動を継続して行なってまいります。
26 【1-6-（1）地域防災体制の構築】 管内には地域防災マスターのネットワーク組織があり、研修活動等を行っているが、人的な広がりやが不十分な状況にある。広域での人材の掘り起こしをお願いしたい。	【その他】 北海道地域防災マスターについては、北海道で推進している防災事業です。各市町村では、制度の周知をしているところですが、募集人員の決定、名簿の管理等は、北海道で行っていることから、共生ビジョンでの協議対象からは除外するものです。
27 【1-6-（1）地域防災体制の構築】 圏域内には様々な社会奉仕団体があるが、防災に特化した団体や個人で稼働できる数は十分な状況ではない。防災・減災力を強化していくためには、自助・共助の考え方を家庭や職場・地域住民に防災意識を普及して高めていく活動が必要。そのためには防災に係る有資格や認定者そして地域制などあらゆる枠を外して現状のボランティア団体や個人を把握し連携を取っていく必要がある。このために知識と技術を維持し向上して行くことが肝要で、安心と安全の住民生活とまちづくりのため、防災に係る有資格者のスキルアップと防災活動の情報交流活動および防災に関する人材育成を支援する事が必要と考える。	【既記載】 防災に関する知識と防災意識の向上を目的として、各市町村では様々な取り組みを進めており、情報交換を行ってまいります。

意見の概要	意見に対する考え方
28 【1-6- (1) 地域防災体制の構築】 各市町村は地域防災計画を策定しているが、計画内容がマッチしているかを検証する意味でも実際に訓練をすることにより理論上では見えなかった疑問が浮び上がるものである。これらを改善することによってより良いものを築くことが出来る。この時、防災関係機関である国・道・警察・消防・自衛隊・保安庁などと合同で大規模訓練を実施することにより横へのつながりが密になりより活動がスムーズになる。 地域住民に防災・減災知識の防災学習や防災講習の普及指導啓発と町内会や職場そして各種団体で行う小規模訓練に加えて、数年に一度の割合で圏域およびブロック単位の大規模な防災訓練の実施が必要と考える。小規模な訓練を数多く行っても見えないものが大規模にすることによって圏域内の連絡体制などの問題点が見えてくる。	【その他】 災害訓練は、各市町村の防災計画に基づき実施されているものであるため、協議の対象外とします。
29 【1-6- (1) 地域防災体制の構築】 阪神淡路大震災や東日本大震災でもあったように、発災時点から全国あるいは世界からボランティアが支援に訪れその受け入れ体制が整ってなく、活動が十分に発揮できない状況が非常に多かった。被災した地域のボランティアは被災者であってボランティア活動は十分に発揮できない。外部からのボランティアを受け入れる想定をする事が必要と話題になった。効率良く動いてもらうための考え方と具体的なその計画と訓練が必要と考える。	【既記載】 ボランティアの支援や派遣、受け入れ等については、各市町村の社会福祉協議会が担うことが想定されますが、ボランティアの受け入れについても、平成27年第1回共生ビジョン懇談会でお示した次期共生ビジョン骨子中、「ボランティア団体等との連携の検討」の中で協議することとします。
30 【1-6- (1) 地域防災体制の構築】 北海道は千島海溝・日本海溝型地震および500年間隔の地震想定を平成24年6月にマグニチュード9.1の巨大地震が発生すると津波浸水などの予測を示した。これに基づいて各市町村は地域防災計画を見直してこれに基づいて防災訓練を行っている。 圏域内の市町村の相互応援体制は整っているが、確率は低いが向こう30年以内に十勝平野断層帯で起きるマグニチュード7.2～8の内陸型の直下型地震が発生すれば圏域内は被災する地域が多くなると予想されており、被災地の自治体は被災しているので十分な機能を果たす事ができない。したがって圏域外の自治体あるいは他の圏域との相互応援体制が必要と考える。	【その他】 大きな災害が発生した際、圏域外からの支援は不可欠となります。既に、北海道、北海道市長会、及び北海道町村会と、「災害時における北海道及び市町村相互の応援に関する協定」を締結し、北海道内の相互支援の枠組みは構築されているため、定住自立圏としての協議の対象からは除外するものです。
31 【2-1- (1) 地域公共交通の維持確保と利用促進】 地域公共交通については、法律が制定されまちづくりとの連動が求められている。次期共生ビジョン骨子には、まちづくりと連動したバス利用の情報発信とあるが、むしろ地域公共交通ネットワークの再構築という観点で取り組むべきではないか。	【その他】 現在、帯広市においては、商店街等のシニア層向けサービスを高齢者に情報提供し、バス交通の利用につなげる取り組みを実施しています。こうした取り組みを、定住自立圏の枠組みにおいて広域展開することなどを視野に、今後、まちづくりと連動したバス利用の促進を進めていく考えです。

意見の概要	意見に対する考え方
3 2 【その他】 我々の町内会ではこの数年前から退会者が急に増えて、加入率 50%を割りそうな状況になった。借家が多いせいなのか、また昔のような葬儀の手伝いが無くなり、加入しているメリットがないと持家の定住者も退会する有様である。引き止める妙案が見つからない。町内会のメリットを公報などで小さい囲み記事でも良く毎回 1 つずつ目立ってアピールしてはどうだろうか。	【その他】 管内市町村においては、町内会活動を支援するための助成金の交付や、町内会の理解促進のための広報紙やホームページなどでの普及啓発の取り組みなどを行っています。 また、管内市町村の住民自治組織間の連絡協調を図り、町内会活動の活性化と住みよい地域づくりの推進を目的として、「十勝地区町内会連絡協議会」を構成し、各種研修交流事業を実施しています。

【パブリックコメントの意見】

意見の概要	件数	意見に対する考え方
1 【1-2 福祉】 わが町は近隣町村への通勤圏であり、保育所や学童保育等に対応できる町として、定住促進を進めてはどうだろうか。	1	【その他】 ご意見について、町にお伝えします。
2 【1-3- (3) スポーツ大会等の誘致】 2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に関係した取組みを、新規項目として挙げられている「スポーツ大会等の誘致」に盛り込むべき。	1	【参考】 スポーツ大会等の誘致の取組については、全道・全国規模の大会をはじめ、国際大会や合宿の誘致に定住自立圏として取り組むものです。 ご意見の東京オリンピック・パラリンピックについても、情報収集を進めながら、今後も圏域での各種競技の大会や合宿を誘致すべく、各町村と情報交換等をしていきます。
3 【1-4 産業振興】 十勝は農業ばかりでなく水産業も盛んなので、もっと水産物をアピールし、多くの人に知ってもらわなければならない。	1	【既記載】 フードバレーとかちの『「食」と「農林漁業」を柱とした地域産業政策』として、これまでも取組をすすめております。 この取組として、様々な企業等とのマッチングを行っており、取組の一例ではございますが、農畜産品・水産物を総合して紹介する「十勝産食材集」「十勝産食材を使ったレシピ集」などを活用し、飲食業等から水産物を含め数多くの十勝産食材のニーズが寄せられています。 今後につきましても、上記の取組に加え、フードバレーとかちの 3 本柱の一つである「付加価値の向上」をすすめ、水産物を含めた地域の食産業の活性化や注目度の向上につなげてまいります。
4 【1-4- (2) フードバレーとかちの推進、1-4- (8) 航空宇宙産業基地構想の推進】 政府関係機関の誘致に向けた取組みを、拡充項目及び新規項目として挙げられている「フードバレーとかちの推進」及び「航空宇宙産業基地構想の推進」に盛り込むべき。	1	【その他】 政府関係機関の地方移転に関しては、平成 27 年に提案募集がありましたが、今後の国の動きは不透明であり、誘致に向けた具体的、効果的な活動機会を見通せる状況にありません。従いまして、ビジョン期間における定住自立圏の取り組みとすることは予定していません。

意見の概要	件数	意見に対する考え方
5 【1-5- (1) 地球温暖化防止に向けた低炭素社会の構築】 JICA研修事業の活用による圏域外への情報発信及び稼働力の強化に係る取組みを、拡充項目として挙げられている「地球温暖化防止に向けた低炭素社会の構築」に盛り込むべき。	1	【既記載】 地球温暖化防止に関わる情報発信については、これまでも、JICA 研修事業に職員を講師派遣するなどの取組みを行っており、今後も、原案に記載した圏域外への情報発信の一環として進めていく考えです。 なお、稼働力の強化に係る取組みについては、「フードバレーとかち」のもと、十勝バイオマス産業都市構想の推進をとおして行っています。
6 【2 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野】 地域の国際交流団体を中心とした各種連携について、「結びつきやネットワークの強化に係る政策分野」に追加すべき。	1	【その他】 十勝管内では、地域が一体となって国際化の進展に対応していくため、平成8年に全市町村と国際交流団体が広域で連携し十勝インターナショナル協会を設立しており、今後も引き続き関係団体と連携しながら時代のニーズに即した各種事業をすすめていく考えです。

2 十勝定住自立圏共生ビジョン懇談会設置要綱

(制定年月日 平成23年6月27日)

(設置)

第1条 十勝における定住自立圏形成協定(以下「協定」という。)により形成された圏域全体を対象として、圏域の将来像や協定に基づき推進する具体的な取組などを記載する定住自立圏共生ビジョン(以下「ビジョン」という。)の策定に関して、関係者の意見を幅広く反映させるため、十勝定住自立圏共生ビジョン懇談会(以下「懇談会」という。)を設置する。

(所掌事項)

第2条 懇談会は、次に掲げる事項について協議する。

- (1) ビジョンの策定または変更に関する事項
- (2) 前号に掲げるもののほか、懇談会の目的を達成するために必要な事項

(組織)

第3条 懇談会は、概ね30人程度の委員をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、市長が依頼する。

- (1) 学識経験者
- (2) 協定の取組に関連する分野の関係者
- (3) 前2号に掲げる者のほか、市長が適当と認めるもの

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(座長等)

第5条 懇談会に、座長及び副座長を各1名置く。

- 2 座長は、委員の互選により定め、副座長は座長が指名する委員をもって充てる。
- 3 座長は、会務を総理し、懇談会を代表する。
- 4 副座長は、座長を補佐し、座長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 懇談会の会議は、座長が招集し、その議長となる。

- 2 懇談会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。
- 3 座長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を懇談会の会議に出席させ、説明又は意見を求めることができる。

(事務局)

第7条 懇談会の事務局は、帯広市政策推進部政策室に置く。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、懇談会の運営に関し必要な事項は、座長が別に定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この要綱は、平成23年7月7日から施行する。

(経過措置)

- 2 この要綱の施行後、最初に依頼される委員の任期は、第4条第1項の規定にかかわらず、当該委嘱の日から平成25年5月31日までとする。

3 十勝定住自立圏共生ビジョン懇談会委員名簿

(平成28年1月27日現在)

■ 懇談会委員

関 連 分 野	氏 名	所 属 等	市町村
学識経験者	志賀 永一 【座長】	帯広畜産大学 教授 (地域環境学研究部門 農業経済学分野)	帯広市
医 療	菊池 英明	帯広市医師会 副会長	帯広市
〃	栗林 秀樹	十勝医師会 会長	池田町
〃	鳥本 ヒサ子	公立芽室病院運営委員会 会長	芽室町
〃	荒 文枝	本別町地域包括支援センター 嘱託職員	本別町
福 祉	中岡 星子	帯広市健康生活支援審議会 児童育成部会専門委員	帯広市
〃	平林 博	帯広身体障害者福祉協会 副会長	帯広市
〃	白石 馨	NPO法人サポートセンター白樺 事務局次長	上士幌町
〃	高橋 和夫	NPO 法人「の一まひろお」理事長	広尾町
〃	宮澤 恵子	社会福祉法人 ひまわり 理事長	幕別町
教 育	高倉 美恵子	帯広市社会教育委員 副委員長	帯広市
〃	吉田 静二	士幌町社会教育委員 委員長	士幌町
〃	仲沢 才子	中札内村社会教育委員会 委員長 中札内村消費者協会 会長	中札内村
産業振興	橋枝 篤志 【副座長】	帯広商工会議所 専務理事	帯広市
〃	小倉 豊	帯広市川西農業協同組合 専務理事	帯広市
〃	大西 勉	木野農業協同組合 常務理事	音更町
〃	宮嶋 望	共働学舎新得農場 代表	新得町
〃	鈴木 孝寿	清水町ペケレベツ情熱会議 会長	清水町
〃	今川 昌彦	更別村農業協同組合 専務理事	更別村
〃	廣瀬 庄治	大樹町商工会 事務局長	大樹町
〃	沼田 利幸	元 十勝高島農業協同組合 参事	池田町
〃	鈴木 茂	豊頃町商工会 事務局長	豊頃町
〃	丸山 勝由	足寄町商工会 会長	足寄町
環 境	小笹 勅雄	一般社団法人帯広消費者協会 専務理事	帯広市
〃	福原 尋義	鹿追町環境推進協力会 会長	鹿追町
防 災	松田 信幸	帯広市町内会連合会 副会長(事業防災委員会担当)	帯広市
〃	松本 英俊	防災士、北海道地域防災マスター	浦幌町
地域公共交通	長澤 敏彦	十勝バス株式会社 旅客事業本部長	帯広市
〃	小田 均	陸別町商工会 副会長 陸別町地域交通推進会議 副会長	陸別町

■ オブザーバー

音更町、士幌町、上士幌町、鹿追町、新得町、清水町、芽室町、中札内村、更別村、大樹町、広尾町、幕別町、池田町、豊頃町、本別町、足寄町、陸別町、浦幌町、十勝町村会、十勝圏複合事務組合、十勝総合振興局、各作業部会

■ 事務局

帯広市政策推進部政策室

4. 共生ビジョン事業費一覧

1. 生活機能の強化に係る政策分野

1. 医療 （1）救急医療体制等の確保 【取組概要：◎救命救急センター等の維持・充実 ◎救急医療に関する普及・啓発】

市町村名	事業名	事業内容	事業費見込額（単位：千円）					備 考
			H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	合 計	
帯広市	帯広厚生病院救命救急センター運営費等補助	帯広厚生病院救命救急センターに対する運営費等の助成	210,000	210,000	210,000	210,000	840,000	
音更町	帯広厚生病院救命救急センター運営費等補助	帯広厚生病院救命救急センターに対する運営費等の助成	17,880	17,880	17,880	17,880	71,520	
士幌町	帯広厚生病院救命救急センター運営費等補助	帯広厚生病院救命救急センターに対する運営費等の助成	4,180	4,180	4,180	4,180	16,720	
上士幌町	帯広厚生病院救命救急センター運営費等補助	帯広厚生病院救命救急センターに対する運営費等の助成	3,590	3,590	3,590	3,590	14,360	
鹿追町	帯広厚生病院救命救急センター運営費等補助	帯広厚生病院救命救急センターに対する運営費等の助成	3,270	3,270	3,270	3,270	13,080	
新得町	帯広厚生病院救命救急センター運営費等補助	帯広厚生病院救命救急センターに対する運営費等の助成	3,500	3,500	3,500	3,500	14,000	
清水町	帯広厚生病院救命救急センター運営費等補助	帯広厚生病院救命救急センターに対する運営費等の助成	4,590	4,590	4,590	4,590	18,360	
芽室町	帯広厚生病院救命救急センター運営費等補助	帯広厚生病院救命救急センターに対する運営費等の助成	6,810	6,810	6,810	6,810	27,240	
中札内村	帯広厚生病院救命救急センター運営費等補助	帯広厚生病院救命救急センターに対する運営費等の助成	3,400	3,400	3,400	3,400	13,600	
更別村	帯広厚生病院救命救急センター運営費等補助	帯広厚生病院救命救急センターに対する運営費等の助成	2,810	2,810	2,810	2,810	11,240	
大樹町	帯広厚生病院救命救急センター運営費等補助	帯広厚生病院救命救急センターに対する運営費等の助成	3,170	3,170	3,170	3,170	12,680	
広尾町	帯広厚生病院救命救急センター運営費等補助	帯広厚生病院救命救急センターに対する運営費等の助成	3,970	3,970	3,970	3,970	15,880	
幕別町	帯広厚生病院救命救急センター運営費等補助	帯広厚生病院救命救急センターに対する運営費等の助成	11,910	11,910	11,910	11,910	47,640	
池田町	帯広厚生病院救命救急センター運営費等補助	帯広厚生病院救命救急センターに対する運営費等の助成	4,460	4,460	4,460	4,460	17,840	
豊頃町	帯広厚生病院救命救急センター運営費等補助	帯広厚生病院救命救急センターに対する運営費等の助成	2,880	2,880	2,880	2,880	11,520	
本別町	帯広厚生病院救命救急センター運営費等補助	帯広厚生病院救命救急センターに対する運営費等の助成	4,520	4,520	4,520	4,520	18,080	
足寄町	帯広厚生病院救命救急センター運営費等補助	帯広厚生病院救命救急センターに対する運営費等の助成	4,060	4,060	4,060	4,060	16,240	
陸別町	帯広厚生病院救命救急センター運営費等補助	帯広厚生病院救命救急センターに対する運営費等の助成	1,790	1,790	1,790	1,790	7,160	
浦幌町	帯広厚生病院救命救急センター運営費等補助	帯広厚生病院救命救急センターに対する運営費等の助成	3,210	3,210	3,210	3,210	12,840	
合 計			300,000	300,000	300,000	300,000	1,200,000	

1. 医療 (2) 地域医療体制の充実 【取組概要：◎帯広高等看護学院の広域運営 ◎地域医療の課題解決に向けた検討】

市町村名	事業名	事業内容	事業費見込額 (単位：千円)					備 考
			H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	合 計	
帯広市	帯広高等看護学院分担金	帯広高等看護学院の運営に係る分担金	67,523	67,523	67,523	67,523	270,092	
音更町	帯広高等看護学院分担金	帯広高等看護学院の運営に係る分担金	5,821	5,821	5,821	5,821	23,284	
士幌町	帯広高等看護学院分担金	帯広高等看護学院の運営に係る分担金	1,173	1,173	1,173	1,173	4,692	
上士幌町	帯広高等看護学院分担金	帯広高等看護学院の運営に係る分担金	1,013	1,013	1,013	1,013	4,052	
鹿追町	帯広高等看護学院分担金	帯広高等看護学院の運営に係る分担金	1,087	1,087	1,087	1,087	4,348	
新得町	帯広高等看護学院分担金	帯広高等看護学院の運営に係る分担金	1,202	1,202	1,202	1,202	4,808	
清水町	帯広高等看護学院分担金	帯広高等看護学院の運営に係る分担金	1,599	1,599	1,599	1,599	6,396	
芽室町	帯広高等看護学院分担金	帯広高等看護学院の運営に係る分担金	2,675	2,675	2,675	2,675	10,700	
中札内村	帯広高等看護学院分担金	帯広高等看護学院の運営に係る分担金	884	884	884	884	3,536	
更別村	帯広高等看護学院分担金	帯広高等看護学院の運営に係る分担金	810	810	810	810	3,240	
大樹町	帯広高等看護学院分担金	帯広高等看護学院の運営に係る分担金	1,120	1,120	1,120	1,120	4,480	
広尾町	帯広高等看護学院分担金	帯広高等看護学院の運営に係る分担金	1,349	1,349	1,349	1,349	5,396	
幕別町	帯広高等看護学院分担金	帯広高等看護学院の運営に係る分担金	3,593	3,593	3,593	3,593	14,372	
池田町	帯広高等看護学院分担金	帯広高等看護学院の運営に係る分担金	1,307	1,307	1,307	1,307	5,228	
豊頃町	帯広高等看護学院分担金	帯広高等看護学院の運営に係る分担金	810	810	810	810	3,240	
本別町	帯広高等看護学院分担金	帯広高等看護学院の運営に係る分担金	1,397	1,397	1,397	1,397	5,588	
足寄町	帯広高等看護学院分担金	帯広高等看護学院の運営に係る分担金	1,319	1,319	1,319	1,319	5,276	
陸別町	帯広高等看護学院分担金	帯広高等看護学院の運営に係る分担金	721	721	721	721	2,884	
浦幌町	帯広高等看護学院分担金	帯広高等看護学院の運営に係る分担金	1,058	1,058	1,058	1,058	4,232	
合 計			96,461	96,461	96,461	96,461	385,844	

2. 福祉

(1) 地域活動支援センターの広域利用の促進 【取組概要：◎地域活動支援センターの広域利用】

市町村名	事業名	事業内容	事業費見込額 (単位：千円)					備 考
			H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	合 計	
帯広市	地域活動支援センター事業	障害者の日中活動場所の確保、情報の共有、社会参加を促進	300	300	300	300	1,200	
音更町	地域活動支援センター事業	障害者の日中活動場所の確保、情報の共有、社会参加を促進	5,000	5,000	5,000	5,000	20,000	
士幌町	地域活動支援センター事業	障害者の日中活動場所の確保、情報の共有、社会参加を促進	1,464	1,464	1,464	1,464	5,856	
上士幌町	地域活動支援センター事業	障害者の日中活動場所の確保、情報の共有、社会参加を促進	1,200	1,200	1,200	1,200	4,800	
鹿追町	地域活動支援センター事業	障害者の日中活動場所の確保、情報の共有、社会参加を促進	451	451	451	451	1,804	
新得町	地域活動支援センター事業	障害者の日中活動場所の確保、情報の共有、社会参加を促進	207	207	207	207	828	
清水町	地域活動支援センター事業	障害者の日中活動場所の確保、情報の共有、社会参加を促進	1,700	1,700	1,700	1,700	6,800	
芽室町	地域活動支援センター事業	障害者の日中活動場所の確保、情報の共有、社会参加を促進	175	175	175	175	700	
中札内村	地域活動支援センター事業	障害者の日中活動場所の確保、情報の共有、社会参加を促進	820	820	820	820	3,280	
更別村	地域活動支援センター事業	障害者の日中活動場所の確保、情報の共有、社会参加を促進	140	140	140	140	560	
大樹町	地域活動支援センター事業	障害者の日中活動場所の確保、情報の共有、社会参加を促進	1,569	1,569	1,569	1,569	6,276	
広尾町	地域活動支援センター事業	障害者の日中活動場所の確保、情報の共有、社会参加を促進	300	300	300	300	1,200	
幕別町	地域活動支援センター事業	障害者の日中活動場所の確保、情報の共有、社会参加を促進	1,450	1,450	1,450	1,450	5,800	
池田町	地域活動支援センター事業	障害者の日中活動場所の確保、情報の共有、社会参加を促進	2,450	2,450	2,450	2,450	9,800	
豊頃町	地域活動支援センター事業	障害者の日中活動場所の確保、情報の共有、社会参加を促進	515	515	515	515	2,060	
本別町	地域活動支援センター事業	障害者の日中活動場所の確保、情報の共有、社会参加を促進	250	250	250	250	1,000	
足寄町	地域活動支援センター事業	障害者の日中活動場所の確保、情報の共有、社会参加を促進	50	50	50	50	200	
陸別町	地域活動支援センター事業	障害者の日中活動場所の確保、情報の共有、社会参加を促進	未定	未定	未定	未定	未定	
浦幌町	地域活動支援センター事業	障害者の日中活動場所の確保、情報の共有、社会参加を促進	800	800	800	800	3,200	
合 計			18,841	18,841	18,841	18,841	75,364	

2. 福祉 (2) 保育所の広域入所の充実 【取組概要：◎保育所の広域入所の充実】

市町村名	事業名	事業内容	事業費見込額 (単位：千円)					備 考
			H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	合 計	
帯広市	保育所広域入所連携事業	市町村相互の広域入所に係る連携を実施	1,771	1,771	1,771	1,771	7,084	
音更町	保育所広域入所連携事業	市町村相互の広域入所に係る連携を実施	1,360	1,360	1,360	1,360	5,440	
士幌町	保育所広域入所連携事業	市町村相互の広域入所に係る連携を実施	未定	未定	未定	未定	未定	
上士幌町	保育所広域入所連携事業	市町村相互の広域入所に係る連携を実施	未定	未定	未定	未定	未定	
鹿追町	保育所広域入所連携事業	市町村相互の広域入所に係る連携を実施	未定	未定	未定	未定	未定	
新得町	保育所広域入所連携事業	市町村相互の広域入所に係る連携を実施	未定	未定	未定	未定	未定	
清水町	保育所広域入所連携事業	市町村相互の広域入所に係る連携を実施	未定	未定	未定	未定	未定	
芽室町	保育所広域入所連携事業	市町村相互の広域入所に係る連携を実施	未定	未定	未定	未定	未定	
中札内村	保育所広域入所連携事業	市町村相互の広域入所に係る連携を実施	未定	未定	未定	未定	未定	
更別村	保育所広域入所連携事業	市町村相互の広域入所に係る連携を実施	未定	未定	未定	未定	未定	
大樹町	保育所広域入所連携事業	市町村相互の広域入所に係る連携を実施	1,569	1,569	1,569	1,569	6,276	
広尾町	保育所広域入所連携事業	市町村相互の広域入所に係る連携を実施	未定	未定	未定	未定	未定	
幕別町	保育所広域入所連携事業	市町村相互の広域入所に係る連携を実施	573	573	573	573	2,292	
池田町	保育所広域入所連携事業	市町村相互の広域入所に係る連携を実施	未定	未定	未定	未定	未定	
豊頃町	保育所広域入所連携事業	市町村相互の広域入所に係る連携を実施	未定	未定	未定	未定	未定	
本別町	保育所広域入所連携事業	市町村相互の広域入所に係る連携を実施	308	308	308	308	1,232	
足寄町	保育所広域入所連携事業	市町村相互の広域入所に係る連携を実施	未定	未定	未定	未定	未定	
陸別町	保育所広域入所連携事業	市町村相互の広域入所に係る連携を実施	未定	未定	未定	未定	未定	
浦幌町	保育所広域入所連携事業	市町村相互の広域入所に係る連携を実施	未定	未定	未定	未定	未定	
合 計			5,581	5,581	5,581	5,581	22,324	

2. 福祉 （3）高齢者の生活支援体制の構築 【取組概要：◎高齢者の見守り事業の充実 ◎圏域が抱える介護士不足等の課題に向けた検討】

市町村名	事業名	事業内容	事業費見込額（単位：千円）					備 考
			H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	合 計	
帯広市	高齢者の生活支援体制構築事業	高齢者の見守り事業の連携、介護士等の育成の促進	未定	未定	未定	未定	未定	
音更町	高齢者の生活支援体制構築事業	高齢者の見守り事業の連携、介護士等の育成の促進	未定	未定	未定	未定	未定	
士幌町	高齢者の生活支援体制構築事業	高齢者の見守り事業の連携、介護士等の育成の促進	未定	未定	未定	未定	未定	
上士幌町	高齢者の生活支援体制構築事業	高齢者の見守り事業の連携、介護士等の育成の促進	未定	未定	未定	未定	未定	
鹿追町	高齢者の生活支援体制構築事業	高齢者の見守り事業の連携、介護士等の育成の促進	未定	未定	未定	未定	未定	
新得町	高齢者の生活支援体制構築事業	高齢者の見守り事業の連携、介護士等の育成の促進	未定	未定	未定	未定	未定	
清水町	高齢者の生活支援体制構築事業	高齢者の見守り事業の連携、介護士等の育成の促進	未定	未定	未定	未定	未定	
芽室町	高齢者の生活支援体制構築事業	高齢者の見守り事業の連携、介護士等の育成の促進	未定	未定	未定	未定	未定	
中札内村	高齢者の生活支援体制構築事業	高齢者の見守り事業の連携、介護士等の育成の促進	未定	未定	未定	未定	未定	
更別村	高齢者の生活支援体制構築事業	高齢者の見守り事業の連携、介護士等の育成の促進	未定	未定	未定	未定	未定	
大樹町	高齢者の生活支援体制構築事業	高齢者の見守り事業の連携、介護士等の育成の促進	未定	未定	未定	未定	未定	
広尾町	高齢者の生活支援体制構築事業	高齢者の見守り事業の連携、介護士等の育成の促進	未定	未定	未定	未定	未定	
幕別町	高齢者の生活支援体制構築事業	高齢者の見守り事業の連携、介護士等の育成の促進	未定	未定	未定	未定	未定	
池田町	高齢者の生活支援体制構築事業	高齢者の見守り事業の連携、介護士等の育成の促進	未定	未定	未定	未定	未定	
豊頃町	高齢者の生活支援体制構築事業	高齢者の見守り事業の連携、介護士等の育成の促進	未定	未定	未定	未定	未定	
本別町	高齢者の生活支援体制構築事業	高齢者の見守り事業の連携、介護士等の育成の促進	未定	未定	未定	未定	未定	
足寄町	高齢者の生活支援体制構築事業	高齢者の見守り事業の連携、介護士等の育成の促進	未定	未定	未定	未定	未定	
陸別町	高齢者の生活支援体制構築事業	高齢者の見守り事業の連携、介護士等の育成の促進	未定	未定	未定	未定	未定	
浦幌町	高齢者の生活支援体制構築事業	高齢者の見守り事業の連携、介護士等の育成の促進	未定	未定	未定	未定	未定	
合 計			未定	未定	未定	未定	未定	

3. 教育

(1) 図書館の広域利用の促進 【取組概要：◎図書館の相互連携の強化 ◎合同研修会等の開催】

市町村名	事業名	事業内容	事業費見込額 (単位：千円)					備 考
			H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	合 計	
帯広市	十勝管内図書館の広域利用事業	図書館の広域利用を促進する ・図書相互貸借運搬 ・図書館利用カード作成 (広域利用) など	240	240	240	489	1,209	
帯広市	十勝管内公立図書館協議会事業	図書館相互の連携強化と職員の資質向上を図る ・合同研修会の開催 など	18	18	18	18	72	
音更町	十勝管内公立図書館協議会事業	図書館相互の連携強化と職員の資質向上を図る ・合同研修会の開催 など	9	9	9	9	36	
士幌町	十勝管内公立図書館協議会事業	図書館相互の連携強化と職員の資質向上を図る ・合同研修会の開催 など	9	9	9	9	36	
上士幌町	十勝管内公立図書館協議会事業	図書館相互の連携強化と職員の資質向上を図る ・合同研修会の開催 など	9	9	9	9	36	
鹿追町	十勝管内公立図書館協議会事業	図書館相互の連携強化と職員の資質向上を図る ・合同研修会の開催 など	9	9	9	9	36	
新得町	十勝管内公立図書館協議会事業	図書館相互の連携強化と職員の資質向上を図る ・合同研修会の開催 など	9	9	9	9	36	
清水町	十勝管内公立図書館協議会事業	図書館相互の連携強化と職員の資質向上を図る ・合同研修会の開催 など	9	9	9	9	36	
芽室町	十勝管内図書館の広域利用事業	図書館の広域利用を促進する ・案内リーフレット作成 ・図書館利用カード作成 (広域利用) など	0	0	0	0	0	
芽室町	十勝管内公立図書館協議会事業	図書館相互の連携強化と職員の資質向上を図る ・合同研修会の開催 など	9	9	9	9	36	
中札内村	十勝管内公立図書館協議会事業	図書館相互の連携強化と職員の資質向上を図る ・合同研修会の開催 など	5	5	5	5	20	
更別村	十勝管内公立図書館協議会事業	図書館相互の連携強化と職員の資質向上を図る ・合同研修会の開催 など	5	5	5	5	20	
大樹町	十勝管内公立図書館協議会事業	図書館相互の連携強化と職員の資質向上を図る ・合同研修会の開催 など	9	9	9	9	36	
広尾町	十勝管内公立図書館協議会事業	図書館相互の連携強化と職員の資質向上を図る ・合同研修会の開催 など	9	9	9	9	36	
幕別町	十勝管内公立図書館協議会事業	図書館相互の連携強化と職員の資質向上を図る ・合同研修会の開催 など	9	9	9	9	36	
池田町	十勝管内公立図書館協議会事業	図書館相互の連携強化と職員の資質向上を図る ・合同研修会の開催 など	9	9	9	9	36	
豊頃町	十勝管内公立図書館協議会事業	図書館相互の連携強化と職員の資質向上を図る ・合同研修会の開催 など	9	9	9	9	36	
本別町	十勝管内公立図書館協議会事業	図書館相互の連携強化と職員の資質向上を図る ・合同研修会の開催 など	9	9	9	9	36	
足寄町	十勝管内公立図書館協議会事業	図書館相互の連携強化と職員の資質向上を図る ・合同研修会の開催 など	5	5	9	9	28	
陸別町	十勝管内公立図書館協議会事業	図書館相互の連携強化と職員の資質向上を図る ・合同研修会の開催 など	5	5	5	5	20	
浦幌町	十勝管内図書館の広域利用事業	図書館の広域利用を促進する ・広報誌への掲載 ・図書館利用カード作成 (広域利用) など	214	214	214	214	856	
浦幌町	十勝管内公立図書館協議会事業	図書館相互の連携強化と職員の資質向上を図る ・合同研修会の開催 など	9	9	9	9	36	
合 計			618	618	622	871	2,729	

3. 教育

(2) 生涯学習の推進 【取組概要：◎総合的な施設情報の提供 ◎圏域住民を対象とした事業の実施】

市町村名	事業名	事業内容	事業費見込額 (単位：千円)					備 考
			H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	合 計	
帯広市	プラザ・エンジョイスクール	趣味、教養講座を開講し、誰もが気軽に学べる機会を提供するとともに市民の生きがいづくりを促進	0	0	0	0	0	
帯広市	市民大学講座	15 歳以上の圏域住民を対象に、「帯広・十勝」の優位性や問題点を理解し、さらに地域社会で活躍するための理論や技法の習得につながる講座を開催	640	640	640	640	2,560	
帯広市	放送大学帯広学習室設置事業	放送大学と提携し、とかちプラザ内に放送大学帯広学習室を設置して学位取得のための環境を提供	0	0	0	0	0	
帯広市	文化活動発表会開催事業	地域住民の文化活動や日頃の研鑽の成果を発表する場を提供し、地域の文化を支える人材を育成	500	500	500	500	2,000	
帯広市	市民文化活動促進事業	地域住民の創作活動などの担い手の育成	0	1,000	4,000	4,000	9,000	
帯広市	芸術文化鑑賞会開催事業	優れた芸術文化に親しむことにより、心豊かで潤いのある生活を楽しみ、芸術文化活動を始めるきっかけとなる事業を提供	3,450	3,450	3,450	3,450	13,800	
帯広市	こどもの芸術文化鑑賞会開催事業	子どもや青少年が様々な文化に接し、感動する機会を得ることで、豊かな人間性や多様な個性を育むとともに、将来の文化の担い手を育成	2,900	2,900	2,900	2,900	11,600	
帯広市	虹コン（レインボーホールオリジナルコンサート）	十勝管内の演奏者に発表の場を提供し、人材の活用、発掘、育成など地域に根ざした音楽活動を支援	0	0	0	0	0	
帯広市	とかちプラザ情報センター事業	住民の自主活動の場、フードバレー関連などの行政情報を提供	0	0	0	0	0	
帯広市	ほっとドリームプロジェクト	スケートの振興を目的に、応援体制の確立、底辺の拡大及び競技者を育成	4,112	4,112	4,112	4,112	16,448	
帯広市	フードバレーとかちマラソン大会	健康・体力づくり等のスポーツ機会の提供、健康増進に対する意識の高揚、多様な交流の促進	3,900	3,900	3,900	3,900	15,600	
音更町	生涯学習フェスティバル	生涯学習の実践者・団体・関係機関が一堂に会し、交流を深め、生涯学習の意義とまちづくりについて考察	300	300	300	300	1,200	
音更町	生涯学習まちづくりセミナー	生涯学習による協働の人づくり、まち（地域）づくりを推進する	191	191	191	191	764	
音更町	〇〇ＪＣオープンカレッジ	町と帯広大谷短大による共同生涯学習講座で、自己の充実と生活の向上を図り、地域の活性化とまちづくりを推進する	1,091	1,091	1,091	1,091	4,364	
音更町	音更高校開放講座	町と音更高校による共同生涯学習講座で、自己の充実と生活の向上を図り、地域の活性化とまちづくりを推進する	120	120	120	120	480	
音更町	スポーツ教室等の開催	体力の向上や健康増進を図るため、各種教室やセミナー等を開催	406	406	406	406	1,624	
音更町	芸術文化鑑賞会開催事業	中学生が、優れた芸術文化に親しみ、豊かな人間性や多様な個性を育むための芸術鑑賞会を開催	4,076	4,076	4,076	4,076	16,304	
士幌町	生涯学習講座開催事業	生涯学習講座を年４回開催	1,200	1,200	1,200	1,200	4,800	
上士幌町	生涯学習フェスティバル	町内各団体がそれぞれ実施している生涯学習に関する様々なイベントを、各団体が連携をもって体系的に整備・提供	800	800	800	800	3,200	

上士幌町	芸術鑑賞会事業	芸術愛好者の拡大と地域文化の発展向上を目的に、芸術鑑賞の機会を広く町民に提供	1,200	1,200	1,200	1,200	4,800	
上士幌町	スポーツ教室及び講習会開催事業	町民の体位の向上と、健康の増進を目指して町民ひとりひとりが何かのスポーツに親しめることを目的に、各種教室の開催や講習会を実施	618	618	618	618	2,472	
上士幌町	スポーツ大会開催事業	町内各スポーツ団体が日常的な練習の成果を発揮する場やスポーツ振興を図るため、町民スポーツ祭や各種大会を開催	844	844	844	844	3,376	
鹿追町	鹿追町民ホール事業	圏域住民に対し、良質な芸術鑑賞の機会を提供	4,000	4,000	4,000	4,000	16,000	
鹿追町	馬の絵作品展	馬をテーマとした絵画を全国に募集し、その作品展等を開催	1,106	1,106	1,106	1,106	4,424	
鹿追町	馬耕忌・生誕祭事業	神田日勝をテーマに講演会等の開催	270	270	270	270	1,080	
鹿追町	蕪憩祭事業	神田日勝記念美術館の開館日を祝い、演奏会等を開催	250	250	250	250	1,000	
鹿追町	展覧会事業	神田日勝記念美術館等において開催する展覧会	2,500	2,500	2,500	2,500	10,000	
鹿追町	特別企画展事業	神田日勝の画業等をテーマとした展覧会の開催	2,253	2,253	2,253	2,253	9,012	
鹿追町	スポーツ振興促進事業	スポーツ施設の相互利用を促進するとともに、スポーツ大会・スポーツ教室を開催	1,115	1,115	1,115	1,115	4,460	
新得町	新得町芸術鑑賞事業実行委員会補助	豊かな感性の育みに寄与するため、演奏会やコンサートなど芸術を鑑賞する機会を提供	3,300	3,300	3,300	3,300	13,200	
新得町	新内ホールコンサート実行委員会補助	身近に音楽文化を感じてもらうため、廃校となった校舎が持っている特性を生かした小規模の演奏会を開催	810	810	810	810	3,240	
新得町	新得町文化・スポーツ振興基金運営委員会補助	文化・スポーツの向上を目指し、コンサート、講演会、大会などを開催するほか、創造性豊かな住民活動を図るため、人材及び団体を育成	2,000	2,000	2,000	2,000	8,000	
清水町	芸術鑑賞会開催事業	世代に合わせて、豊かな人間性や多様な個性を育むための優れた舞台芸術鑑賞会を開催	3,182	3,182	3,182	3,182	12,728	
芽室町	公共施設の共同利用促進事業	フレンドリーコンサートや講座、学習会など、中央公民館の相互利用を促進	177	177	177	177	708	
芽室町	スポーツ振興促進事業	スポーツ大会やスポーツ教室を開催し、スポーツ施設の相互利用を促進	1,478	1,478	1,478	1,478	5,912	
芽室町	文化講演共同事業	文化講演会開催の情報を提供	1,669	1,669	1,669	1,669	6,676	
芽室町	発祥の地杯全国ゲートボール大会開催事業	ゲートボール発祥の地として全国大会を開催し、スポーツを通じた交流人口の増加を促進	3,081	3,081	3,081	3,081	12,324	
中札内村	生涯学習講座	地域住民のニーズに適した講座を企画、開催	47	47	47	47	188	
更別村	スポーツ振興促進事業	圏域施設のスポーツ施設の情報共有し、住民の生涯学習を推進するとともに、生涯学習施設の利用を促進	1,001	1,001	1,001	1,001	4,004	
更別村	文化講演共同事業	圏域の文化活動等の情報共有や文化講演等を共同開催し、住民の生涯学習を推進するとともに、生涯学習施設の利用を促進	2,086	2,086	2,086	2,086	8,344	
大樹町	生涯学習啓発事業	町広報紙の2ページを生涯学習啓発ページとして活用月1回、12回発行し、圏域の情報を地域住民へ提供	0	0	0	0	0	

大樹町	芸術文化鑑賞助成事業	大樹町芸術鑑賞協会への補助を通して圏域住民へ鑑賞機会を提供	3,000	3,000	3,000	3,000	12,000	
広尾町	広尾町芸術鑑賞町民劇場公演事業	優れた芸術文化の鑑賞機会を提供し、芸術文化団体の育成・発展を図るため、公演会を開催	0	2,000	0	2,000	4,000	
幕別町	国際パークゴルフ大会交付金事業	パークゴルフを通じ、楽しさの共有を実感しながら世代交流、地域交流、国際交流を深めるために、外国人を含め、日本全国に広く参加案内を行い、パークゴルフの大会を開催	500	500	500	500	2,000	
幕別町	文化講演会	今後の人生を歩んで行く上のヒントや、知識等を得るために、著名な文化人、芸能人、経済人、政治家等の講演会を開催	2,405	2,405	2,405	2,405	9,620	
幕別町	まくべつ町民芸術劇場交付金事業	町民はもとより、十勝管内地域住民へ質の高い各種コンサートや講演会、絵画展など多彩なジャンルの公演を安価な価格で提供	5,240	5,240	5,240	5,240	20,960	
幕別町	生涯学習講座	文化芸術のすばらしさ、楽しさを体験し、興味や関心に応じて学ぶことができる講座を開催	800	800	800	800	3,200	
幕別町	スポーツ教室・スポーツ大会等の開催	体力の向上と、健康の増進、スポーツ振興のため、各種スポーツ教室・大会等を開催	1,596	1,596	1,596	1,596	6,384	
幕別町	チャレンジデー	日常的なスポーツの習慣化に向けたきっかけづくりや健康づくり、地域の活性化を目的として、毎年5月の最終水曜日に住民参加型のスポーツイベント「チャレンジデー」を開催	200	200	200	200	800	
池田町	芸術文化公演事務事業	子ども夢基金を活用した小中学生への芸術鑑賞機会の提供	2,100	2,100	2,100	2,100	8,400	
池田町	芸術文化公演事務事業	池田町芸術文化事業協会への補助を通して、町民もしくは圏域住民へ芸術鑑賞機会を提供	2,000	2,000	2,000	2,000	8,000	
豊頃町	芸術文化講演（公演）開催事業	圏域住民の豊かな感性の育みに寄与するとともに、芸術文化団体の育成・発展を図るために、文化講演会やコンサートなどの芸術を鑑賞する機会を提供	3,400	3,400	3,400	3,400	13,600	
本別町	チャレンジデー	健康づくり、スポーツ振興、地域活性化を目的として、全国規模で毎年5月最終水曜日に開催される住民参加型イベント「チャレンジデー」を実施	150	150	150	150	600	
本別町	義経の里スポーツフェスティバル	気軽にスポーツに取組む機会として、体を動かしながら健康づくりと地域間・世代間交流する場を提供	142	142	142	142	568	
本別町	本の町夢づくり講演会	本の町夢づくりプランに基づき、町民及び圏域住民に読書への親しみ、理解、普及に向け、著名な作家等による講演会の実施。	350	350	350	350	1,400	
本別町	芸術文化公演事務事業	本別町芸術文化事業振興会への補助を通して、町民及び圏域住民へ芸術鑑賞機会を提供	308	308	1,000	308	1,924	
足寄町	ロビーコンサート	優れた音楽鑑賞の機会を提供するとともに日常生活の中で生の音楽に触れ、音楽の素晴らしさを知ってもらうことを目的とする。	600	200	200	200	1,200	
足寄町	女性のつどい	町内外の女性が一堂に会し、女性を取り巻く様々な問題を考えるとともに、豊かなまちづくりを進めることを目的とする。	800	800	800	800	3,200	
陸別町	文化芸術鑑賞事業	陸別町の芸術文化の向上・発展を目的として、町民に優れた芸術文化の鑑賞の機会を提供	2,000	2,000	2,000	2,000	8,000	
浦幌町	公共施設の共同利用促進事業	市の生涯学習施設利用案内や各種事業情報を町民へ提供	1,158	1,158	1,158	1,158	4,632	
合 計			83,422	86,022	87,714	89,022	346,180	

3. 教育 (3) スポーツ大会等の誘致 【取組概要：◎スポーツ大会等の誘致】

市町村名	事業名	事業内容	事業費見込額 (単位：千円)					備 考
			H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	合 計	
帯広市	総合的な施設情報の提供	市内体育施設情報の提供	0	0	0	0	0	市ホームページ活用
帯広市	スポーツ合宿大会誘致事業	関係団体と連携した活動などにより、スポーツ大会・合宿等の誘致を実施	2,564	2,564	2,564	2,564	10,256	
帯広市	全国・全道大会開催事業	帯広市を会場として開催される道東大会以上の大会に対する補助金の交付	5,800	6,300	5,800	5,800	23,700	
帯広市	新総合体育館整備運営事業	老朽化した総合体育館を改築し、スポーツ活動を促進	15,605	5,500	5,500	5,500	32,105	
音更町	総合的な施設情報の提供	町内体育施設情報の提供	0	0	0	0	0	町ホームページ活用
士幌町	総合的な施設情報の提供	町内体育施設情報の提供	0	0	0	0	0	町ホームページ活用
上士幌町	総合的な施設情報の提供	町内体育施設情報の提供	0	0	0	0	0	町ホームページ活用
鹿追町	総合的な施設情報の提供	町内体育施設情報の提供	0	0	0	0	0	町ホームページ活用
新得町	サホロリバーサイド運動広場拡張整備	全天候型舗装 400mトラック (4コース) 及び人工芝サッカーコート1面の整備	104,000	150,000	356,324	0	610,324	
新得町	総合的な施設情報の提供	町内体育施設情報の提供	0	0	0	0	0	町ホームページ活用
清水町	総合的な施設情報の提供	町内体育施設情報の提供	0	0	0	0	0	町ホームページ活用
芽室町	総合的な施設情報の提供	町内体育施設情報の提供	0	0	0	0	0	町ホームページ活用
中札内村	日本クラブユース選手権実行委員会負担金	日本クラブユースサッカー選手権 (U-15) 大会十勝開催支援実行委員会に対する負担金	300	300	300	300	1,200	
中札内村	総合的な施設情報の提供	村内体育施設情報の提供	0	0	0	0	0	村ホームページ活用
更別村	総合的な施設情報の提供	村内体育施設情報の提供	0	0	0	0	0	村ホームページ活用
大樹町	総合的な施設情報の提供	町内体育施設情報の提供	0	0	0	0	0	町ホームページ活用
広尾町	総合的な施設情報の提供	町内体育施設情報の提供	0	0	0	0	0	町ホームページ活用
幕別町	総合的な施設情報の提供	町内体育施設情報の提供	0	0	0	0	0	町ホームページ活用
池田町	総合的な施設情報の提供	町内体育施設情報の提供	0	0	0	0	0	町ホームページ活用
豊頃町	総合的な施設情報の提供	町内体育施設情報の提供	0	0	0	0	0	町ホームページ活用
本別町	総合的な施設情報の提供	町内体育施設情報の提供	0	0	0	0	0	町ホームページ活用
足寄町	総合的な施設情報の提供	町内体育施設情報の提供	0	0	0	0	0	町ホームページ活用
陸別町	総合的な施設情報の提供	町内体育施設情報の提供	0	0	0	0	0	町ホームページ活用
浦幌町	総合的な施設情報の提供	町内体育施設情報の提供	0	0	0	0	0	町ホームページ活用
合 計			128,269	164,664	370,488	14,164	677,585	

4. 産業振興 (1) 農商工・産学官連携及び地域ブランドづくりの推進 【取組概要：◎農商工・産学官連携の推進 ◎十勝ブランドの確立】

市町村名	事業名	事業内容	事業費見込額 (単位：千円)					備 考
			H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	合 計	
帯広市	公益財団法人とかち財団運営負担金	十勝地域におけるものづくりの技術開発や技術指導、起業・創業支援、産学官連携や異業種交流など、総合的な支援拠点となる(公財)とかち財団に対する支援	119,553	123,772	123,772	123,772	490,869	
帯広市	十勝産業振興センター整備補助事業費	十勝産業振興センターの建設に際して、(公財)とかち財団が借り入れた資金の償還費補助金	46,022	45,966	45,910	45,854	183,752	
帯広市	産学官連携促進費	地域にある研究資源を活用し新事業・新産業を創出し、その成果を新たな研究資源の創造につなげる産学官連携システムを構築することにより、持続的な地域の活性化、地域産業の振興を図る事業のうち産学官連携システム推進事業負担金分	2,000	2,000	2,000	2,000	8,000	
帯広市	技術活用促進事業	新品種の農産物や、食と農業に関連する新技術に関するフォーラムの開催	345	未定	未定	未定	345	
帯広市	6次産業化促進事業	生産から流通にいたるまでの、企業等の連携機会提供や加工品作りなどの支援	721	未定	未定	未定	721	
音更町	公益財団法人とかち財団運営負担金	十勝地域におけるものづくりの技術開発や技術指導、起業・創業支援、産学官連携や異業種交流など、総合的な支援拠点となる(公財)とかち財団に対する支援	2,739	2,739	2,739	2,739	10,956	
音更町	特産品研究開発補助	地場農畜産物を原料として付加価値をつけた特産品の音更ブランド開発研究(音更農協、木野農協との共同事業)	300	300	300	300	1,200	
士幌町	公益財団法人とかち財団運営負担金	十勝地域におけるものづくりの技術開発や技術指導、起業・創業支援、産学官連携や異業種交流など、総合的な支援拠点となる(公財)とかち財団に対する支援	372	372	372	372	1,488	
上士幌町	農林商工等連携促進事業	農林商工等連携による新たな商品やサービスづくり及び新分野の進出に取り組む個人・団体等に対する補助制度	3,000	3,000	3,000	3,000	12,000	
上士幌町	公益財団法人とかち財団運営負担金	十勝地域におけるものづくりの技術開発や技術指導、起業・創業支援、産学官連携や異業種交流など、総合的な支援拠点となる(公財)とかち財団に対する支援	315	315	315	315	1,260	
鹿追町	公益財団法人とかち財団運営負担金	十勝地域におけるものづくりの技術開発や技術指導、起業・創業支援、産学官連携や異業種交流など、総合的な支援拠点となる(公財)とかち財団に対する支援	322	322	322	322	1,288	
鹿追町	鹿追町観光協会特産品部会活動	地元の特産品の販売を通じた町村PR事業	1,600	1,600	1,600	1,600	6,400	
新得町	公益財団法人とかち財団運営負担金	十勝地域におけるものづくりの技術開発や技術指導、起業・創業支援、産学官連携や異業種交流など、総合的な支援拠点となる(公財)とかち財団に対する支援	415	415	415	415	1,660	
新得町	地場産品PR事業	新得の観光と物産展実行委員会委託料	500	500	500	500	2,000	
清水町	公益財団法人とかち財団運営負担金	十勝地域におけるものづくりの技術開発や技術指導、起業・創業支援、産学官連携や異業種交流など、総合的な支援拠点となる(公財)とかち財団に対する支援	600	600	600	600	2,400	

茅室町	公益財団法人とかち財団運営負担金	十勝地域におけるものづくりの技術開発や技術指導、起業・創業支援、産学官連携や異業種交流など、総合的な支援拠点となる（公財）とかち財団に対する支援	792	792	792	792	3,168	
茅室町	十勝産業振興センター企画事業	各種技術力向上や人材育成等の事業を実施することにより、産業振興に寄与し、活力あるまちづくりにつなげる	767	767	767	767	3,068	
茅室町	町観光・特産品普及事業	農業者、商工業者等で構成された団体が行う、長期の地域経済効果が期待できる新商品開発事業、PR事業に対する助成	50	50	50	50	200	
中札内村	公益財団法人とかち財団運営負担金	十勝地域におけるものづくりの技術開発や技術指導、起業・創業支援、産学官連携や異業種交流など、総合的な支援拠点となる（公財）とかち財団に対する支援	229	229	229	229	916	
更別村	公益財団法人とかち財団運営負担金	十勝地域におけるものづくりの技術開発や技術指導、起業・創業支援、産学官連携や異業種交流など、総合的な支援拠点となる（公財）とかち財団に対する支援	178	178	178	178	712	
大樹町	公益財団法人とかち財団運営負担金	十勝地域におけるものづくりの技術開発や技術指導、起業・創業支援、産学官連携や異業種交流など、総合的な支援拠点となる（公財）とかち財団に対する支援	375	375	375	375	1,500	
大樹町	地場産品研究センター事業	町内に設置した地場産品研究センターでの農水産物の付加価値向上の取り組みに対する支援	2,040	2,040	2,040	2,040	8,160	
広尾町	おいしい町づくりの会委託事業	広尾町で生産される特産品の品質向上と食の安全性向上を目指し、「食」を中心とした活動を通じた地域ブランドの開発を行う会に対する支援	500	0	0	0	500	
広尾町	公益財団法人とかち財団運営負担金	十勝地域におけるものづくりの技術開発や技術指導、起業・創業支援、産学官連携や異業種交流など、総合的な支援拠点となる（公財）とかち財団に対する支援	509	509	509	509	2,036	
幕別町	公益財団法人とかち財団運営負担金	十勝地域におけるものづくりの技術開発や技術指導、起業・創業支援、産学官連携や異業種交流など、総合的な支援拠点となる（公財）とかち財団に対する支援	1,872	1,872	1,872	1,872	7,488	
池田町	公益財団法人とかち財団運営負担金	十勝地域におけるものづくりの技術開発や技術指導、起業・創業支援、産学官連携や異業種交流など、総合的な支援拠点となる（財）とかち財団に対する支援	482	482	482	482	1,928	
豊頃町	公益財団法人とかち財団運営負担金	十勝地域におけるものづくりの技術開発や技術指導、起業・創業支援、産学官連携や異業種交流など、総合的な支援拠点となる（公財）とかち財団に対する支援	239	239	239	239	956	
豊頃町	産業振興事業補助金	地域ブランドの確立に向け、農・林・水産業事業者や商工業事業者、新規起業家、異業種進出者、新製品を開発しようとする者などへ支援を行い、町内産業基盤の強化発展と活性化を図る	5,000	5,000	5,000	5,000	20,000	
豊頃町	物産販路拡大協議会補助金	豊頃町の農畜産物、海産物並びにこれらの加工品、製造品のブランド化と販路拡大に関する調査研究、事業の企画立案・実施等に対する補助	500	500	500	500	2,000	
本別町	公益財団法人とかち財団運営負担金	十勝地域におけるものづくりの技術開発や技術指導、起業・創業支援、産学官連携や異業種交流など、総合的な支援拠点となる（公財）とかち財団に対する支援	547	547	547	547	2,188	

本別町	ブランド化推進事業	町特産の「中生光黒大豆」を原料とした加工品のブランド化をめざした農業者や企業、行政が連携した新商品の開発や販路拡大	2,390	2,890	2,400	1,900	9,580	
本別町	キレイマメ生産原料確保事業	ブランド化を進めている「キレイマメ」の原料である中生光黒大豆の作付奨励	500	500	500	500	2,000	
足寄町	公益財団法人とかち財団運営負担金	十勝地域におけるものづくりの技術開発や技術指導、起業・創業支援、産学官連携や異業種交流など、総合的な支援拠点となる（公財）とかち財団に対する支援	505	505	505	505	2,020	
陸別町	公益財団法人とかち財団運営負担金	十勝地域におけるものづくりの技術開発や技術指導、起業・創業支援、産学官連携や異業種交流など、総合的な支援拠点となる（公財）とかち財団に対する支援	182	182	182	182	728	
陸別町	農畜産物製造販売事業	地元食材を使い地元の加工グループによる製品開発及び販売を促進	3,402	3,402	3,402	3,402	13,608	
浦幌町	公益財団法人とかち財団運営負担金	十勝地域におけるものづくりの技術開発や技術指導、起業・創業支援、産学官連携や異業種交流など、総合的な支援拠点となる（公財）とかち財団に対する支援	405	405	405	405	1,620	
合計			200,268	203,365	202,819	202,263	808,715	

4. 産業振興 (2) フードバレーとかちの推進 【取組概要：◎フードバレーとかちの推進】

市町村名	事業名	事業内容	事業費見込額 (単位：千円)					備 考
			H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	合 計	
帯広市	オール十勝でのプラットフォーム構築	十勝管内の市町村や関係団体が集まりフードバレーとかち推進協議会を設置し、オール十勝で「フードバレーとかち」を推進する	22,333	22,333	22,333	22,333	89,332	十勝バイオマス産業都市構想の推進を含む
帯広市	フードバレーとかち講演会の開催	フードバレーとかちに関する講演会の開催	130	130	130	130	520	
帯広市	十勝・イノベーション・エコシステム構築事業	域内外の人材触発により事業創発を目指す「とかち・イノベーション・プログラム」を中心とした起業家等の人材育成の推進	H27 補正の繰越明許により対応	未定	未定	未定	未定	フードバレーとかち人材育成事業、起業家育成事業、人材混血とかち・イノベーション・プログラム、事業計画高付加価値化
音更町	フードバレーとかち推進事業	十勝の食や農林水産業を中心とした地域産業施策「フードバレーとかち」の推進	-	-	-	-	0	十勝町村会で費用の一部を負担
音更町	十勝・イノベーション・エコシステム構築事業	域内外の人材触発により事業創発を目指す「とかち・イノベーション・プログラム」を中心とした起業家等の人材育成の推進	H27 補正の繰越明許により対応	未定	未定	未定	未定	とかち・イノベーション・プログラム
士幌町	フードバレーとかち推進事業	十勝の食や農林水産業を中心とした地域産業施策「フードバレーとかち」の推進	-	-	-	-	0	十勝町村会で費用の一部を負担
士幌町	十勝・イノベーション・エコシステム構築事業	域内外の人材触発により事業創発を目指す「とかち・イノベーション・プログラム」を中心とした起業家等の人材育成の推進	H27 補正の繰越明許により対応	未定	未定	未定	未定	とかち・イノベーション・プログラム
上士幌町	フードバレーとかち推進事業	十勝の食や農林水産業を中心とした地域産業施策「フードバレーとかち」の推進	-	-	-	-	0	十勝町村会で費用の一部を負担
上士幌町	十勝・イノベーション・エコシステム構築事業	域内外の人材触発により事業創発を目指す「とかち・イノベーション・プログラム」を中心とした起業家等の人材育成の推進	H27 補正の繰越明許により対応	未定	未定	未定	未定	とかち・イノベーション・プログラム
鹿追町	フードバレーとかち推進事業	十勝の食や農林水産業を中心とした地域産業施策「フードバレーとかち」の推進	-	-	-	-	0	十勝町村会で費用の一部を負担
鹿追町	十勝バイオマス産業都市構想の推進	家畜排せつ物を活用したメタン発酵によるバイオガス発電事業 バイオガス余剰熱利用 未利用バイオマスエネルギー利用とふん尿処理	210,241	210,241	210,241	210,241	840,964	
鹿追町	十勝・イノベーション・エコシステム構築事業	域内外の人材触発により事業創発を目指す「とかち・イノベーション・プログラム」を中心とした起業家等の人材育成の推進	H27 補正の繰越明許により対応	未定	未定	未定	未定	とかち・イノベーション・プログラム
新得町	フードバレーとかち推進事業	十勝の食や農林水産業を中心とした地域産業施策「フードバレーとかち」の推進	-	-	-	-	0	十勝町村会で費用の一部を負担
新得町	十勝・イノベーション・エコシステム構築事業	域内外の人材触発により事業創発を目指す「とかち・イノベーション・プログラム」を中心とした起業家等の人材育成の推進	H27 補正の繰越明許により対応	未定	未定	未定	未定	とかち・イノベーション・プログラム
清水町	フードバレーとかち推進事業	十勝の食や農林水産業を中心とした地域産業施策「フードバレーとかち」の推進	-	-	-	-	0	十勝町村会で費用の一部を負担
清水町	十勝・イノベーション・エコシステム構築事業	域内外の人材触発により事業創発を目指す「とかち・イノベーション・プログラム」を中心とした起業家等の人材育成の推進	H27 補正の繰越明許により対応	未定	未定	未定	未定	とかち・イノベーション・プログラム

茅室町	フードバレーとかち推進事業	十勝の食や農林水産業を中心とした地域産業施策「フードバレーとかち」の推進	-	-	-	-	0	十勝町村会で費用の一部を負担
茅室町	十勝・イノベーション・エコシステム構築事業	域内外の人材触発により事業創発を目指す「とかち・イノベーション・プログラム」を中心とした起業家等の人材育成の推進	H27 補正の繰越明許により対応	未定	未定	未定	未定	とかち・イノベーション・プログラム
中札内村	フードバレーとかち推進事業	十勝の食や農林水産業を中心とした地域産業施策「フードバレーとかち」の推進	-	-	-	-	0	十勝町村会で費用の一部を負担
中札内村	十勝・イノベーション・エコシステム構築事業	域内外の人材触発により事業創発を目指す「とかち・イノベーション・プログラム」を中心とした起業家等の人材育成の推進	H27 補正の繰越明許により対応	未定	未定	未定	未定	とかち・イノベーション・プログラム
更別村	フードバレーとかち推進事業	十勝の食や農林水産業を中心とした地域産業施策「フードバレーとかち」の推進	-	-	-	-	0	十勝町村会で費用の一部を負担
更別村	十勝・イノベーション・エコシステム構築事業	域内外の人材触発により事業創発を目指す「とかち・イノベーション・プログラム」を中心とした起業家等の人材育成の推進	H27 補正の繰越明許により対応	未定	未定	未定	未定	とかち・イノベーション・プログラム
大樹町	フードバレーとかち推進事業	十勝の食や農林水産業を中心とした地域産業施策「フードバレーとかち」の推進	-	-	-	-	0	十勝町村会で費用の一部を負担
大樹町	十勝バイオマス産業都市構想の推進	家畜排せつ物を活用したメタン発酵によるバイオガス発電事業	2,040	1,681	952	789	5,462	民間事業者による実施
大樹町	十勝・イノベーション・エコシステム構築事業	域内外の人材触発により事業創発を目指す「とかち・イノベーション・プログラム」を中心とした起業家等の人材育成の推進	H27 補正の繰越明許により対応	未定	未定	未定	未定	とかち・イノベーション・プログラム
広尾町	フードバレーとかち推進事業	十勝の食や農林水産業を中心とした地域産業施策「フードバレーとかち」の推進	-	-	-	-	0	十勝町村会で費用の一部を負担
広尾町	十勝・イノベーション・エコシステム構築事業	域内外の人材触発により事業創発を目指す「とかち・イノベーション・プログラム」を中心とした起業家等の人材育成の推進	H27 補正の繰越明許により対応	未定	未定	未定	未定	とかち・イノベーション・プログラム
幕別町	フードバレーとかち推進事業	十勝の食や農林水産業を中心とした地域産業施策「フードバレーとかち」の推進	-	-	-	-	0	十勝町村会で費用の一部を負担
幕別町	十勝・イノベーション・エコシステム構築事業	域内外の人材触発により事業創発を目指す「とかち・イノベーション・プログラム」を中心とした起業家等の人材育成の推進	H27 補正の繰越明許により対応	未定	未定	未定	未定	とかち・イノベーション・プログラム
池田町	フードバレーとかち推進事業	十勝の食や農林水産業を中心とした地域産業施策「フードバレーとかち」の推進	-	-	-	-	0	十勝町村会で費用の一部を負担
池田町	十勝・イノベーション・エコシステム構築事業	域内外の人材触発により事業創発を目指す「とかち・イノベーション・プログラム」を中心とした起業家等の人材育成の推進	H27 補正の繰越明許により対応	未定	未定	未定	未定	とかち・イノベーション・プログラム
豊頃町	フードバレーとかち推進事業	十勝の食や農林水産業を中心とした地域産業施策「フードバレーとかち」の推進	-	-	-	-	0	十勝町村会で費用の一部を負担
豊頃町	十勝・イノベーション・エコシステム構築事業	域内外の人材触発により事業創発を目指す「とかち・イノベーション・プログラム」を中心とした起業家等の人材育成の推進	H27 補正の繰越明許により対応	未定	未定	未定	未定	とかち・イノベーション・プログラム

本別町	フードバレーとかち推進事業	十勝の食や農林水産業を中心とした地域産業施策「フードバレーとかち」の推進	-	-	-	-	0	十勝町村会で費用の一部を負担
本別町	十勝・イノベーション・エコシステム構築事業	域内外の人材触発により事業創発を目指す「とかち・イノベーション・プログラム」を中心とした起業家等の人材育成の推進	H27 補正の繰越明許により対応	未定	未定	未定	未定	とかち・イノベーション・プログラム
足寄町	フードバレーとかち推進事業	十勝の食や農林水産業を中心とした地域産業施策「フードバレーとかち」の推進	-	-	-	-	0	十勝町村会で費用の一部を負担
足寄町	十勝バイオマス産業都市構想の推進	熱利用を中心としたバイオマス資源の活用	0	1,100,000	0	0	1,100,000	
足寄町	十勝・イノベーション・エコシステム構築事業	域内外の人材触発により事業創発を目指す「とかち・イノベーション・プログラム」を中心とした起業家等の人材育成の推進	H27 補正の繰越明許により対応	未定	未定	未定	未定	とかち・イノベーション・プログラム
陸別町	フードバレーとかち推進事業	十勝の食や農林水産業を中心とした地域産業施策「フードバレーとかち」の推進	-	-	-	-	0	十勝町村会で費用の一部を負担
陸別町	バイオマス関係調査事業	家畜糞尿によるバイオマス事業の調査費用の助成	2,000	2,000	2,000	2,000	8,000	
陸別町	十勝・イノベーション・エコシステム構築事業	域内外の人材触発により事業創発を目指す「とかち・イノベーション・プログラム」を中心とした起業家等の人材育成の推進	H27 補正の繰越明許により対応	未定	未定	未定	未定	とかち・イノベーション・プログラム
浦幌町	フードバレーとかち推進事業	十勝の食や農林水産業を中心とした地域産業施策「フードバレーとかち」の推進	-	-	-	-	0	十勝町村会で費用の一部を負担
浦幌町	十勝・イノベーション・エコシステム構築事業	域内外の人材触発により事業創発を目指す「とかち・イノベーション・プログラム」を中心とした起業家等の人材育成の推進	H27 補正の繰越明許により対応	未定	未定	未定	未定	とかち・イノベーション・プログラム
合 計			236,744	1,336,385	235,656	235,493	2,044,278	

4. 産業振興 (3) 企業立地の推進 【取組概要：◎圏域が一体となった誘致活動の実施】

市町村名	事業名	事業内容	事業費見込額 (単位：千円)					備 考
			H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	合 計	
帯広市	十勝地域産業活性化協議会負担金	管内市町村で構成する協議会が実施する事業の負担金	539	539	539	539	2,156	
音更町	十勝地域産業活性化協議会負担金	管内市町村で構成する協議会が実施する事業の負担金	201	201	201	201	804	
士幌町	十勝地域産業活性化協議会負担金	管内市町村で構成する協議会が実施する事業の負担金	94	94	94	94	376	
上士幌町	十勝地域産業活性化協議会負担金	管内市町村で構成する協議会が実施する事業の負担金	90	90	90	90	360	
鹿追町	十勝地域産業活性化協議会負担金	管内市町村で構成する協議会が実施する事業の負担金	91	91	91	91	364	
新得町	十勝地域産業活性化協議会負担金	管内市町村で構成する協議会が実施する事業の負担金	93	93	93	93	372	
清水町	十勝地域産業活性化協議会負担金	管内市町村で構成する協議会が実施する事業の負担金	103	103	103	103	412	
芽室町	十勝地域産業活性化協議会負担金	管内市町村で構成する協議会が実施する事業の負担金	129	129	129	129	516	
中札内村	十勝地域産業活性化協議会負担金	管内市町村で構成する協議会が実施する事業の負担金	87	87	87	87	348	
更別村	十勝地域産業活性化協議会負担金	管内市町村で構成する協議会が実施する事業の負担金	85	85	85	85	340	
大樹町	十勝地域産業活性化協議会負担金	管内市町村で構成する協議会が実施する事業の負担金	92	92	92	92	368	
広尾町	十勝地域産業活性化協議会負担金	管内市町村で構成する協議会が実施する事業の負担金	97	97	97	97	388	
幕別町	十勝地域産業活性化協議会負担金	管内市町村で構成する協議会が実施する事業の負担金	152	152	152	152	608	
池田町	十勝地域産業活性化協議会負担金	管内市町村で構成する協議会が実施する事業の負担金	96	96	96	96	384	
豊頃町	十勝地域産業活性化協議会負担金	管内市町村で構成する協議会が実施する事業の負担金	85	85	85	85	340	
本別町	十勝地域産業活性化協議会負担金	管内市町村で構成する協議会が実施する事業の負担金	97	97	97	97	388	
足寄町	十勝地域産業活性化協議会負担金	管内市町村で構成する協議会が実施する事業の負担金	96	96	96	96	384	
陸別町	十勝地域産業活性化協議会負担金	管内市町村で構成する協議会が実施する事業の負担金	83	83	83	83	332	
浦幌町	十勝地域産業活性化協議会負担金	管内市町村で構成する協議会が実施する事業の負担金	90	90	90	90	360	
合 計			2,400	2,400	2,400	2,400	9,600	

4. 産業振興 （４）中小企業勤労者の福祉向上 【取組概要：◎とかち勤労者共済センターへの支援と加入促進】

市町村名	事業名	事業内容	事業費見込額（単位：千円）					備 考
			H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	合 計	
帯広市	とかち勤労者共済センター負担金	とかち勤労者共済センターへの支援などによる、労働者の健康保持増進などの福利厚生への促進	2,691	2,691	2,691	2,691	10,764	
音更町	とかち勤労者共済センター負担金	とかち勤労者共済センターへの支援などによる、労働者の健康保持増進などの福利厚生への促進	564	564	564	564	2,256	
音更町	中小企業従業員福祉増進事業	中小企業に就業する従業員の福祉の増進を図るため、退職金共済制度の掛金の一部を助成する。	3,000	3,000	3,000	3,000	12,000	
士幌町	とかち勤労者共済センター負担金	とかち勤労者共済センターへの支援などによる、労働者の健康保持増進などの福利厚生への促進	95	95	95	95	380	
士幌町	退職金共済制度加入促進事業	退職金共済制度加入の事業主に対する助成	2,000	2,000	2,000	2,000	8,000	
上士幌町	とかち勤労者共済センター負担金	とかち勤労者共済センターへの支援などによる、労働者の健康保持増進などの福利厚生への促進	75	75	75	75	300	
上士幌町	勤労者生活資金原資預託金	町内勤労者への生活資金貸付金の低利融資	10,000	10,000	10,000	10,000	40,000	
鹿追町	とかち勤労者共済センター負担金	とかち勤労者共済センターへの支援などによる、労働者の健康保持増進などの福利厚生への促進	73	73	73	73	292	
鹿追町	労働者貸付金	町内勤労者への生活資金貸付金の低利融資	2,000	2,000	2,000	2,000	8,000	
新得町	とかち勤労者共済センター負担金	とかち勤労者共済センターへの支援などによる、労働者の健康保持増進などの福利厚生への促進	99	99	99	99	396	
新得町	労働者融資	町内勤労者への生活資金貸付金の低利融資	10,000	10,000	10,000	10,000	40,000	
清水町	とかち勤労者共済センター負担金	とかち勤労者共済センターへの支援などによる、労働者の健康保持増進などの福利厚生への促進	149	149	149	149	596	
清水町	ハーモニープラザ担い手交流センター借上料	町内企業等の勤労者が加盟する連合組織の活動拠点として、ハーモニープラザ担い手交流センターの借上料等で支援	100	100	100	100	400	
芽室町	とかち勤労者共済センター負担金	とかち勤労者共済センターへの支援などによる、労働者の健康保持増進などの福利厚生への促進	285	285	285	285	1,140	
中札内村	とかち勤労者共済センター負担金	とかち勤労者共済センターへの支援などによる、労働者の健康保持増進などの福利厚生への促進	70	70	70	70	280	
中札内村	労働者貸付金事業	村内勤労者への生活資金貸付金の低利融資	2,000	2,000	2,000	2,000	8,000	
更別村	とかち勤労者共済センター負担金	とかち勤労者共済センターへの支援などによる、労働者の健康保持増進などの福利厚生への促進	44	44	44	44	176	
大樹町	とかち勤労者共済センター負担金	とかち勤労者共済センターへの支援などによる、労働者の健康保持増進などの福利厚生への促進	89	89	89	89	356	
広尾町	とかち勤労者共済センター負担金	とかち勤労者共済センターへの支援などによる、労働者の健康保持増進などの福利厚生への促進	111	110	110	110	441	
広尾町	中小企業従業員福祉増進事業	中小企業に就業する従業員の福祉の増進を図るため、退職金共済制度の掛金の一部を助成する。	4,370	4,370	4,370	4,370	17,480	
幕別町	とかち勤労者共済センター負担金	とかち勤労者共済センターへの支援などによる、労働者の健康保持増進などの福利厚生への促進	345	345	345	345	1,380	

幕別町	幕別町勤労者福祉資金貸付	町内勤労者への生活資金貸付金の低利融資	10,000	10,000	10,000	10,000	40,000	
幕別町	幕別町中小企業退職金共済制度加入促進事業	中小企業に就業する従業員の福祉の増進を図るため、退職金共済制度の掛金の一部を助成する。	4,000	4,000	4,000	4,000	16,000	
池田町	とかち勤労者共済センター負担金	とかち勤労者共済センターへの支援などによる、労働者の健康保持増進などの福利厚生への促進	98	98	98	98	392	
池田町	労働者貸付金	町内勤労者への生活資金貸付金の低利融資	200	200	200	200	800	
豊頃町	とかち勤労者共済センター負担金	とかち勤労者共済センターへの支援などによる、労働者の健康保持増進などの福利厚生への促進 あおぞら共催加入事業所への補助	212	212	212	212	848	
本別町	とかち勤労者共済センター負担金	とかち勤労者共済センターへの支援などによる、労働者の健康保持増進などの福利厚生への促進	111	111	111	111	444	
本別町	本別町中小企業勤労者福祉加入奨励補助金	あおぞら共済加入事業所への補助	528	528	528	528	2,112	
足寄町	とかち勤労者共済センター負担金	とかち勤労者共済センターへの支援などによる、労働者の健康保持増進などの福利厚生への促進	100	100	100	100	400	
足寄町	足寄町中小企業勤労者福祉加入奨励補助金	あおぞら共済加入事業所への補助	55	55	55	55	220	
陸別町	とかち勤労者共済センター負担金	とかち勤労者共済センターへの支援などによる、労働者の健康保持増進などの福利厚生への促進	38	38	38	38	152	
陸別町	とかち勤労者共済センター事業加入企業者に対する助成	新規加入者に対し、3ヶ年、掛金に2分の1を助成	24	24	24	24	96	
浦幌町	とかち勤労者共済センター負担金	とかち勤労者共済センターへの支援などによる、労働者の健康保持増進などの福利厚生への促進	73	73	73	73	292	
浦幌町	浦幌町中小企業勤労者福利厚生共済加入奨励補助金	あおぞら共済加入事業所への補助	552	650	700	750	2,652	
合 計			54,151	54,248	54,298	54,348	217,045	

４．産業振興 （５）広域観光の推進 【取組概要：◎イベント等の実施 ◎観光情報の発信 ◎観光客が周遊しやすい環境の構築】

市町村名	事業名	事業内容	事業費見込額（単位：千円）					備 考
			H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	合 計	
帯広市	十勝観光連盟事業	観光プロモーションや人材育成研修会など、十勝観光連盟の事業への参加	5,875	5,875	5,875	5,875	23,500	
帯広市	観光案内所運営事業	とから観光情報センターやとから帯広空港観光案内所の運営支援	34,408	34,408	34,408	34,408	137,632	
帯広市	観光推進団体支援事業	各種観光推進団体が実施する各種事業への支援 ・帯広観光コンベンション協会 ・とから帯広空港利用促進協議会 など	133,400	133,400	133,400	133,400	533,600	
音更町	十勝観光連盟事業	観光プロモーションや人材育成研修会など、十勝観光連盟の事業への参加	750	750	750	750	3,000	
音更町	観光推進団体支援事業	観光推進団体が実施する各種事業への支援（※２次交通対策支援補助含） ・音更町十勝川温泉観光協会	27,350	25,000	25,000	25,000	102,350	
音更町	グリーンツーリズム事業	大型宿泊施設利用型（音更型）農業体験受入農家支援（仮設トイレ臨時設置）	100	100	100	100	400	
音更町	北十勝４町広域観光振興事業	北十勝４町による広域観光ＰＲ事業	600	600	600	600	2,400	
士幌町	十勝観光連盟事業	観光プロモーションや人材育成研修会など、十勝観光連盟の事業への参加	509	509	509	509	2,036	
士幌町	北十勝４町広域観光振興事業	北十勝４町による広域観光ＰＲ事業	600	600	600	600	2,400	
士幌町	観光案内所運営事業	道の駅ピア２１しほろや道の駅しほろ温泉での観光案内支援	3,024	3,024	3,024	3,024	12,096	
士幌町	しほろ収穫祭事業	食関連イベント「しほろ収穫祭」の開催	1,000	1,000	1,000	1,000	4,000	
上士幌町	十勝観光連盟事業	観光プロモーションや人材育成研修会など、十勝観光連盟の事業への参加	650	650	650	650	2,600	
上士幌町	北十勝４町広域観光振興事業	北十勝４町による広域観光ＰＲ事業	600	600	600	600	2,400	
鹿追町	十勝観光連盟事業	観光プロモーションや人材育成研修会など、十勝観光連盟の事業への参加	758	758	758	758	3,032	
鹿追町	観光案内所運営事業	道の駅「しかおい」での観光案内実施支援	2,400	2,400	2,400	2,400	9,600	
鹿追町	観光推進団体支援事業	観光推進団体が実施する各種事業への支援 ・鹿追町観光協会 ・北十勝４町広域観光振興連絡協議会	18,000	18,000	18,000	18,000	72,000	
鹿追町	北十勝４町広域観光振興事業	北十勝４町による広域観光ＰＲ事業	600	600	600	600	2,400	
新得町	十勝観光連盟事業	観光プロモーションや人材育成研修会など、十勝観光連盟の事業への参加	967	967	967	967	3,868	
新得町	観光案内所運営事業	JＲ新得駅での観光案内実施支援	1,029	1,029	1,029	1,029	4,116	
新得町	観光推進団体支援事業	観光推進団体が実施する各種事業への支援 ・新得町観光協会	13,868	8,860	8,860	8,860	40,448	
新得町	新そば祭り事業	しんとく新そば祭りに対する補助金	14,000	5,000	5,000	5,000	29,000	
清水町	十勝観光連盟事業	観光プロモーションや人材育成研修会など、十勝観光連盟の事業への参加	619	619	619	619	2,476	
清水町	観光推進団体支援事業	観光推進団体が実施する各種事業への支援 ・清水町観光協会	5,577	2,266	2,266	2,266	12,375	

芽室町	観光推進団体支援事業	観光推進団体が実施する各種事業への支援（十勝観光連盟負担金含む）	9,553	9,553	9,553	9,553	38,212	
中札内村	観光推進団体支援事業	観光推進団体が実施する各種事業への支援 ・中札内村観光協会（十勝観光連盟負担金含む）	H27 補正の繰越明許により対応	15,823	15,823	15,823	47,469	
更別村	十勝観光連盟事業	観光プロモーションや人材育成研修会など、十勝観光連盟の事業への参加	411	411	411	411	1,644	
更別村	観光推進団体支援事業	観光推進団体が実施する各種事業への支援 ・更別村観光協会	3,832	3,832	3,832	3,832	15,328	
大樹町	十勝観光連盟事業	観光プロモーションや人材育成研修会など、十勝観光連盟の事業への参加	494	494	494	494	1,976	
大樹町	観光推進団体支援事業	観光推進団体が実施する各種事業への支援 ・大樹町観光協会	11,396	11,396	11,396	11,396	45,584	
広尾町	広域観光の推進	(旧北海道観光振興機構や十勝観光連盟、南十勝夢街道（シーニックバイウェイ）、えりも、浦河、様似との広域宣伝協議会との連携（十勝観光連盟負担金含む）	3,850	1,750	1,750	1,750	9,100	
広尾町	観光案内施設、情報発信の充実	観光案内所の未設置により大丸山森林公園で代替実施	3,369	3,400	3,400	3,400	13,569	
幕別町	観光推進団体支援事業	観光推進団体が実施する各種事業への支援 ・幕別町観光物産協会 ・十勝観光連盟（十勝観光連盟負担金含む）	11,000	11,100	10,700	11,100	43,900	
池田町	十勝観光連盟事業	観光プロモーションや人材育成研修会など、十勝観光連盟の事業への参加	405	405	405	405	1,620	
池田町	観光推進団体支援事業	観光推進団体が実施する各種事業への支援 ・池田町観光協会	10,141	10,000	10,000	10,000	40,141	
豊頃町	十勝観光連盟事業	観光プロモーションや人材育成研修会など、十勝観光連盟の事業への参加	408	408	408	408	1,632	
豊頃町	観光推進団体支援事業	観光推進団体が実施する各種事業への支援 ・豊頃町観光協会（こうふく観光プロジェクト支援）	4,060	4,060	4,060	4,060	16,240	
本別町	十勝観光連盟事業	観光プロモーションや人材育成研修会など、十勝観光連盟の事業への参加	577	577	577	577	2,308	
本別町	観光団体支援事業	観光推進団体が実施する各種事業への支援 ・本別町観光協会	6,605	9,765	9,765	9,765	35,900	
本別町	観光交流事業	各種イベントに対する助成（きらめきタウンフェスティバル）	1,624	10,000	10,000	10,000	31,624	
本別町	特産品アンテナショップ開設事業	年間7万人が来場する本別町観光情報センターのアンテナショップの開設	67	3,951	0	0	4,018	
本別町	観光調査・施設等整備事業	観光客のニーズ分析に基づいた戦略的マーケティングを行うための入込動態調査研究や拠点施設の整備	899	0	0	0	899	
足寄町	十勝観光連盟事業	観光プロモーションや人材育成研修会など、十勝観光連盟の事業への参加	265	265	265	265	1,060	
足寄町	観光推進団体支援事業	本町の観光振興事業を展開しているNP0法人あしよ観光協会への補助金	9,500	9,500	9,500	9,500	38,000	
足寄町	さっぽろオータムフェスト出店事業	さっぽろオータムフェストに出店し、町の特産品や加工製品をPR	306	306	306	306	1,224	
陸別町	十勝観光連盟事業	観光プロモーションや人材育成研修会など、十勝観光連盟の事業への参加	456	456	456	456	1,824	

陸別町	観光推進団体支援事業	観光推進団体が実施する各種事業への支援 ・陸別町観光協会	4,548	4,548	4,548	4,548	18,192	
陸別町	観光交流事業	各種イベントに対する助成（しばれフェスティバル、オフロードレース大会、サマーインリくべつ）	9,670	9,670	9,670	9,670	38,680	
陸別町	観光・案内事業	道の駅「オーロラタウン93りくべつ」での観光案内業務	1,000	1,000	1,000	1,000	4,000	
浦幌町	観光推進団体支援事業	観光推進団体が実施する各種事業への支援 ・浦幌町観光協会	5,500	5,500	5,500	6,000	22,500	
浦幌町	十勝観光連盟事業	観光プロモーションや人材育成研修会など、十勝観光連盟の事業への参加	502	502	502	502	2,008	
合 計			367,122	375,687	371,336	372,236	1,486,381	

４．産業振興 （６）農業振興と担い手の育成 【取組概要：◎農業振興に関する広域的な取り組みの実施 ◎地域の担い手の確保・育成】

市町村名	事業名	事業内容	事業費見込額（単位：千円）					備 考
			H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	合 計	
帯広市	担い手育成支援事業	新規就農者、農家後継者に対する農業技術や経営能力向上等に係る各種研修の実施	300	300	300	300	1,200	
帯広市	家畜衛生対策事業	家畜伝染病の発生を予防するための、予防接種の補助や防疫資材の備蓄	1,619	1,619	1,619	1,619	6,476	
帯広市	十勝型生産技術基盤形成事業	オール十勝での展開を見据えた、農産物の安全安心スタンダード生産モデルの構築や新規作物の栽培試験を実施	6,417	6,417	6,417	6,417	25,668	
帯広市	土壌分析・飼料分析促進事業	土壌分析に基づく効率的な施肥管理による減化学肥料栽培の促進及び、自給粗飼料の調査分析による生産力向上の促進	7,978	7,978	7,978	7,978	31,912	
帯広市	営農技術向上対策事業	生産技術向上のための新技術研究促進支援	360	360	360	360	1,440	
帯広市	有機循環システムの構築	良質堆肥製造・施用効果試験の実施、土づくりと堆肥活用研修の実施	5,143	5,143	5,143	5,143	20,572	
帯広市	環境保全型農業の拡充	化学肥料・農薬の５割低減や有機農業に取り組む農家への支援	41,514	41,514	41,514	41,514	166,056	
帯広市	飼料自給率向上対策事業	コントラクターの育成支援	20	20	20	20	80	
帯広市	ＩＴ農業の推進	農業分野へのＩＴ導入の普及促進	4,500	4,500	4,500	4,500	18,000	
帯広市	黒毛和牛生産振興事業	「十勝和牛素牛」の生産技術の普及	5,402	5,402	5,402	5,402	21,608	
音更町	担い手育成支援事業	音更町農業年輪塾の実施 ・１期２年 ・２年目に海外研修補助	3,800	600	4,000	600	9,000	
士幌町	農業振興事業	農業者・農業団体の育成や指導体制の整備強化などによる農業振興	28,648	28,648	28,648	28,648	114,592	
士幌町	農業振興人材育成事業	人材育成や農業振興にかかわる研究・開発に対する助成や優良事例等の顕彰	4,035	4,035	4,035	4,035	16,140	
上士幌町	農業振興事業	就農者に対する支援や人材育成に対する補助の実施	6,510	6,510	6,510	6,510	26,040	
鹿追町	営農技術向上対策	試験圃場における品種比較試験、新規作物栽培試験や肥料・農薬試験の実施	90	90	90	90	360	
鹿追町	担い手育成支援事業	新規農業後継者のための農業塾の開催	1,118	1,118	1,118	1,118	4,472	
鹿追町	家畜伝染病自衛防疫事業	家畜伝染病の予防、ワクチン接種の補助	2,600	2,600	2,600	2,600	10,400	
鹿追町	畜産振興事業	乳牛の経済検定事業の実施	3,000	3,000	3,000	3,000	12,000	
鹿追町	専任酪農ヘルパー事業	酪農ヘルパーへの運営補助	3,042	3,042	3,042	3,042	12,168	
新得町	冬期営農講座の実施	人材育成のための合同講習会等の実施	30	30	30	30	120	
新得町	レディースファームスクール事業	女性の農業担い手育成を目的とした農業研修の実施	16,725	12,135	12,135	12,135	53,130	
清水町	畑作総合振興事業	病害虫・残留農薬対策、新規作物栽培支援やブランド化対策など畑作物に対する総合的な支援	14,680	18,780	18,280	4,580	56,320	
清水町	土壌分析・飼料分析促進事業	土壌分析に基づく効率的な施肥管理による減化学肥料栽培の促進	350	350	350	350	1,400	

清水町	清水営農対策協議会負担金	農業関係機関による技術向上対策、合同作況調査、良質堆肥事業、安全安心生産モデルの構築等の実施支援	224	224	224	224	896	
清水町	地域農業再生協議会負担金	担い手育成研修会、技術講習会、親子ふれあい農園（ファームスクール）の実施支援	1,890	1,890	1,890	1,890	7,560	
茅室町	家畜衛生管理事業	家畜衛生検査や防疫施設への補助を実施	6,146	6,146	6,146	6,146	24,584	
茅室町	酪農ヘルパー支援事業	傷病時の酪農ヘルパー利用に対する補助	360	360	360	360	1,440	
茅室町	農業担い手育成事業	後継者育成事業に対する補助や生産者グループ活動支援の実施	7,590	7,590	7,590	7,590	30,360	
中札内村	担い手育成支援事業	新規就農者、農業後継者に対する各種研修と経営改善・能力向上支援活動を実施する施設及び団体に対する支援	1,800	1,800	1,800	1,800	7,200	
中札内村	家畜衛生対策事業	家畜の疾病発生予防に関する事業実施団体である家畜自衛防疫組合の支援及び牛サルモネラ病予防接種費用の一部補助	5,950	5,950	5,950	5,150	23,000	
更別村	農業経営・生産対策推進会議負担金	団体活動に対する運営負担金	643	698	698	698	2,737	
更別村	農業担い手育成センター負担金	団体活動に対する運営負担金	655	655	655	655	2,620	
更別村	地域農業再生協議会負担金	団体活動に対する運営補助金	100	100	100	100	400	
大樹町	担い手育成支援事業	新規就農者、農家後継者に対する農業技術や経営能力向上等に係る各種研修の実施	3,367	3,367	3,367	940	11,041	
大樹町	家畜衛生対策事業	畜舎等防疫車の運航	4,900	4,900	4,900	4,900	19,600	
大樹町	酪農経営支援向上対策	酪農ヘルパー事業による酪農家の経営向上支援	2,800	2,800	2,800	2,800	11,200	
幕別町	農業振興公社運営費補助金	新規就農者、中堅後継者等を対象とした農業技術・経営等の研修を行う「まくべつ農村アカデミー」を実施する農業振興公社の運営費補助	9,684	9,684	9,684	9,684	38,736	
池田町	農業団体各種補助金	農業構造政策推進協議会及び十勝東部地区農業改良推進協議会に対する補助	332	332	332	332	1,328	
池田町	新規就農者支援育成事業	新規就農者の初期投資負担軽減のための支援	2,085	2,085	2,085	1,585	7,840	
豊頃町	家畜衛生対策事業	口蹄疫の防疫徹底と防疫資材の備蓄	500	500	500	500	2,000	
豊頃町	元気な土づくり対策事業	土壌分析等機器の購入費や土壌分析費に対する助成	700	700	700	700	2,800	
豊頃町	担い手育成支援事業	新規就農者、農業後継者に対する各種研修や配偶者対策の実施	400	400	400	400	1,600	
豊頃町	営農技術向上対策事業	営農技術の向上を図るため研修支援（広域研修）	70	70	70	70	280	
本別町	新規参入者確保連携強化事業	新規参入者に対する農業技術・経営研修や新規受入情報の提供・就農マッチング等の実施	530	530	530	530	2,120	
本別町	家畜衛生対策事業	町家畜自衛防疫組合の運営助成	50	50	50	50	200	

本別町	農業振興人材育成事業	農業後継者等の技術習得を図るための研修会経費等補助	1,056	1,076	1,076	1,076	4,284	
陸別町	陸別町農林推進協議会事業	農業後継者・新規就農者等を対象とした営農基本技術講習会開催	695	695	695	695	2,780	
陸別町	陸別町家畜衛生対策事業	家畜伝染病自衛防疫組合及び畜産クラスターに対する運営費助成	1,350	1,350	1,350	1,350	5,400	
浦幌町	新規就農者営農促進対策事業	就農時の設備等の負担軽減を目的とした奨励金等による新規就農者支援	2,196	3,134	3,134	3,000	11,464	
合 計			213,954	211,277	214,177	193,216	832,624	

4. 産業振興 (7) 鳥獣害防止対策の推進 【取組概要：◎鳥獣の駆除 ◎捕獲個体の適切な処理の検討】

市町村名	事業名	事業内容	事業費見込額 (単位：千円)					備 考
			H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	合 計	
帯広市	鳥獣害防止総合対策事業	圏域内の鳥獣害防止対策に関する情報交換を通じた効率的・効果的な駆除の推進	5,472	5,472	5,472	5,472	21,888	
音更町	鳥獣害防止総合対策事業	圏域内の鳥獣害防止対策に関する情報交換を通じた効率的・効果的な駆除の推進	7,411	6,485	6,485	6,485	26,866	
士幌町	鳥獣害防止総合対策事業	圏域内の鳥獣害防止対策に関する情報交換を通じた効率的・効果的な駆除の推進	3,833	3,833	3,833	3,833	15,332	
上士幌町	鳥獣害防止総合対策事業	圏域内の鳥獣害防止対策に関する情報交換を通じた効率的・効果的な駆除の推進	4,387	4,387	4,387	4,387	17,548	
鹿追町	鳥獣害防止総合対策事業	圏域内の鳥獣害防止対策に関する情報交換を通じた効率的・効果的な駆除の推進	4,187	4,187	4,187	4,187	16,748	
新得町	鳥獣害防止総合対策事業	圏域内の鳥獣害防止対策に関する情報交換を通じた効率的・効果的な駆除の推進	3,180	3,180	3,180	3,180	12,720	
清水町	鳥獣害防止総合対策事業	圏域内の鳥獣害防止対策に関する情報交換を通じた効率的・効果的な駆除の推進	6,728	6,728	6,728	6,728	26,912	電気柵設置補助、ワナ猟免許取得補助などの駆除支援含む
芽室町	鳥獣害防止総合対策事業	圏域内の鳥獣害防止対策に関する情報交換を通じた効率的・効果的な駆除の推進	14,910	14,910	14,910	14,910	59,640	有害鳥獣駆除員の設置含む
中札内村	鳥獣害防止総合対策事業	圏域内の鳥獣害防止対策に関する情報交換を通じた効率的・効果的な駆除の推進	7,664	7,664	7,664	7,664	30,656	
更別村	鳥獣害防止総合対策事業	圏域内の鳥獣害防止対策に関する情報交換を通じた効率的・効果的な駆除の推進	3,234	3,234	3,234	3,234	12,936	
大樹町	鳥獣害防止総合対策事業	圏域内の鳥獣害防止対策に関する情報交換を通じた効率的・効果的な駆除の推進	11,237	11,237	11,237	11,237	44,948	
広尾町	鳥獣害防止総合対策事業	圏域内の鳥獣害防止対策に関する情報交換を通じた効率的・効果的な駆除の推進	6,710	6,710	6,710	6,710	26,840	エゾシカ等有害駆除奨励金等の駆除支援含む
幕別町	鳥獣害防止総合対策事業	圏域内の鳥獣害防止対策に関する情報交換を通じた効率的・効果的な駆除の推進	735	735	735	735	2,940	
池田町	鳥獣害防止総合対策事業	圏域内の鳥獣害防止対策に関する情報交換を通じた効率的・効果的な駆除の推進	14,592	14,592	14,592	14,592	58,368	
豊頃町	鳥獣害防止総合対策事業	圏域内の鳥獣害防止対策に関する情報交換を通じた効率的・効果的な駆除の推進	5,214	5,214	5,214	5,214	20,856	有害鳥獣駆除補助金、狩猟免許・銃取得助成等の駆除支援含む
本別町	鳥獣害防止総合対策事業	圏域内の鳥獣害防止対策に関する情報交換を通じた効率的・効果的な駆除の推進	1,500	1,500	1,500	1,500	6,000	
足寄町	鳥獣害防止総合対策事業	圏域内の鳥獣害防止対策に関する情報交換を通じた効率的・効果的な駆除の推進	11,025	11,025	11,025	11,025	44,100	
陸別町	鳥獣害防止総合対策事業	圏域内の鳥獣害防止対策に関する情報交換を通じた効率的・効果的な駆除の推進	7,356	6,297	6,297	6,297	26,247	
浦幌町	鳥獣害防止総合対策事業	圏域内の鳥獣害防止対策に関する情報交換を通じた効率的・効果的な駆除の推進	8,771	8,771	8,771	8,771	35,084	
合 計			128,146	126,161	126,161	126,161	506,629	

4. 産業振興 (8) 航空宇宙産業基地構想の推進 【取組概要：◎十勝圏航空宇宙産業基地構想の推進】

市町村名	事業名	事業内容	事業費見込額 (単位：千円)					備 考
			H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	合 計	
帯広市	十勝圏航空宇宙産業基地構想の推進	十勝圏への航空宇宙産業基地誘致を目指した、調査・研究・要請活動ほか	356	356	356	356	1,424	
音更町	十勝圏航空宇宙産業基地構想の推進	十勝圏への航空宇宙産業基地誘致を目指した、調査・研究・要請活動ほか	14	14	14	14	56	
士幌町	十勝圏航空宇宙産業基地構想の推進	十勝圏への航空宇宙産業基地誘致を目指した、調査・研究・要請活動ほか	14	14	14	14	56	
上士幌町	十勝圏航空宇宙産業基地構想の推進	十勝圏への航空宇宙産業基地誘致を目指した、調査・研究・要請活動ほか	14	14	14	14	56	
鹿追町	十勝圏航空宇宙産業基地構想の推進	十勝圏への航空宇宙産業基地誘致を目指した、調査・研究・要請活動ほか	14	14	14	14	56	
新得町	十勝圏航空宇宙産業基地構想の推進	十勝圏への航空宇宙産業基地誘致を目指した、調査・研究・要請活動ほか	14	14	14	14	56	
清水町	十勝圏航空宇宙産業基地構想の推進	十勝圏への航空宇宙産業基地誘致を目指した、調査・研究・要請活動ほか	14	14	14	14	56	
芽室町	十勝圏航空宇宙産業基地構想の推進	十勝圏への航空宇宙産業基地誘致を目指した、調査・研究・要請活動ほか	14	14	14	14	56	
中札内村	十勝圏航空宇宙産業基地構想の推進	十勝圏への航空宇宙産業基地誘致を目指した、調査・研究・要請活動ほか	24	24	24	24	96	
更別村	十勝圏航空宇宙産業基地構想の推進	十勝圏への航空宇宙産業基地誘致を目指した、調査・研究・要請活動ほか	24	24	24	24	96	
大樹町	十勝圏航空宇宙産業基地構想の推進	十勝圏への航空宇宙産業基地誘致を目指した、調査・研究・要請活動ほか	3,319	3,319	3,319	3,319	13,276	
広尾町	十勝圏航空宇宙産業基地構想の推進	十勝圏への航空宇宙産業基地誘致を目指した、調査・研究・要請活動ほか	24	24	24	24	96	
幕別町	十勝圏航空宇宙産業基地構想の推進	十勝圏への航空宇宙産業基地誘致を目指した、調査・研究・要請活動ほか	24	24	24	24	96	
池田町	十勝圏航空宇宙産業基地構想の推進	十勝圏への航空宇宙産業基地誘致を目指した、調査・研究・要請活動ほか	14	14	14	14	56	
豊頃町	十勝圏航空宇宙産業基地構想の推進	十勝圏への航空宇宙産業基地誘致を目指した、調査・研究・要請活動ほか	34	34	34	34	136	
本別町	十勝圏航空宇宙産業基地構想の推進	十勝圏への航空宇宙産業基地誘致を目指した、調査・研究・要請活動ほか	14	14	14	14	56	
足寄町	十勝圏航空宇宙産業基地構想の推進	十勝圏への航空宇宙産業基地誘致を目指した、調査・研究・要請活動ほか	14	14	14	14	56	
陸別町	十勝圏航空宇宙産業基地構想の推進	十勝圏への航空宇宙産業基地誘致を目指した、調査・研究・要請活動ほか	14	14	14	14	56	
浦幌町	十勝圏航空宇宙産業基地構想の推進	十勝圏への航空宇宙産業基地誘致を目指した、調査・研究・要請活動ほか	14	14	14	14	56	
合 計			3,973	3,973	3,973	3,973	15,892	

５．環境 （１）地球温暖化防止に向けた低炭素社会の構築 【取組概要：◎環境意識の啓発 ◎再生可能エネルギー利用促進・省エネルギー機器の導入促進】

市町村名	事業名	事業内容	事業費見込額（単位：千円）					備 考
			H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	合 計	
帯広市	市民との連携促進事業	環境関連イベントや環境学習会を開催	332	332	332	332	1,328	
帯広市	住宅用太陽光発電システム導入補助事業	住宅に太陽光発電システムを設置する費用の一部を助成	15,000	15,000	15,000	15,000	60,000	
帯広市	木質ペレットストーブ導入補助事業	住宅に木質ペレットストーブを設置する費用の一部を助成	500	500	500	500	2,000	
帯広市	HEMS 導入補助事業	住宅にHEMS（ホームエネルギーマネジメントシステム）を設置する費用の一部を助成	420	420	420	420	1,680	
帯広市	道路照明灯省エネ化事業	既存の水銀灯を高圧ナトリウム灯（一部LED灯）に交換	24,300	29,565	24,300	0	78,165	
帯広市	防犯灯省エネ化事業	町内会管理の防犯灯の水銀灯について、LED等の省エネ型に更新する費用を助成	34,874	34,874	34,874	34,874	139,496	
音更町	環境行動への啓発活動及び環境行動事業	環境学習会やパネル展の実施、啓発パンフレット作成等を実施	323	323	323	323	1,292	
音更町	太陽光発電システム導入促進事業	住宅に太陽光発電システムを設置する費用の一部を助成	8,400	8,400	8,400	8,400	33,600	
音更町	木質ペレットストーブ導入促進事業	住宅及び事業所に木質ペレットストーブを設置する費用の一部を助成	200	200	200	200	800	
士幌町	住宅用太陽光発電システム導入事業	住宅に太陽光発電システムを設置する費用の一部を助成	2,000	2,000	2,000	2,000	8,000	
士幌町	環境マネジメントシステム運営支援事業	環境施策の監視や町の事務事業活動での環境配慮に取り組み、PDCAサイクルに基づき、運営状況の把握・改善を実施	659	659	659	659	2,636	
士幌町	環境教育講演会	講演会の開催	400	300	300	300	1,300	
士幌町	町民植樹祭の実施	植樹活動による環境意識の啓発	714	714	714	714	2,856	
上士幌町	住宅用太陽光発電システム導入支援事業	住宅に太陽光発電システムを設置する費用の一部を助成	1,600	1,600	1,600	1,600	6,400	
上士幌町	街路灯、防犯灯LED化事業	既設の街路灯、防犯灯をLED照明に交換	0	7,350	7,350	7,350	22,050	
鹿追町	住宅用太陽光発電設置助成事業	住宅に太陽光発電システムを設置する費用の一部を助成	4,000	4,000	4,000	4,000	16,000	
鹿追町	街路灯LED化事業	既設の街路灯をLED照明に交換	4,000	4,000	4,000	4,000	16,000	
新得町	住宅用太陽光発電システム導入支援事業	町内分譲地に建築される住宅に太陽光発電システムを設置する費用の一部を助成	830	830	830	830	3,320	
新得町	ペレットストーブ普及事業	公共施設に設置した木質ペレットストーブの維持費	220	220	220	220	880	
新得町	街路灯の省エネ化	既設の街路灯をLED灯に交換	10,000	10,000	10,000	10,000	40,000	
清水町	道路照明省エネ化事業	既設の街路灯をLED灯に交換	1,600	1,600	1,600	1,600	6,400	
芽室町	町民との連携促進事業	再生可能エネルギーの調査研究や普及啓発を実施	282	282	282	282	1,128	
芽室町	住宅用太陽光発電システム導入補助事業	住宅に太陽光発電システムを設置する費用の一部を助成	3,600	3,600	3,600	3,600	14,400	
芽室町	公共施設再生可能エネルギー導入事業	公共施設に太陽光発電システムやヒートポンプを導入	0	35,385	35,385	35,385	106,155	

芽室町	木質ペレット製造事業	剪定枝及び支障木等から木質ペレットを製造	2,621	2,621	2,621	2,621	10,484	
芽室町	省エネ街灯整備工事	街灯を省エネ型に更新	13,360	13,360	13,360	13,360	53,440	
芽室町	木質チップ製造事業	芽室町総合体育館のバイオマスボイラー用木質チップを製造	996	996	996	996	3,984	
中札内村	街路・防犯灯取替事業	既設の水銀灯を省エネタイプの照明灯に交換	8,610	8,610	8,610	8,610	34,440	
更別村	太陽光発電システム設置事業	住宅に太陽光発電システムを設置する費用の一部を助成	1,600	1,600	0	0	3,200	
大樹町	大樹型住宅建設支援事業（太陽光発電システム導入）	新築住宅に対して費用の一部を補助。太陽光発電システムを導入する場合に補助額を加算	0	4,500	4,500	4,500	13,500	
大樹町	住宅リフォーム支援事業（省エネルギー）	内窓サッシの設置等、省エネルギーを目的とした住宅リフォームに対して費用の一部を補助	1,000	1,000	1,000	1,000	4,000	
大樹町	木質バイオマスボイラー設置推進事業	公共施設に木質バイオマスボイラーを導入	0	79,500	70,000	76,500	226,000	
広尾町	街路灯新設事業	平成23年度新設を無電極放電灯で設置、平成24年度からはLED灯を設置	486	486	486	486	1,944	
広尾町	街路灯改修事業	既設の街路灯、防犯灯をLED灯に交換	1,350	1,350	1,350	1,350	5,400	
幕別町	街路灯及び防犯灯LED化事業	リースの手法により街路灯及び防犯灯の全灯をLEDに更新するため、事前調査として現状把握調査を実施	8,000	8,000	0	0	16,000	
幕別町	省エネ・新エネビジョン実施状況検証事業	省エネビジョン及び新エネビジョンの目標の達成度を検証し、今後の施策の方向性を検証	3,489	0	0	0	3,489	
池田町	住宅用太陽光発電システム導入補助事業	住宅に太陽光発電システムを設置する費用の一部を助成	750	750	750	750	3,000	
池田町	防犯灯省エネ化事業	既設防犯灯の水銀灯をLED、ナトリウム灯に交換（H24以降は交換済防犯灯の修繕）	2,295	2,295	2,295	2,295	9,180	
豊頃町	住宅用太陽光発電システム導入補助事業	住宅に太陽光発電システムを設置する費用の一部を助成	400	400	400	400	1,600	
豊頃町	街路灯及び防犯灯省エネ化事業	既設の街路灯、防犯灯をLED灯に交換	3,000	3,000	3,000	3,000	12,000	
本別町	住宅用太陽光発電システム導入費補助事業	住宅に太陽光発電システムを設置する費用の一部を助成	720	720	720	720	2,880	
足寄町	住宅用太陽光発電システム導入事業	住宅に太陽光発電システムを設置する費用の一部を助成	1,000	1,000	1,000	1,000	4,000	
足寄町	木質ペレット燃焼機器導入事業	住宅に木質ペレットストーブを設置する費用の一部を助成	1,000	2,000	2,000	2,000	7,000	
足寄町	防犯灯LED化事業	既設防犯灯の水銀灯について、LED灯等の省エネ型に交換	54,050	32,900	31,300	22,000	140,250	
陸別町	太陽光発電普及事業	住宅に太陽光発電システムを設置する費用の一部を助成	1,000	1,000	1,000	1,000	4,000	
陸別町	街路灯及び防犯灯省エネ化事業	既設防犯灯について、LED灯等の省エネ型に交換	11,352	11,352	11,352	11,352	45,408	
浦幌町	住宅用太陽光発電システム導入補助事業	住宅に太陽光発電システムを設置する費用の一部を助成	2,500	2,500	2,500	2,500	10,000	
浦幌町	木質ペレットストーブ購入費補助事業	住宅に木質ペレットストーブを設置する費用の一部を助成	1,000	1,000	1,000	1,000	4,000	
合 計			234,833	343,094	317,129	290,029	1,185,085	

6. 防災 （１）地域防災体制の構築 【取組概要：◎市町村の相互応援体制の整備 ◎防災体制の充実】

市町村名	事業名	事業内容	事業費見込額（単位：千円）					備 考
			H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	合 計	
帯広市	防災意識普及啓発事業	防災に関する講座や防災訓練などを通して、防災意識の向上を図る	4,328	4,328	4,328	4,328	17,312	
帯広市	災害用備蓄品整備事業	大規模災害に備え、初期対応に必要な食料及び機材を備蓄するため、災害用備蓄品の購入、更新を行う	2,020	2,020	2,020	2,020	8,080	
帯広市	地域防災広報・通信体制整備事業	災害・緊急時の情報収集、連絡体制の充実を図り、災害時における各種対応に備える	4,046	4,046	4,046	4,046	16,184	
帯広市	自主防災組織育成事業	自主防災組織の結成及び育成を図り、災害時の防災活動の円滑化を図るとともに、地域の相互協力体制を構築する	4,457	4,457	4,457	4,457	17,828	
帯広市	防災事務	帯広市防災会議等を開催し、地域内の防災関係各機関と連携しながら、総合的かつ計画的な防災体制を確立する	325	325	325	325	1,300	
帯広市	避難場所掲示板整備事業	避難場所掲示板の更新、設置を進め、市民に避難場所の周知を図り、迅速かつ正確な避難体制を確立する	221	221	221	221	884	
帯広市	要援護者の避難支援体制整備事業	「おびひろ避難支援プラン」に基づき、災害時要援護者を把握し、市、地域、関係団体等の協働で、避難支援体制を確立する	3,302	3,302	3,302	3,302	13,208	
音更町	災害備蓄事業	災害時に備え、防災備蓄品の充実を図る	11,300	11,300	11,300	11,300	45,200	
音更町	自主防災組織活動用品整備事業	備蓄倉庫、レスキューセット、担架、リヤカー、工具を購入し、各自主防災組織に設置	2,594	2,594	2,594	2,594	10,376	
音更町	避難所備蓄倉庫整備事業	指定した収容避難所に備蓄庫の整備を推進し、年次計画で進めている非常食をはじめ、マット、毛布等避難生活に必要な物資類の備蓄をすすめる	5,992	5,992	5,992	5,992	23,968	
士幌町	災害備蓄事業	災害時に備え、防災備蓄品の充実を図る	762	762	762	762	3,048	
上士幌町	災害対策費	災害発生時用消耗品、食糧費、手数料、車両借り上げ、応急対策資材	1,176	1,176	1,176	1,176	4,704	
鹿追町	災害備蓄事業	災害時に備え、防災備蓄品の充実を図る	100	100	100	100	400	
鹿追町	防災無線の充実	街頭放送難聴地区の解消 無線受信機の購入助成	0	0	0	0	0	
鹿追町	防災事務経費	防災のしおり作成	未定	未定	未定	未定	未定	
新得町	災害備蓄事業	災害時に備え、防災備蓄品の充実を図る	0	150	0	350	500	
清水町	災害備蓄事業	災害時に備え、防災備蓄品の充実を図る	3,309	3,314	3,314	3,314	13,251	
清水町	防災事務経費	防災行政無線保守点検委託業務	389	396	396	396	1,577	
清水町	防災情報配信システム経費	メール配信やＦＡＸ配信サービスを利用し、災害情報の住民周知を図る	519	528	528	528	2,103	
芽室町	地域防災対策事業	・自主防災組織の育成 ・備蓄用食糧品購入 ・防災倉庫の設置（自主防災組織用）	100,693	37,071	36,375	36,375	210,514	

中札内村	災害備蓄事業	災害時に備え、防災備蓄品の充実を図る	351	351	351	351	1,404	
更別村	災害備蓄事業	災害時に備え、防災備蓄品の充実を図る	165	71	50	50	336	
更別村	防災事務経費	現在配布している防災のしおり（H21）の内容を修正し、全戸に配布	0	517	0	0	517	
更別村	防災行政無線デジタル化整備事業	防災無線のデジタル化を行う	185,400	0	0	0	185,400	
大樹町	災害備蓄事業	災害時に備え、防災備蓄品の充実を図る	3,980	3,980	3,980	3,980	15,920	
広尾町	災害備蓄事業	災害時に備え、防災資機材や非常食等備蓄品の充実を図る	3,014	2,300	2,300	2,300	9,914	
広尾町	自主防災組織育成事業	自主防災組織の育成を図る	685	685	685	685	2,740	
幕別町	災害備蓄事業	災害時に備え、防災備蓄品の充実を図る	5,027	5,120	1,373	1,520	13,040	
池田町	災害備蓄事業	災害時に備え、防災備蓄品の充実を図る	905	817	377	120	2,219	
池田町	自主防災組織育成事業	自主防災組織の育成を図る	785	785	785	785	3,140	
豊頃町	災害備蓄事業	災害時に備え、防災備蓄品の充実を図る	400	400	400	400	1,600	
本別町	防災事務経費	防災ハザードマップ作成・増刷	0	0	900	0	900	
本別町	災害備蓄事業	災害時に備え、防災備蓄品の充実を図る	122	122	225	225	694	
本別町	防災対策費	5年に1度の総合防災訓練、自治会における避難訓練、防災研修会の実施	259	0	0	0	259	
足寄町	災害備蓄事業	災害時に備え、防災備蓄品の充実を図る	542	542	542	542	2,168	
陸別町	災害備蓄事業	災害時に備え、防災備蓄品の充実を図る	1,330	100	100	210	1,740	
陸別町	防災事務経費	防災行政無線保守点検業務委託	265	265	265	265	1,060	
浦幌町	災害備蓄事業	災害時に備え、防災備蓄品の充実を図る	2,153	1,200	300	300	3,953	
合 計			350,916	99,337	93,869	93,319	637,441	

2. 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

1. 地域公共交通 （1）地域公共交通の維持確保と利用促進 【取組概要：◎生活交通路線の維持確保と利用促進】

市町村名	事業名	事業内容	事業費見込額（単位：千円）					備 考
			H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	合 計	
帯広市	地方路線バス維持対策事業	市内を運行するバス路線のうち、指定路線に対する収支不足額を補助	83,035	83,035	83,035	83,035	332,140	数値は平成 27 年度実績を踏まえた見込額（補正予算対応を予定）
帯広市	利用促進事業	バス交通の利用促進に資する事業に対する助成や定期券等の購入に係る補助	65	65	65	65	260	
帯広市	コミュニティバス等運行事業	住民の生活の足を確保するため、コミュニティバス・タクシー等を運行	25,492	25,492	25,492	25,492	101,968	
帯広市	バス待合所等管理事業	バス利用者の利便性を向上させるため、バス待合所や停留所の維持管理を実施	2,833	2,833	2,833	2,833	11,332	
帯広市	交通環境学習普及推進事業	小学生及び高齢者に対するバス交通の利用促進を目的とした出前講座	2,498	2,498	2,498	2,498	9,992	
音更町	地方路線バス維持対策事業	町内を運行するバス路線のうち、指定路線に対する収支不足額を補助	11,364	11,364	11,364	11,364	45,456	
音更町	コミュニティバス等運行事業	住民の生活の足を確保するため、コミュニティバス・タクシー等を運行	11,270	11,270	11,270	11,270	45,080	
士幌町	地方路線バス維持対策事業	町内を運行するバス路線のうち、指定路線に対する収支不足額を補助	4,000	4,000	4,000	4,000	16,000	
士幌町	バス待合所等管理事業	バス利用者の利便性を向上させるため、バス待合所や停留所の維持管理を実施	487	487	487	487	1,948	
士幌町	コミュニティバス等運行事業	住民の生活の足を確保するため、コミュニティバス・タクシー等を運行	6,027	6,027	6,027	6,027	24,108	
上士幌町	地方路線バス維持対策事業	町内を運行するバス路線のうち、指定路線に対する収支不足額を補助	8,142	8,142	8,142	8,142	32,568	
上士幌町	コミュニティバス等運行事業	住民の生活の足を確保するため、コミュニティバス・タクシー等を運行	12,772	12,772	12,772	12,772	51,088	
鹿追町	地方路線バス維持対策事業	町内を運行するバス路線のうち、指定路線に対する収支不足額を補助	2,940	2,940	2,940	2,940	11,760	
鹿追町	コミュニティバス等運行事業	住民の生活の足を確保するため、コミュニティバス・タクシー等を運行	7,960	7,960	7,960	7,960	31,840	
鹿追町	利用促進事業	バス交通の利用促進に資する事業に対する助成や定期券等の購入に係る補助	430	430	430	430	1,720	
新得町	地方路線バス維持対策事業	町内を運行するバス路線のうち、指定路線に対する収支不足額を補助	4,211	4,211	4,211	4,211	16,844	
新得町	コミュニティバス等運行事業	住民の生活の足を確保するため、コミュニティバス・タクシー等を運行	5,752	5,752	5,752	5,752	23,008	
清水町	地方路線バス維持対策事業	町内を運行するバス路線のうち、指定路線に対する収支不足額を補助	79	79	79	79	316	
清水町	コミュニティバス等運行事業	住民の生活の足を確保するため、コミュニティバス・タクシー等を運行	4,440	4,457	4,459	4,459	17,815	
芽室町	地方路線バス維持対策事業	町内を運行するバス路線のうち、指定路線に対する収支不足額を補助	1,736	1,736	1,736	1,736	6,944	数値は平成 27 年度実績を踏まえた見込額（補正予算対応を予定）
芽室町	コミュニティバス等運行事業	住民の生活の足を確保するため、コミュニティバス・タクシー等を運行	7,692	7,692	7,692	7,692	30,768	
中札内村	コミュニティバス等運行事業	住民の生活の足を確保するため、コミュニティバス・タクシー等を運行	2,607	2,607	2,607	2,607	10,428	

中札内村	バス待合所等管理事業	バス利用者の利便性を向上させるため、バス待合所や停留所の維持管理を実施	205	205	205	205	820	
中札内村	地方路線バス維持対策事業	村内を運行するバス路線のうち、指定路線に対する収支不足額を補助	3,035	3,035	3,035	3,035	12,140	
更別村	バス待合所等管理事業	バス利用者の利便性を向上させるため、バス待合所や停留所の維持管理を実施	561	561	561	561	2,244	
更別村	コミュニティバス等運行事業	住民の生活の足を確保するため、コミュニティバス・タクシー等を運行	4,677	4,677	4,677	4,677	18,708	
更別村	地方路線バス維持対策事業	村内を運行するバス路線のうち、指定路線に対する収支不足額を補助	5,822	5,822	5,822	5,822	23,288	
大樹町	地方路線バス維持対策事業	町内を運行するバス路線のうち、指定路線に対する収支不足額を補助	4,000	4,000	4,000	4,000	16,000	
広尾町	地方路線バス維持対策事業	町内を運行するバス路線のうち、指定路線に対する収支不足額を補助	14,589	15,000	15,000	15,000	59,589	
幕別町	地方路線バス維持対策事業	町内を運行するバス路線のうち、指定路線に対する収支不足額を補助	10,502	10,502	10,502	10,502	42,008	
幕別町	コミュニティバス等運行事業	住民の生活の足を確保するため、コミュニティバス・タクシー等を運行	13,266	13,266	13,266	13,266	53,064	
池田町	地方路線バス維持対策事業	町内を運行するバス路線のうち、指定路線に対する収支不足額を補助	8,683	8,683	8,683	8,683	34,732	
池田町	利用促進事業	バス交通の利用促進に資する事業に対する助成や定期券等の購入に係る補助	152	152	152	152	608	
池田町	コミュニティバス等運行事業	住民の生活の足を確保するため、コミュニティバス・タクシー等を運行	9,469	4,543	4,543	4,543	23,098	
豊頃町	コミュニティバス等運行事業	住民の生活の足を確保するため、コミュニティバス・タクシー等を運行	5,432	5,432	5,432	5,432	21,728	
豊頃町	タクシー乗車券交付事業	町内高齢者に福祉タクシーの乗車券を交付し、通院等に係る運賃負担を軽減	3,770	3,770	3,770	3,770	15,080	
本別町	地方路線バス維持対策事業	町内を運行するバス路線のうち、指定路線に対する収支不足額を補助	7,238	7,238	7,238	7,238	28,952	
本別町	利用促進事業	バス交通の利用促進に資する事業に対する助成や定期券等の購入に係る補助	1,000	1,000	1,000	1,000	4,000	
本別町	コミュニティバス等運行事業	住民の生活の足を確保するため、コミュニティバス・タクシー等を運行	10,434	10,434	10,434	10,434	41,736	
足寄町	地方路線バス維持対策事業	町内を運行するバス路線のうち、指定路線に対する収支不足額を補助	10,200	10,200	10,200	10,200	40,800	数値は平成27年度実績を踏まえた見込額（補正予算対応を予定）
足寄町	コミュニティバス等運行事業	住民の生活の足を確保するため、コミュニティバス・タクシー等を運行	7,952	7,952	7,952	7,952	31,808	
足寄町	利用促進事業	バス交通の利用促進に資する事業に対する助成や定期券等の購入に係る補助	898	898	898	898	3,592	
足寄町	地域公共交通調査事業	地域公共交通網形成計画を策定し既存の公共交通機関の再編を進め、利用しやすい交通ネットワークの構築・充実を図る。	3,921	0	0	0	3,921	
陸別町	利用促進事業	バス交通の利用促進に資する事業に対する助成や定期券等の購入に係る補助	9,981	9,981	9,981	9,981	39,924	
陸別町	地方路線バス維持対策事業	町内を運行するバス路線のうち、指定路線に対する収支不足額を補助	5,500	5,500	5,500	5,500	22,000	
浦幌町	コミュニティバス等運行事業	住民の生活の足を確保するため、コミュニティバス・タクシー等を運行	32,760	22,134	22,134	22,134	99,162	
合 計			379,879	360,834	360,836	360,836	1,462,385	

2. 地産地消の推進

(1) 地産地消の推進

【取組概要：◎地産地消の推進】

市町村名	事業名	事業内容	事業費見込額 (単位：千円)					備 考
			H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	合 計	
帯広市	とからち大平原交流センター市開催事業	生産者による農畜産物の販売イベントの実施	100	100	100	100	400	
帯広市	食育推進事業費	講習会やイベント等を通じた食や健康への意識向上啓発	351	351	351	351	1,404	
帯広市	学校給食食育推進事業	学校給食や教科を通じた食育の推進	2,230	2,230	2,230	2,230	8,920	
帯広市	農畜産物消費拡大事業	牛乳消費拡大 PR イベントの実施	400	400	400	400	1,600	
帯広市	農業理解促進事業	地場農畜産物の消費拡大及び地域内消費者への農業理解促進事業（八千代牧場まつり、帯広大正メークアップまつり）	3,450	3,450	3,450	3,450	13,800	
帯広市	とからちまるごと PR 事業費	首都圏、関西圏への農畜産物の販路拡大事業の実施	4,500	4,500	4,500	4,500	18,000	
音更町	地場産品消費拡大推進事業	自校給食方式を活用した地場産品の学校給食への利用及び関係団体と連携した地産地消や食育の推進	1,550	1,550	1,550	1,550	6,200	
音更町	調理加工講座	ふれあい交流館加工室での地場食材料理加工講習会等を通じた食や健康に対する意識向上啓発	300	300	300	300	1,200	
音更町	首都圏子供イベント参加交流事業	首都圏や関西圏の子供達との物販交流を通じた十勝の農業や農畜産物に対する PR 及び販路拡大の促進	305	305	305	305	1,220	
士幌町	牛乳消費拡大事業	牛乳の消費拡大事業	200	200	200	200	800	
上士幌町	地産地消推進事業	地産地消推進のため、外部アドバイザーを招聘し、既存特産品等の販売拡大及び新商品の開発等を推進する	37	37	37	37	148	
鹿追町	ふるさと産業まつり事業	地元の農畜産物 PR イベントの実施	2,000	2,000	2,000	2,000	8,000	
鹿追町	鹿追そばまつり事業	町の特産品であるそばの PR イベントの実施	700	700	700	700	2,800	
鹿追町	農畜産物加工施設管理運営事業	地元農畜産物を活用した特産品の開発及び町民対象の研修会の開催	6,440	6,440	6,440	6,440	25,760	
新得町	地場産品奨励対策事業	各種懇親会やお土産として地場産品の使用を奨励することによる PR を実施	2,000	2,000	2,000	2,000	8,000	
新得町	新得オリジナルメニュー提供事業	町内小中学校、幼稚園、保育所などで新得産食材を利用した給食を提供	100	100	100	100	400	
清水町	食の安全安心推進事業	まるごとしみず食の祭典の開催、ふれあいテーブル(地元食材を使ったアイディア料理など)の開催	200	200	200	200	800	
清水町	牛乳消費拡大事業	牛乳の消費拡大事業	50	50	50	50	200	
芽室町	地産地消協働推進事業	地元食材の地産地消や消費拡大を図るため、地場産食材を使ったメニューの提供イベントを実施	395	395	395	395	1,580	
中札内村	地産地消推奨事業	地元農畜産物の消費拡大を目的とした、中札内村産原材料を使用した飲食店等への支援事業	449	449	449	449	1,796	

中札内村	豆資料館企画事業	豆への興味・関心を高めてもらうための事業実施	80	80	80	80	320	
中札内村	学校給食食育推進事業	中札内村産の食材からなる「ふるさと味覚給食」の実施及び事業を通じた生産者との交流	90	90	90	90	360	
大樹町	町民物産感謝祭事業	イベント等を通じた地元農畜水産物の消費拡大促進及び地域内の消費者への農畜水産業への理解促進	400	400	400	400	1,600	
広尾町	地元農水産物普及拡大事業	地元イベントでの地元農水産物の販売による地域内消費者への地元農水産物の普及拡大促進	13,392	13,300	13,300	13,300	53,292	
幕別町	学校給食における地場産食材活用事業	町内ＪＡと協力した学校給食での地場産食材導入及び農業に関する情報ペーパーの定期配布	1,774	1,774	1,774	1,774	7,096	
幕別町	和牛消費拡大実行委員会補助	町と町内ＪＡで組織する和牛消費拡大実行委員会が、町内主要イベントで町内産和牛肉のＰＲを目的とした試食販売及び精肉の低価格販売を行う事業に対する補助	150	150	150	150	600	
豊頃町	牛乳消費拡大推進事業	牛乳の消費拡大事業	50	50	50	50	200	
豊頃町	ふるさと給食材料推進事業	地元食材を学校給食の食材として利用	600	600	600	600	2,400	
本別町	農産物加工施設の運営管理費	地元農畜産物を活用した特産品開発と食育の推進を図るための管理運営費	4,388	2,271	2,271	2,271	11,201	
陸別町	農産物加工施設の運営管理費	地元農畜産物を活用した特産品開発と食育の推進を図るための管理運営費	4,424	4,424	4,424	4,424	17,696	
陸別町	牛乳消費拡大事業	公的会議等における市販牛乳の使用促進と助成	80	80	80	80	320	
陸別町	りくべつ低温殺菌牛乳給食提供	地元産生乳を使用したりくべつ低温殺菌牛乳を月１回小中学校の給食に使用する	276	276	276	276	1,104	
合 計			51,461	49,252	49,252	49,252	199,217	

3. 移住・交流の促進 (1) 移住・交流の促進 【取組概要：◎移住関連情報の一体的な発信】

市町村名	事業名	事業内容	事業費見込額 (単位：千円)					備 考
			H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	合 計	
帯広市	移住情報発信事業	帯広市東京事務所などを活用し、圏域の移住情報を一体的に発信 また、PRリーフレットの作成や、大都市圏での移住フェア出展などにより、移住情報を発信	708	708	708	708	2,832	
帯広市	北海道移住促進協議会負担金	北海道移住促進協議会の運営費の一部を負担し、同協議会と連携しながら、移住を促進	50	50	50	50	200	
音更町	北海道移住促進協議会負担金	北海道移住促進協議会の運営費の一部を負担し、同協議会と連携しながら、移住を促進	50	50	50	50	200	
士幌町	北海道移住促進協議会負担金	北海道移住促進協議会の運営費の一部を負担し、同協議会と連携しながら、移住を促進	50	50	50	50	200	
士幌町	移住促進事業	移住希望者への町内及び管内の情報発信と移住相談への対応、及び定住雇用促進用賃貸住宅建設事業助成により移住を促進	10,000	10,000	10,000	10,000	40,000	
士幌町	移住体験事業	体験移住住宅の建設・交流の受入れ体制整備により、移住を促進	2,361	2,361	2,361	2,361	9,444	
上士幌町	移住促進事業	北海道移住促進協議会やNP0法人住んでみたい北海道推進会議と連携したプロモーションのほか、上士幌町交流と居住を促進する会が実施する都市と農山村の交流に関する事業への補助	7,506	7,506	7,506	7,506	30,024	
上士幌町	北海道移住促進協議会負担金	北海道移住促進協議会の運営費の一部を負担し、同協議会と連携しながら、移住を促進	50	50	50	50	200	
上士幌町	新しい公共担い手育成事業	生活体験モニター実施に係るモニター参加者の対応やモデルハウスの管理の外部委託	10,424	10,424	10,424	10,424	41,696	
鹿追町	北海道移住促進協議会負担金	北海道移住促進協議会の運営費の一部を負担し、同協議会と連携しながら、移住を促進	50	50	50	50	200	
鹿追町	移住体験事業	町内での生活体験を通じて、町や管内の状況を理解してもらい、移住を促進	98	98	98	98	392	
鹿追町	定住住宅促進事業	町内における住宅取得を奨励するため、補助金等を交付し、定住・移住を促進	14,920	14,920	14,920	14,920	59,680	
鹿追町	民間賃貸住宅家賃助成事業	町内民間賃貸住宅に入居する町民に対し、家賃の一部を助成	900	900	900	900	3,600	
新得町	北海道移住促進協議会負担金	北海道移住促進協議会の運営費の一部を負担し、同協議会と連携しながら、移住を促進	50	50	50	50	200	
新得町	移住情報発信事業	大都市圏での移住フェア出展などにより、移住情報を発信	500	500	500	500	2,000	
新得町	移住体験事業	町内での生活体験を通じて、町や管内の状況を理解してもらい、移住を促進	1,511	1,511	1,511	1,511	6,044	
新得町	定住住宅促進事業	町内における住宅取得を奨励するため、補助金等を交付し、定住・移住を促進	5,755	5,755	5,755	5,755	23,020	
清水町	北海道移住促進協議会負担金	北海道移住促進協議会の運営費の一部を負担し、同協議会と連携しながら、移住を促進	50	50	50	50	200	
清水町	移住情報発信事業	地域おこし協力隊による移住・交流の推進や、首都圏等での移住フェア出展などにより、移住情報を発信	4,235	4,235	4,235	4,235	16,940	
芽室町	定住促進事業	「定住ガイド」の更新などによる定住情報の発信、子育て世帯等の住宅建設の支援	14,236	14,236	14,236	14,236	56,944	

中札内村	定住住宅促進事業	村内における住宅取得を奨励するため、補助金等を交付し、定住・移住を促進	21,909	21,909	21,909	21,909	87,636	
中札内村	移住情報発信事業	宅地分譲地 PR や移住啓発情報に係る広告の掲載などにより、移住情報を発信	141	141	141	141	564	
中札内村	北海道移住促進協議会負担金	北海道移住促進協議会の運営費の一部を負担し、同協議会と連携しながら、移住を促進	50	50	50	50	200	
更別村	移住情報発信事業	村の生活環境等を掲載したガイドブックを隔年で作成するとともに、東京都や札幌市の観光案内所等に送付し、移住情報を発信	216	210	0	210	636	
更別村	移住体験事業	村内での生活体験を通じて、町や管内の状況を理解してもらい、移住を促進	221	221	221	221	884	
大樹町	移住情報発信事業	大都市圏での移住フェア出展などにより、移住情報を発信	216	216	216	216	864	
大樹町	移住体験事業	町内での生活体験を通じて、町や管内の状況を理解してもらい、移住を促進	2,346	767	767	767	4,647	
大樹町	北海道移住促進協議会負担金	北海道移住促進協議会の運営費の一部を負担し、同協議会と連携しながら、移住を促進	50	50	50	50	200	
広尾町	移住体験事業	町内での生活体験を通じて、町や管内の状況を理解してもらい、移住を促進	500	402	400	400	1,702	
広尾町	北海道移住促進協議会負担金	北海道移住促進協議会の運営費の一部を負担し、同協議会と連携しながら、移住を促進	50	50	50	50	200	
幕別町	北海道移住促進協議会負担金	北海道移住促進協議会の運営費の一部を負担し、同協議会と連携しながら、移住を促進	50	50	50	50	200	
幕別町	移住情報発信事業	大都市圏での移住フェア出展などにより、移住情報を発信	358	358	358	358	1,432	
幕別町	定住住宅促進事業	町内における住宅取得を奨励するため、補助金等の交付及び定住雇用促進用賃貸住宅建設事業助成により、定住・移住を促進	62,000	62,000	62,000	62,000	248,000	
池田町	移住情報発信事業	移住定住促進パンフレットの作成や、大都市圏での移住フェア出展などにより、移住情報を発信	891	891	891	891	3,564	
池田町	移住体験事業	町内での生活体験を通じて、町や管内の状況を理解してもらい、移住を促進	209	209	209	209	836	
池田町	北海道移住促進協議会負担金	北海道移住促進協議会の運営費の一部を負担し、同協議会と連携しながら、移住を促進	50	50	50	50	200	
豊頃町	移住体験事業	町内での生活体験を通じて、町や管内の状況を理解してもらい、移住を促進	1,132	1,132	1,132	1,132	4,528	
豊頃町	移住情報発信事業	首都圏等向けのPRリーフレット作成などにより、移住啓発情報を発信	1,100	1,100	1,100	1,100	4,400	
豊頃町	北海道移住促進協議会負担金	北海道移住促進協議会の運営費の一部を負担し、同協議会と連携しながら移住を促進	50	50	50	50	200	
本別町	北海道移住促進協議会負担金	北海道移住促進協議会の運営費の一部を負担し、同協議会と連携しながら、移住を促進	50	50	50	50	200	

本別町	移住情報発信事業	首都圏における出展や雑誌掲載などにより、移住情報を発信	600	600	300	600	2,100	
足寄町	北海道移住促進協議会負担金	北海道移住促進協議会の運営費の一部を負担し、同協議会と連携しながら、移住を促進	50	50	50	50	200	
陸別町	移住促進事業	「陸別移住を応援する会」が行う移住促進事業に係る活動に対する助成	153	800	800	800	2,553	
陸別町	北海道移住促進協議会負担金	北海道移住促進協議会の運営費の一部を負担し、同協議会と連携しながら、移住を促進	50	50	50	50	200	
陸別町	移住体験事業	町内での生活体験を通じて、町や管内の状況を理解してもらい、移住を促進	1,490	1,490	1,490	1,490	5,960	
浦幌町	北海道移住促進協議会負担金	北海道移住促進協議会の運営費の一部を負担し、同協議会と連携しながら、移住を促進	50	50	50	50	200	
浦幌町	移住体験事業	町内での生活体験を通じて、町や管内の状況を理解してもらい、移住を促進	3,847	3,847	3,847	3,847	15,388	
浦幌町	定住住宅促進事業	町内における住宅取得を奨励するため、補助金等を交付し、定住・移住を促進	17,000	17,000	17,000	17,000	68,000	
合 計			188,333	187,297	186,785	187,295	749,710	

3. 移住・交流の促進 (2) 結婚を希望する若者の支援 【取組概要：◎結婚支援の推進】

市町村名	事業名	事業内容	事業費見込額 (単位：千円)					備 考
			H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	合 計	
帯広市	帯広市農業者結婚推進協議会員担金	各種交流会など、帯広市農業後継者の結婚推進活動に対する支援	400	400	400	400	1,600	
音更町	音更町若者交流支援事業	イベントの実施等による独身男女の出会いの場の創出及び町の魅力PR	1,000	1,000	0	0	2,000	
音更町	音更町農業後継者推進協議会	農業後継者推進のための結婚相談、あっせん及び情報交換並びに実態調査などを行う	2,000	1,500	1,500	1,500	6,500	北海道十勝農業青年との交流会を含む
士幌町	結婚支援の推進	婚活推進イベントの開催	700	700	700	700	2,800	
士幌町	北海道十勝農業青年との交流会	北十勝4町による実行委員会形式で実施。大阪近郊のタウン誌などにより女性を募集し、大阪市内で2日間に亘り交流会を開催する。	650	650	650	650	2,600	
上士幌町	北海道十勝農業青年との交流会	北十勝4町による実行委員会形式で実施。大阪近郊のタウン誌などにより女性を募集し、大阪市内で2日間に亘り交流会を開催する。	650	650	650	650	2,600	
上士幌町	上士幌町農業青年カップリングパーティー	JA 青年部と十勝管内の女性との交流会 企画・運営を委託して開催。	300	300	300	300	1,200	
上士幌町	農業青年婚活交流会	JA 青年部と札幌の女性との交流会（企画・運営を委託して開催）	640	640	640	640	2,560	
上士幌町	ALL とから札幌交流会	6町(清水、池田、大樹、音更、士幌、上士幌)による実行委員会を組織し、6町の農業青年と札幌近郊の女性との交流会を開催する。	110	110	110	110	440	
鹿追町	北海道十勝農業青年との交流会	北十勝4町による実行委員会形式で実施。大阪近郊のタウン誌などにより女性を募集し、大阪市内で2日間に亘り交流会を開催する。	507	507	507	507	2,028	
清水町	結婚支援の推進	婚活事業参加支援、婚活事業開催支援、婚活相談員活動支援	900	900	900	900	3,600	
中札内村	農業担い手育成センター交付金	新規就農者育成支援や農業後継者のパートナー対策などに取り組む組織に対する交付金	1,800	1,800	1,800	1,800	7,200	
更別村	農業担い手育成センター助成金	新規就農者育成支援や農業後継者のパートナー対策などに取り組む組織に対する助成金	655	655	655	655	2,620	
幕別町	グリーンパートナー対策事業	農業担い手配偶者対策	0	0	0	0	0	事業費は、1-4-(6)「農業振興と担い手の育成」中、「農業振興公社運営費補助金」に含む
池田町	婚活支援事務事業	札幌市を中心とした女性に池田町に来てもらい町内の男性陣と交流する「ワイン de 恋する婚活ツアー」を実施。	1,389	1,389	1,389	1,389	5,556	
豊頃町	豊頃町内青年女性交流推進助成事業	結婚対策を推進するため、町内の飲食店で実施する男女混合の交流会に対し助成する。(女性については、町外からの参加可)	200	200	200	200	800	
本別町	グリーンサポートセンター運営事業	農業に希望と誇りをもって、安定的な発展と活力ある農村社会の形成を図るため、農業後継者のパートナー（配偶者対策）等、担い手確保対策の円滑な推進を図る。	360	400	400	400	1,560	
足寄町	農業後継者パートナー対策事業	農業青年と女性の出会いの機会を確保し農業後継者のパートナー対策を図る。	551	551	551	551	2,204	
陸別町	青年等結婚支援活動事業	青年等結婚支援活動の推進	1,353	1,353	1,353	1,353	5,412	
浦幌町	婚活支援事業	婚活イベントへの支援	5,000	5,000	0	0	10,000	
合 計			19,165	18,705	12,705	12,705	63,280	

3. 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

1. 人材育成 (1) 職員研修及び圏域内人事交流 【取組概要：◎職員研修の合同実施 ◎圏域内人事交流】

市町村名	事業名	事業内容	事業費見込額 (単位：千円)					備 考
			H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	合 計	
帯広市	十勝市町村職員合同研修事業	十勝の市町村職員の研修を合同で実施 ・職階別研修 ・能力開発系研修 ・実務系研修	11,127	11,127	11,127	11,127	44,508	
音更町	十勝市町村職員合同研修事業	十勝の市町村職員の研修を合同で実施 ・職階別研修 ・能力開発系研修 ・実務系研修	982	982	982	982	3,928	
士幌町	十勝市町村職員合同研修事業	十勝の市町村職員の研修を合同で実施 ・職階別研修 ・能力開発系研修 ・実務系研修	171	171	171	171	684	
上士幌町	十勝市町村職員合同研修事業	十勝の市町村職員の研修を合同で実施 ・職階別研修 ・能力開発系研修 ・実務系研修	582	582	582	582	2,328	
鹿追町	十勝市町村職員合同研修事業	十勝の市町村職員の研修を合同で実施 ・職階別研修 ・能力開発系研修 ・実務系研修	477	477	477	477	1,908	
新得町	十勝市町村職員合同研修事業	十勝の市町村職員の研修を合同で実施 ・職階別研修 ・能力開発系研修 ・実務系研修	596	596	596	596	2,384	
清水町	十勝市町村職員合同研修事業	十勝の市町村職員の研修を合同で実施 ・職階別研修 ・能力開発系研修 ・実務系研修	559	559	559	559	2,236	
芽室町	十勝市町村職員合同研修事業	十勝の市町村職員の研修を合同で実施 ・職階別研修 ・能力開発系研修 ・実務系研修	530	530	530	530	2,120	
中札内村	十勝市町村職員合同研修事業	十勝の市町村職員の研修を合同で実施 ・職階別研修 ・能力開発系研修 ・実務系研修	399	399	399	399	1,596	
更別村	十勝市町村職員合同研修事業	十勝の市町村職員の研修を合同で実施 ・職階別研修 ・能力開発系研修 ・実務系研修	392	392	392	392	1,568	
大樹町	十勝市町村職員合同研修事業	十勝の市町村職員の研修を合同で実施 ・職階別研修 ・能力開発系研修 ・実務系研修	618	618	618	618	2,472	
広尾町	十勝市町村職員合同研修事業	十勝の市町村職員の研修を合同で実施 ・職階別研修 ・能力開発系研修 ・実務系研修	500	500	500	500	2,000	
幕別町	十勝市町村職員合同研修事業	十勝の市町村職員の研修を合同で実施 ・職階別研修 ・能力開発系研修 ・実務系研修	844	844	844	844	3,376	
池田町	十勝市町村職員合同研修事業	十勝の市町村職員の研修を合同で実施 ・職階別研修 ・能力開発系研修 ・実務系研修	465	465	465	465	1,860	
豊頃町	十勝市町村職員合同研修事業	十勝の市町村職員の研修を合同で実施 ・職階別研修 ・能力開発系研修 ・実務系研修	383	383	383	383	1,532	
本別町	十勝市町村職員合同研修事業	十勝の市町村職員の研修を合同で実施 ・職階別研修 ・能力開発系研修 ・実務系研修	738	738	738	738	2,952	
足寄町	十勝市町村職員合同研修事業	十勝の市町村職員の研修を合同で実施 ・職階別研修 ・能力開発系研修 ・実務系研修	696	696	696	696	2,784	
陸別町	十勝市町村職員合同研修事業	十勝の市町村職員の研修を合同で実施 ・職階別研修 ・能力開発系研修 ・実務系研修	141	141	141	141	564	
浦幌町	十勝市町村職員合同研修事業	十勝の市町村職員の研修を合同で実施 ・職階別研修 ・能力開発系研修 ・実務系研修	643	643	643	643	2,572	
合 計			20,843	20,843	20,843	20,843	83,372	

2. データ分析 (1) 圏域レベルのデータ集積・活用 【取組概要：◎地域経済分析システム等の活用】

市町村名	事業名	事業内容	事業費見込額 (単位：千円)					備 考
			H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	合 計	
帯広市	圏域レベルのデータ集積・活用事業	地域経済分析システム等を活用した圏域の人口・経済等の分析	0	未定	未定	未定	未定	
音更町	圏域レベルのデータ集積・活用事業	地域経済分析システム等を活用した圏域の人口・経済等の分析	0	未定	未定	未定	未定	
士幌町	圏域レベルのデータ集積・活用事業	地域経済分析システム等を活用した圏域の人口・経済等の分析	0	未定	未定	未定	未定	
上士幌町	圏域レベルのデータ集積・活用事業	地域経済分析システム等を活用した圏域の人口・経済等の分析	0	未定	未定	未定	未定	
鹿追町	圏域レベルのデータ集積・活用事業	地域経済分析システム等を活用した圏域の人口・経済等の分析	0	未定	未定	未定	未定	
新得町	圏域レベルのデータ集積・活用事業	地域経済分析システム等を活用した圏域の人口・経済等の分析	0	未定	未定	未定	未定	
清水町	圏域レベルのデータ集積・活用事業	地域経済分析システム等を活用した圏域の人口・経済等の分析	0	未定	未定	未定	未定	
芽室町	圏域レベルのデータ集積・活用事業	地域経済分析システム等を活用した圏域の人口・経済等の分析	0	未定	未定	未定	未定	
中札内村	圏域レベルのデータ集積・活用事業	地域経済分析システム等を活用した圏域の人口・経済等の分析	0	未定	未定	未定	未定	
更別村	圏域レベルのデータ集積・活用事業	地域経済分析システム等を活用した圏域の人口・経済等の分析	0	未定	未定	未定	未定	
大樹町	圏域レベルのデータ集積・活用事業	地域経済分析システム等を活用した圏域の人口・経済等の分析	0	未定	未定	未定	未定	
広尾町	圏域レベルのデータ集積・活用事業	地域経済分析システム等を活用した圏域の人口・経済等の分析	0	未定	未定	未定	未定	
幕別町	圏域レベルのデータ集積・活用事業	地域経済分析システム等を活用した圏域の人口・経済等の分析	0	未定	未定	未定	未定	
池田町	圏域レベルのデータ集積・活用事業	地域経済分析システム等を活用した圏域の人口・経済等の分析	0	未定	未定	未定	未定	
豊頃町	圏域レベルのデータ集積・活用事業	地域経済分析システム等を活用した圏域の人口・経済等の分析	0	未定	未定	未定	未定	
本別町	圏域レベルのデータ集積・活用事業	地域経済分析システム等を活用した圏域の人口・経済等の分析	0	未定	未定	未定	未定	
足寄町	圏域レベルのデータ集積・活用事業	地域経済分析システム等を活用した圏域の人口・経済等の分析	0	未定	未定	未定	未定	
陸別町	圏域レベルのデータ集積・活用事業	地域経済分析システム等を活用した圏域の人口・経済等の分析	0	未定	未定	未定	未定	
浦幌町	圏域レベルのデータ集積・活用事業	地域経済分析システム等を活用した圏域の人口・経済等の分析	0	未定	未定	未定	未定	
合 計			0	未定	未定	未定	未定	

第2期十勝定住自立圏共生ビジョン

(平成28年度～平成31年度)

発行 平成28年3月 策定

編集 帯広市 政策推進部 政策室

〒080-8670 帯広市西5条南7丁目1番地

TEL 0155-65-4104 FAX 0155-23-0151

E-mail : policy@city.obihiro.hokkaido.jp